

～緑豊かな横浜を次世代に～

横浜みどりアップ計画 (新規・拡充施策)

平成23年度事業報告書



平成24年4月
横浜市環境創造局

＜表紙掲載写真＞



①森の楽しみづくり事業／森の中のプレイパーク事業

- ・「街の中のプレイパーク」の様子（旭区、旭図書館）
- ・掲載箇所：P3-13

②食と農との連携事業

- ・「地産地消ツアーガイド育成研修」の様子
- ・掲載箇所：P3-30

③森の楽しみづくり事業／健康の森事業

- ・「学んで実践得々ウォーキング」の様子（港北区、小机城址市民の森）
- ・掲載箇所：P3-15

④森づくりリーダー等育成事業

- ・森づくりボランティア養成講座（緑区、新治市民の森）
- ・掲載箇所：P3-10

⑤森の楽しみづくり事業／森の中のプレイパーク事業

- ・「森の中のプレイパーク」の様子（保土ヶ谷区、環境活動支援センター）
- ・掲載箇所：P3-13

⑥集団的農地の維持管理奨励事業

- ・青葉区内の農地
- ・掲載箇所：P3-33

⑦公共施設緑化事業

- ・園庭芝生化の事例（旭区、左近山保育園）
- ・掲載ページ：P2-7

⑧農業後継者・横浜型担い手育成事業

- ・農業後継者が講師の農家と共に作付けの準備をする様子
- ・掲載箇所：P3-40

⑨食と農との連携事業

- ・「食と農の祭典 2011」での直売の様子
- ・掲載箇所：P3-30

⑩民有地緑化助成事業／記念樹等生産配布事業

- ・苗木配布の様子（戸塚区）
- ・掲載ページ：P3-49

⑪民有地緑化助成事業／屋上緑化助成事業

- ・民間ビルの屋上緑化の事例（西区）
- ・掲載ページ：P3-48

目次

1 横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)の概要

(1) 横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)の概要	1- 1
ア　横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)策定の背景	1- 1
[コラム1] 市域に残されたまとまったく緑～緑の10大拠点～	1- 2
[コラム2] 横浜の緑の減少	1- 3
[コラム3] 緑減少の原因・課題と、緑に対する市民意識	1- 4
イ　横浜みどりアップ計画が目指す横浜の姿	1- 6
ウ　施策体系	1- 7
(2) 横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)の会計の仕組み	1- 10
(3) 横浜みどりアップ計画市民推進会議	1- 11

2 平成23年度の主な実績

(1) 樹林地を守る	2- 1
ア　確実な担保	2- 1
イ　維持管理推進	2- 2
ウ　利活用促進	2- 3
(2) 農地を守る	2- 4
ア　農業振興	2- 4
イ　農地保全	2- 5
ウ　担い手育成・確実な担保・継続保有の促進	2- 6
(3) 緑をつくる	2- 7
ア　緑化推進	2- 7

3 事業・取組の実績

(1) 平成23年度の事業・取組実績一覧	3- 1
ア　樹林地を守る	3- 1
イ　農地を守る	3- 3
ウ　緑をつくる	3- 5
(2) 事業・取組の実績	3- 7
ア　樹林地を守る	3- 7
イ　農地を守る	3-25
ウ　緑をつくる	3-45

4 各区の実績

(1) 鶴見区	4- 2
(2) 神奈川区	4- 6
(3) 西区	4-10
(4) 中区	4-12
(5) 南区	4-16
(6) 港南区	4-20
(7) 保土ヶ谷区	4-24
(8) 旭区	4-28
(9) 磯子区	4-34
(10) 金沢区	4-38
(11) 港北区	4-42
(12) 緑区	4-48
(13) 青葉区	4-54
(14) 都筑区	4-60
(15) 戸塚区	4-66
(16) 荻窪区	4-72
(17) 泉区	4-76
(18) 濱谷区	4-82

5 横浜みどりアップ計画市民推進会議

(1) 横浜みどりアップ計画市民推進会議の概要	5- 1
(2) 取組状況	5- 1
ア 市民推進会議	5- 2
イ 部会	5- 2
ウ みどりのオープンフォーラム	5- 2
エ 現地調査	5- 3
オ 広報誌の発行	5- 3

<資料> 3か年の進捗状況(平成21年度～平成23年度)

(1) 樹林地を守る	資料- 1
(2) 農地を守る	資料- 3
(3) 緑をつくる	資料- 5

1 横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)の概要

(1) 横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)の概要

ア 横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)策定の背景

横浜市は、370万市民を要する大都市でありながら、市民生活の身近な場所にまとまった規模の樹林地や農地などがあり、また、起伏に富んだ地形から、変化に富んだ水・緑環境を有していて、このことが横浜の持つ大きな魅力のひとつとなっています。

緑は一度失われると回復が困難ですが、急激な都市化の進展により大きく失われてきました。平成21年度に実施した調査でも、緑被率は約29.8%となっており、緑が減少を続いている状況にあることが分かりました。また、平成20年度に実施した「横浜の緑に関する市民意識調査」では、緑の増加や維持を求める声が約98%ときわめて多くなっており、緑の保全は緊急に取組まなければならない課題です。

そこで、横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するために、従来進めている横浜みどりアップ計画の施策に加え、新規・拡充施策を策定し、平成21年度より事業や取組を進めています。

コラム 1 市域に残されたまとまった緑～緑の 10 大拠点～

市域に残されたまとまった緑として、河川の源流域には「緑の七大拠点」が、また、鶴見川や境川の中流域には「河川沿いのまとまりのある農地・樹林地の拠点」が 3箇所あり、緑の 10 大拠点となっています。

一方で、市街地の緑としては、各地区で個性ある景観づくりが進められるとともに、丘陵地に残された斜面緑地や市街地に残された農地などが、市街地に潤いを与えてています。



*返還施設跡地：「米軍施設返還跡地利用指針」の対象施設

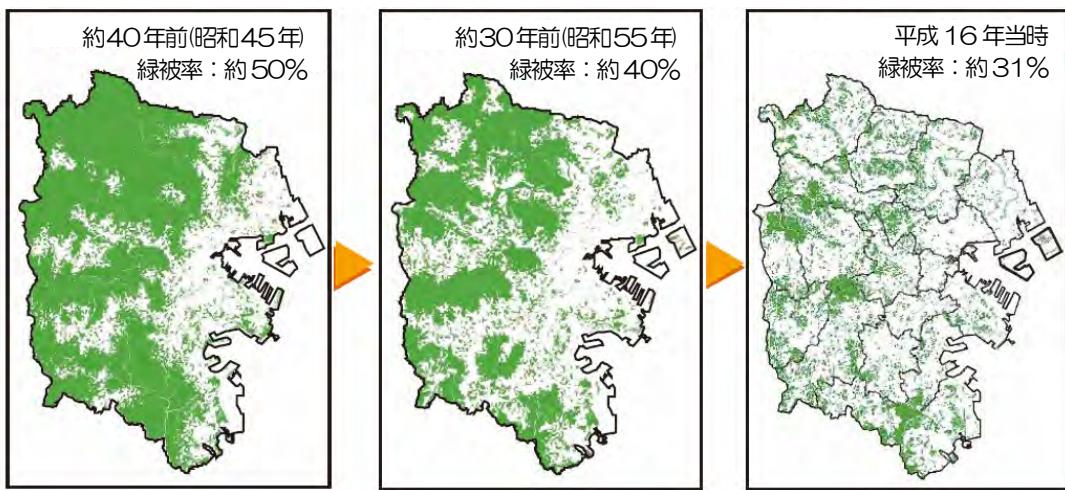
【図】緑の 10 大拠点

横浜らしい魅力ある水と緑



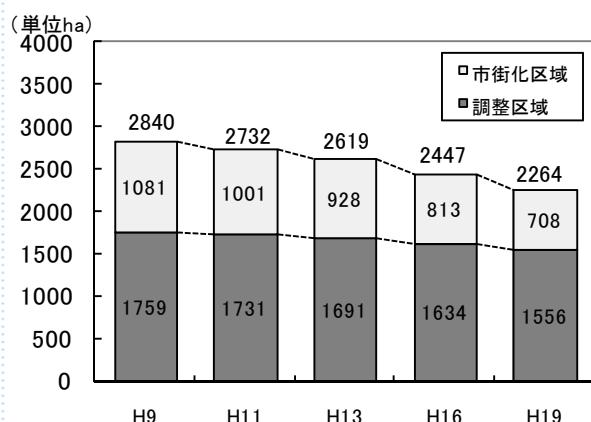
コラム 2 横浜の緑の減少

都市化の進展に伴い、市内の緑被率は昭和 50 年には約 45% あったものが、平成 16 年には約 31%、平成 21 年度に実施した調査でも約 29.8% となっており、多くの緑が失われたことがわかります。緑被率は、市街化が進んだ中心市街地において低く、また、緑被率の高い郊外部においては緑被率の減少傾向が強くなる状況となっています。



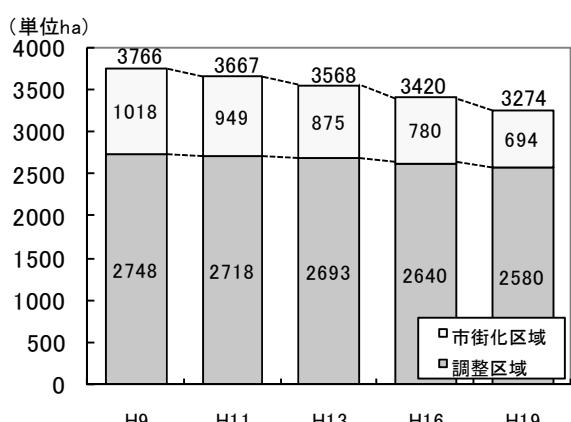
※ 調査年度によって手法や精度が異なるため、おおむねの傾向を示したものです。

【図】緑被率の推移



※ 固定資産概要調書等をもとに集計

【図】山林の面積推移



※ 固定資産概要調書等をもとに集計
(生産緑地地区・市街化調整区域内の農地を対象に集計)

【図】農地の面積推移

コラム 3 緑減少の原因・課題と、緑に対する市民意識

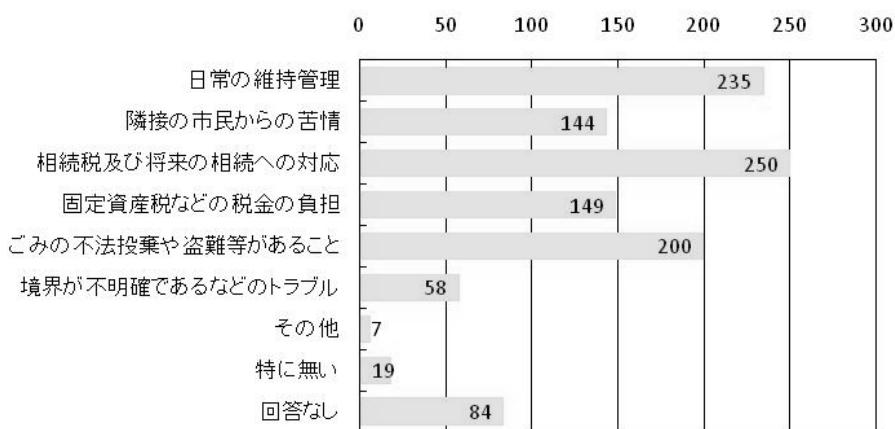
■緑減少の原因・課題

横浜の緑の多くは民有地に依存しており、緑を守るためにには、土地所有者の方々の協力が不可欠です。一方で、所有し続けるための負担が大きく、緑を保全することが困難になっています。

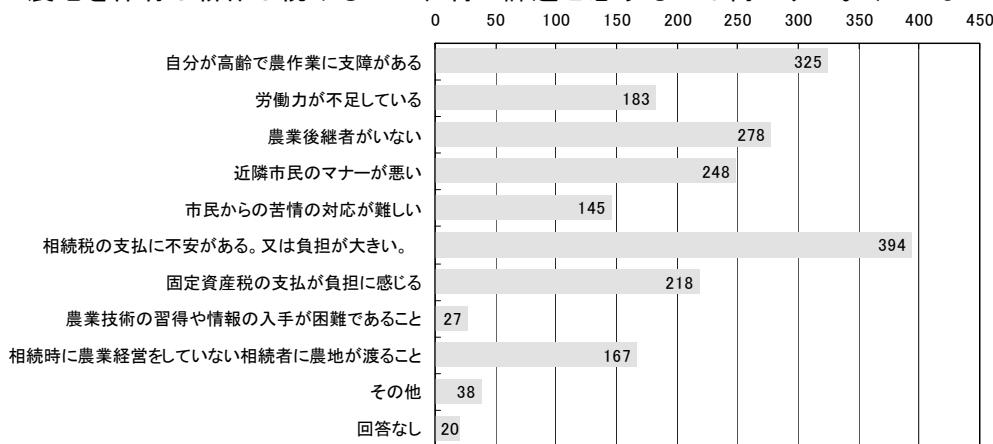
平成 19 年 9 月に実施した「市街化調整区域の農地・樹林地所有者へのアンケート」の調査結果によると、樹林地では、日常の維持管理や固定資産税等の負担、相続時における相続税の負担、市民の理解・協力などが、樹林地を保有する上で大きな課題となっています。

また、農地では、相続税や固定資産税の負担、市民の理解・協力に加え、農業従事者の高齢化や後継者がいないこと等による担い手不足、農業収入などが課題となっています。

樹林地を保有する上で課題だと思うものは何ですか。(3つまで)



農地を保有し耕作し続ける上で、特に課題と思うものは何ですか。(3つまで)



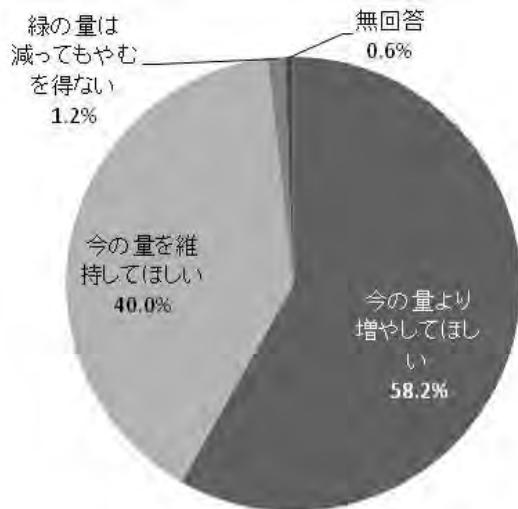
【図】「市街化調整区域の農地・樹林地所有者へのアンケート」調査結果より

■ 緑に対する市民意識

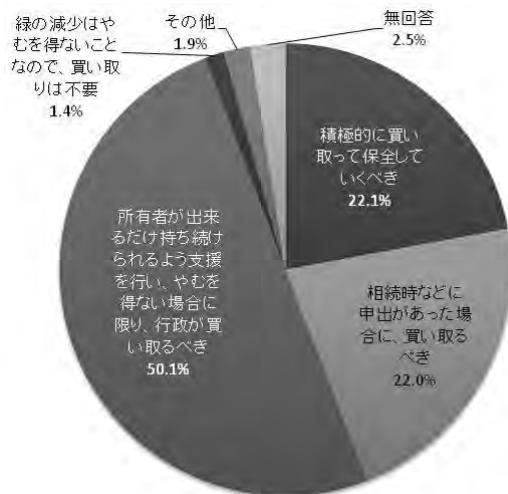
平成 20 年 5 月に、市民 1 万人を対象として「横浜の緑に関する市民意識調査」を実施したところ、横浜市内の緑の総量について、大半の市民が「増やしてほしい」、「維持してほしい」としています。

また、緑を保全するための緑地の買取については、約半数が「所有者が持ち続けられるように支援し、やむを得ない場合に行政が買取りを行うべき」とし、「積極的に買い取るべき」、「申し出があれば買い取るべき」がそれぞれ 2 割となっています。

横浜市の緑は年々減少していますが、あなたは横浜市全体の緑の総量について、どのようにすべきとお考えですか。



樹林地や農地などの緑を保全するために横浜市が買い取りを進めることについて、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。



【図】「横浜の緑に関する市民意識調査」調査結果より

イ 横浜みどりアップ計画が目指す横浜の姿

横浜みどりアップ計画では、将来にわたって緑の総量と質の維持・向上を図り、次のような街や生活の姿をめざします。これらは、市民満足度の向上とともに、都市としての魅力やブランド力の向上にとっても、重要な要素となります。

また、新規・拡充施策は長期的・継続的な視点に立ちつつ、重要な財源となる横浜みどり税の期間（平成21年度からの5か年）とも重なる5か年の事業計画としており、下記の目標により事業を進めています。

「大都市だけどふるさとがある横浜」

まとまった規模の緑をしっかりと保全するとともに、効果的な維持管理により新たな里山文化として再生します。



「街なかにみどりあふれる横浜」

市街地に残された斜面緑地や農地などを保全するとともに、中心市街地や住宅地など様々な街に緑を増やすことで、快適で魅力ある、緑あふれる街の実現を目指します。



5か年の目標

- ・緑地保全制度による指定を5か年で現在の約830haから約2倍以上に大幅に拡大
- ・保全した樹林地の維持管理・利活用の市民協働による推進
- ・農地の維持継続の支援等を行い、従来の取組に加え5か年で約50haの農地を保全
- ・市民農園整備等による農への市民参加の推進
- ・市民協働による地域ぐるみの緑化の展開
- ・5か年で生垣設置約1km、公共施設緑化約10ha

ウ 施策体系

横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)では、「樹林地を守る」、「農地を守る」、「緑をつくる」を3つの柱として、事業・取組を進めています。



樹林地を守る施策

市内に残された樹林地の多くは民有地であり、所有者は維持管理や相続税など大きな負担を抱えています。そこで、土地所有者ができるだけ緑地を持ち続けられるように、緑地保全制度の指定を拡大します。保全された樹林地では、愛護会やボランティアなど市民力を活かした維持管理を進めるとともに、市民の皆さまが森の楽しみを享受できるような取組を進めていきます。また、緑地保全制度の指定地では、不測の事態による買取り希望等への対応を行い、樹林地として保全を継続していきます。

【事業・取組の凡例】

- ：新規事業（横浜みどり税充当）
- ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
- ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当）
- ・：事業費のないもの

施策方針	施策内容	事業・取組	
継続保有の促進	緑地保全制度等の拡充	1	・ 緑地保全制度等の拡充
	篤志の奨励制度	2	・ 篤志の奨励制度
維持管理推進	安全・明るい森づくり	3	◎ 緑地再生等管理事業
		4	◎ 市民協働による緑地維持管理事業
利活用促進	森の守り人の育成	5	● 森づくりリーダー等育成事業
		6	● 樹林地管理団体活動助成事業
利活用促進	森の楽しみづくり	7	<p>● 森の楽しみづくり事業</p> <p>景観の森・生き物の森事業 森の中のプレイパーク事業 森の収穫物体験事業 里山ライフ体験事業 健康の森事業 横浜の森の自然・生き物情報発信事業 間伐材活用クラフト作成事業 森の恵み塾事業</p>
	森づくり市民提案制度の創設	8	● みどりの夢かなえます事業
	森の資源循環促進	9	◎ 間伐材資源循環事業
	ウェルカムセンター等の整備	10	◇ 愛護会、森づくりボランティア活動 拠点整備事業
		11	◇ ウェルカムセンター整備事業
確実な担保	緑地保全制度による地区指定拡大と買取り	12	◎ 特別緑地保全地区指定等拡充事業
	よこはま協働の森基金制度の見直し	13	・ よこはま協働の森基金制度の見直し
	国への制度要望	14	・ 国への制度要望


農地を守る施策

相続税や固定資産税等の負担、農業従事者の高齢化や後継者がいないことによる担い手不足、農業収入の低迷など、農業を取り巻く状況は深刻になっています。

そこで、農業振興策や担い手の育成など、農業を取り巻く課題に取り組むことで、農業の活性化を図り、農地を保全します。

また、不測の事態への対応を行い、市民農園用地に適した農地の買取や、一団の優良な農地等のあっせんを行います。

【事業・取組の凡例】

- ：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
- ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

施策方針	施策内容	事業・取組	
継続保有の促進	生産緑地制度等の活用	15	・ 生産緑地制度の活用
		16	● 農園付公園整備事業
		17	◇ 特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）
農業振興	地産地消の推進	18	◇ 共同直売所の設置支援事業
		19	● 収穫体験農園の開設支援事業
	施設の省エネルギー化の推進、生産用機械のリース方式による導入	21	● 食と農との連携事業
		22	◇ 施設の省エネルギー化推進事業
農地保全	田園景観や水田の保全対策	23	◇ 集団的農地の維持管理奨励事業
		24	● 水田保全契約奨励事業
	生産基盤整備の拡充	25	◇ かんがい施設整備事業
担い手育成	不法投棄対策、周辺環境に配慮した生産環境整備	26	● 不法投棄対策事業
		27	● 環境配慮型施設整備事業
	機械作業の受託組織の育成	28	◇ 機械作業受託組織育成事業
	コーディネーターの活用	29	◇ 担い手コーディネーター育成・派遣事業
	農業後継者・横浜型担い手育成	30	◇ 農業後継者・横浜型担い手育成事業
	農地の貸し手への支援	31	● 農地貸付促進事業
確実な担保	公的機関による買取り及びあっせん	32	● 市民農園用地取得事業
		33	● 農地流動化促進事業
	国への制度要望	34	・ 国への制度要望

❶ 緑をつくる施策

市街化区域では、住宅開発などによる緑の減少が続いている、特に、中心市街地においては、市民は緑の量、質ともに不十分であるとの認識を持っています。

そこで、市独自制度や法令に基づく規制・誘導により緑を増やす取組を推進します。また、身近なみどりをつくり出すため、地域ぐるみで緑化を進める地域緑のまちづくりや、幼稚園などの園庭芝生化や屋上緑化等をはじめとした助成策の強化を行うとともに、公共施設や街路樹では緑化の取組に加えて、適切な管理を行うことで緑の質の向上を図ります。

【事業・取組の凡例】

- ：新規事業（横浜みどり税充当）
- ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
- ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当）
- ・：事業費のないもの

施策方針	施策内容	事業・取組	
緑化推進	地域緑のまちづくり	35	◎ 地域緑のまちづくり事業
	公共施設緑化と民有地緑化助成の拡充	36 37 38	◎ 民有地緑化助成事業 <ul style="list-style-type: none"> ● 保育園・幼稚園芝生化事業 ● 区民花壇事業 ● 生垣設置事業 ◎ 屋上緑化助成事業 ◎ 名木古木保存事業 ◎ 記念樹等生産配布事業 ◇ 公共施設緑化事業 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 公共施設緑化管理事業
	街路樹の維持管理	39	◎ いきいき街路樹事業
	民有地緑化の誘導等	40 41 42	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民有地緑化の誘導等 ・ 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減） ◇ みどりアップ広報事業

(2) 横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)の会計の仕組み

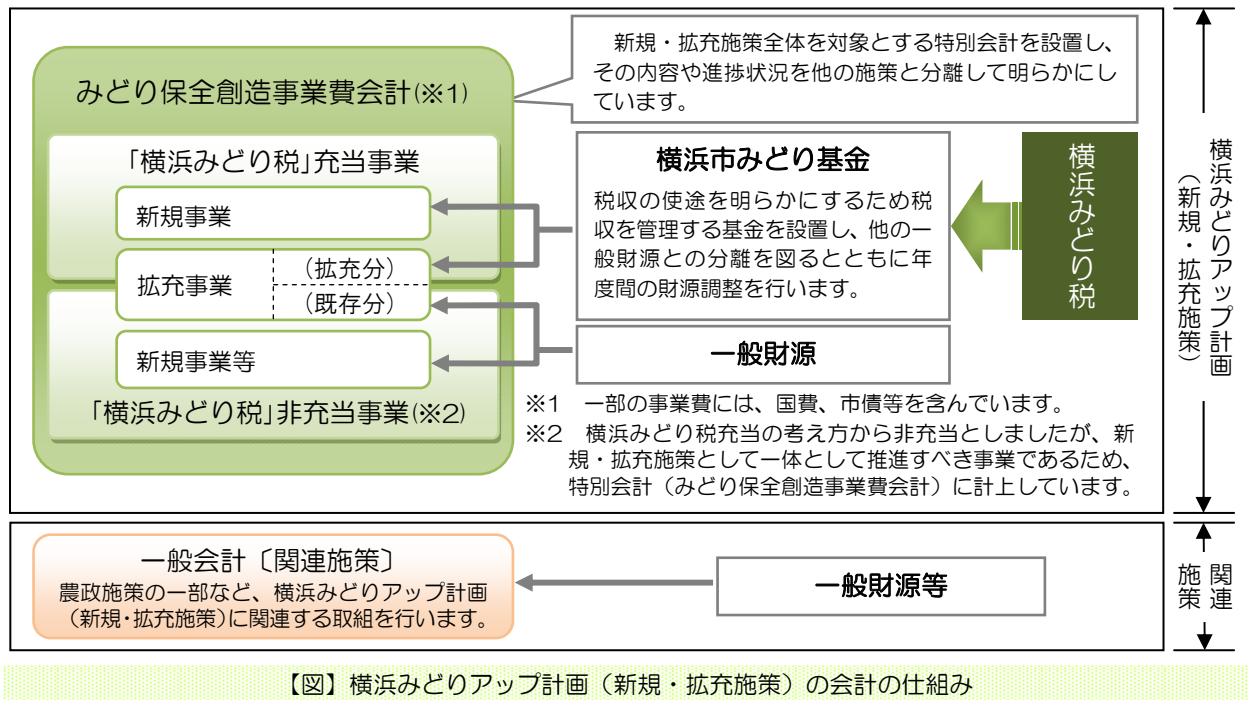
市内の樹林地や農地の多くは民有地で、所有者には維持管理や相続税など大きな負担がかかっています。緑の保全や創造には、所有者が保有し続けられるように維持管理などを支援し、相続などやむを得ない場合は市が買い取るとともに、市街地の緑化に取り組んでいくことが必要であり、横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)では、こうした施策を横浜みどり税による安定的な財源を活用して、平成21年度から進めています。

横浜みどり税の概要

- | | |
|-----------|----------------------------------------------------------------|
| 【課税方式】 | (個人) 市民税の均等割に年間900円を上乗せ※1
(法人) 市民税の年間均等割の9%相当額を上乗せ※2 |
| | ※1 所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない人を除く。
※2 当初4年度間は法人税割が課税されない法人を除く。 |
| 【実施期間】 | (個人) 平成21年度分から25年度分まで
(法人) 平成21年4月1日から26年3月31日の間に開始する事業年度分 |
| 【基金への積立て】 | 税収相当額を横浜市みどり基金へ積み立て、他の財源から分けることで使途を明確にします。 |

横浜みどり税の税収の受け皿として横浜市みどり基金を設置し、他の一般財源とは分けて管理します。これにより、横浜みどり税の使途を明らかにするとともに、年度間の財源調整を行います。

また、横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)の全事業を対象とする特別会計・「みどり保全創造事業費会計」を設置し、計画全体の事業内容や事業費を、一般会計(既存施策)とは分けて明確にすることで、事業の進捗状況について明らかにしています。



【図】横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の会計の仕組み

(3) 横浜みどりアップ計画市民推進会議

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の推進に向けて、市民参加により、施策・事業の市民の皆さまへの情報提供、評価及び意見・提案等をしていただくため、平成21年5月に設置した組織です。

さらに、市民推進会議では、横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）や市民推進会議の活動内容を市民の皆さまに情報提供し、横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）をより身近に感じ、より理解していただくことを目的として広報誌「濱RYOKU」を発行しています。



【写真】横浜みどりアップ計画市民推進会議の様子



【図】「濱 RYOKU」のイメージ

2 平成 23 年度の主な実績



平成 23 年度の主な実績と成果のふりかえりを、施策方針に沿ってまとめます。

(1) 樹林地を守る

ア 確実な担保

<平成 23 年度の主な実績>

「緑の 10 大拠点」のようなまとまった規模の緑や、市街地に残る斜面緑地などの貴重な緑を保全するため、多くの土地所有者の方々の理解と協力を得ながら、特別緑地保全地区・市民の森・緑地保存地区などの地区指定を積極的に進め、平成 22 年度と同等の面積を新規指定することができました。

また、特別緑地保全地区の指定地等で土地所有者の不測の事態による買取りの希望等に、着実に対応しました。



緑地保全制度による新規指定等…104.6ha



不測の事態による買取希望等への対応…34.0ha



①

②

①緑地保全制度指定により保全している樹林地の事例（栄区／公田近郊緑地特別保全地区）
 ②買取りにより保全した樹林地の事例（旭区／川井特別緑地保全地区）

<平成 23 年度の成果とふりかえり>

- ダイレクトメール等による制度の PR や、直接交渉などの働きかけを積極的に行なうことで、100ha を超える樹林地を新たに保全することができました。
- 平成 23 年度の指定目標には達していないため、継続的かつ効率的な働きかけを進める必要があります。

イ 維持管理推進

＜平成23年度の主な実績＞

市民の森等の公開型樹林地では、その樹林地の将来像や維持管理の考え方を定める「保全管理計画」を市民協働により策定し、多様な動植物が生息する健全な森とするため、間伐や下草刈りなどの管理を進めました。

緑地保存地区等の民有樹林地に対しては、住宅地との境界部等における草刈作業や危険樹木撤去に対する助成制度の周知を積極的に行い、多くの所有者の方に活用していただきました。

また、森づくり活動を行っている団体に対して、積極的な森づくり活動を支援するための助成や、道具の貸出などを行い、多くの団体に利用されました。



保全管理計画を策定した市民の森等…3箇所



緑地保全制度に指定している民有地樹林地の維持管理の助成

…83件



愛護会や森づくりボランティアへの活動支援…延べ70団体



①保全管理計画の策定事例
(旭区／南本宿市民の森)

②保全管理計画の策定事例
(保全管理計画検討会の様子、泉区／中田ふれあいの樹林)

③樹林地管理団体への支援の事例（救命救急講習会）

＜平成23年度の成果とふりかえり＞

- 保全管理計画の策定が進み、樹林地の特性に応じた保全管理のあり方について、活動する市民団体の方々と共に認識を得ることができました。
- 緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理に対する助成については、前年度より多くの助成ができたことで、所有者の管理の負担感を軽減することができました。
- 森づくり活動団体への支援の工夫を行うことで、利用団体が増加し、活動が活発になりました。

ウ 利活用促進

＜平成23年度の主な実績＞

樹林地の魅力や保全の意義を啓発・PRするため、楽しみながら樹林地の現状を知ることで保全活動に関心を持つきっかけとなるような、さまざまな体験型講座を実施しました。

また、樹林地の維持管理で生じた間伐材の活用を図るため、森づくり団体に対して、間伐材のチップ化作業の支援を行いました。



森への関心を高める講座…83回（参加者6,528人）



森の収穫物を楽しむ体験型イベント…16回（参加者2,651人）



森づくり団体への間伐材チップ化作業支援…45回



- ①森への関心を高める講座の事例
（「よこはま森の楽校 竹の伐採と竹細工」、
都筑区／東京都市大学）
- ②森の収穫物を楽しむ体験型イベントの事例
（「色の散歩」森の恵みの標本づくり、
西区／横浜美術館）
- ③森づくり団体への間伐材チップ化作業支援
の事例（チップを園路に敷きつめた様子、
旭区／南本宿市民の森）

＜平成23年度の成果とふりかえり＞

○様々な団体や施設と連携しながら事業を実施したことで、多くの参加者を得ることができ、樹林地の魅力などについて広く啓発・PRすることができました。

○間伐材のチップ化支援の実績も増え、放置された間伐材が活用されることで、樹林の環境改善につながりました。今後、さらに需要の掘り起こしをすることが必要です。

(2) 農地を守る 

ア 農業振興

<平成23年度の主な実績>

市民の皆さまが身近なところで地産地消を実感できるよう、果物のもぎ取りや野菜の収穫などを体験することができる果樹園や農園の整備に対し、支援を行いました。

また、農家と市民・企業、様々な人や団体が連携した新たな地産地消の取組として、「食と農の祭典」をはじめとする様々な取組を展開しました。

● 収穫体験農園の整備に対する助成…7.1ha (32箇所)

● 様々な団体、企業等が連携した、新たな地産地消の取組…6件



① 収穫体験農園の整備に対する助成の事例
(イチゴの高設栽培装置、都筑区)

② 様々な団体、企業等が連携した新たな地産地消の取組の事例 (食と農の祭典 2011)

③ 様々な団体、企業等が連携した新たな地産地消の取組の事例 (ガイドブック「食べる。横浜」)



<平成23年度の成果とふりかえり>

- 収穫体験ができる農園の整備は、目標を上回る支援を行い、市民の皆さまが果物のもぎ取りや野菜の収穫ができる場を増やすことができました。
- 食と農の祭典などの実施を通じて、企業や市民団体との連携が進み、地産地消の取組が拡大しました。

イ 農地保全

＜平成23年度の主な実績＞

農地の適切な管理と景観の保全を図るために、地域の農地を管理している団体に支援を行いました。団体が行っている道水路などの清掃活動や法面等を利用した景観植物の植栽・管理などに支援を行いました。

水田を保全するため、水稻耕作を10年間継続することを条件に支援を行っており、平成23年度も追加で承認を行うとともに、水稻作付けが確認された水田に対して保全奨励金を交付しました。

また、都市の中での農業を安定的に継続できるよう、不法投棄が多発している農業専用地区などで対策を行うとともに、臭気や農薬飛散など、周辺住民とのトラブルを避けるために必要な設備等の導入を支援しました。

● 地域の農地の管理を行う農業者団体に対する支援

…622.6ha (48団体)

● 水田保全承認面積…109.7ha (うち新規承認 10.0ha)

● 農地への不法投棄対策…延べ60地区

● 農薬飛散防止ネットの設置…6.3ha (43件)



①地域の農地の管理を行う農業者団体に対する支援（農業者団体による水路清掃、金沢区）

②水田保全契約により保全された水田の事例（瀬谷区）

③農地への不法投棄対策の事例（不法投棄監視警報装置、都筑区）

④農薬飛散防止ネットの設置事例（戸塚区）

＜平成23年度の成果とふりかえり＞

○農地の管理団体の支援については、支援団体数が増えるとともに、活動内容の幅が広がり、地域全体で農地を良好に維持管理する意識が高まりました。

○また、水田の保全がさらに進んだことで、良好な景観や都市環境の保全が進みました。5か年の目標に向けて、一層の事業推進に取り組む必要があります。

○不法投棄対策や農薬飛散防止ネットの設置などを積極的に進めたことで、都市の中での営農環境の向上を図ることができました。今後も、さらに制度が活用されるよう取り組む必要があります。

ウ 担い手育成・確実な担保・継続保有の促進

＜平成23年度の主な実績＞

認定農業者などの経営改善に必要な機械・施設の導入等に対して、目標を上回る支援を行いました。

市が仲介した農地の貸付を長期間になるよう誘導し、目標を上回る実績となりました。また、優良な農地を市が借り入れ、新規参入者や規模拡大農家に貸し付ける事業を開始し、農地の流動化を促進しました。

農地や里山景観を保全し、市民の農体験の機会を増やす農園付公園について、土地所有者の方々との調整を進めるとともに、施設整備に向けた設計を進めました。

- 経営改善に必要な農業機械導入等に対する支援…52件
- 6年以上の長期貸付を開始した農地…18.8ha
- 新規の農地貸借…15.6ha
- 農園付公園の基本設計…3箇所



- ①経営改善に必要な農業機械導入等に対する支援の事例（バックホー）
 ②新規の農地貸借の事例
 ③農園付公園の整備イメージ

＜平成23年度の成果とふりかえり＞

○目標を大幅に上回る経営改善の支援を行うことで、市内産農産物の生産供給に寄与することができました。

○農地の貸借が進み、遊休農地が耕作されることで、営農環境が向上するとともに、新たな担い手への貸付が進みました。

○農園付公園の用地取得や設計が進みましたが、整備を行い、供用開始できるよう、事業をさらに進める必要があります。

(3) 緑をつくる

ア 緑化推進

<平成23年度の主な実績>

地域の皆さんと横浜市が協力して、地域にふさわしい緑化計画をつくり、民有地と公共施設の緑化を進める「地域緑のまちづくり」の取組を、地域の皆さんと街歩きや緑化の試行実験などを行なながら進め、平成21年度から取り組んでいる地区で、緑化等の実施に向けた協定を締結し、緑化整備を実施しました。

また、子どもたちがのびのびと遊べる緑の環境をつくりだすために、民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に対して助成を行うとともに、公立の保育園や小中学校の園庭・校庭の一部芝生化を実施しました。

民有地緑化の推進については、沿道での花壇整備や屋上緑化など、さまざまな助成を進めました。

- 地域ぐるみで策定した緑化計画に基づき、緑化整備を実施した地区…6地区
- 保育園・幼稚園の園庭、小中学校の校庭の芝生化…27箇所
- 花壇整備等に対する助成…3箇所
- 屋上・壁面緑化に対する助成…9件



①地域緑化計画に基づく民有地緑化の事例（戸塚区／名瀬たかの台地区）
 ②園庭芝生化の事例（旭区／左近山保育園） ③屋上緑化に対する助成の事例（西区）

<平成23年度の成果とふりかえり>

○地域の皆さまの積極的な取組により地域緑化計画の策定が進み、緑化の実施に着手できるようになったことで、地域での緑のまちづくりが新たな段階に入りました。

○保育園や小中学校など、市民の皆さんに身近な施設での緑化が進み、身近に触れることのできる緑を増やすことができました。この取組がさらに広がるよう、施設管理者の芝生管理技術の習得などの取組を進めることが必要です。

○民有地緑化では、より多くの市民の皆さんに助成制度を活用していただけるよう、工夫する必要があります。

3 事業・取組の実績



平成23年度実績を一覧表にまとめるとともに、具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いてご報告します。

(1) 平成23年度の事業・取組実績一覧

ア 樹林地を守る



【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
 ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

※ 平成23年度決算見込額：平成24年4月末現在の数値

施策方針/事業・取組		平成23年決算見込額※ [百万円]		平成23年度事業目標	平成23年度事業実績	掲実載 ペー ジ の 詳 細
		総額	横浜 みどり税 充当額			
継続保有の促進						
1	・緑地保全制度等の拡充	-	(-)	・制度案策定	・市民緑地、管理協定の制度活用の方向性を定めた ・緑地管理機構の指定基準を定めた	3-7
2	・篤志の奨励制度	-	(-)	・制度策定	・制度の詳細について検討・調整	3-7
維持管理推進						
3	◎緑地再生等管理事業	374	(243)	・202ha	・市民の森・ふれあいの樹林等の維持管理 作業：186.1ha (99箇所) ・樹林地維持管理助成制度：83件	3-8
				・危険斜面整備	・危険斜面整備：6箇所	
4	◎市民協働による緑地維持管理事業	13	(12)	・推進	・保全管理計画策定 ：3箇所	3-9
5	●森づくりリーダー等育成事業	3	(3)	・森づくりボランティア育成：50人 ・森づくりリーダー育成：5人 ・はまレンジャー育成：5人	・森づくりボランティア育成：46人 ・森づくりリーダー育成：6人 ・はまレンジャー育成：6人	3-10

3 事業・取組の実績

(1) 平成23年度の事業・取組実績一覧

施策方針/事業・取組	平成23年決算 見込額※ [百万円]		平成23年度 事業目標	平成23年度 事業実績	掲実 績ペ ージ 詳細
	総額	横浜 みどり税 充当額			
6 ●樹林地管理団体活動 助成事業	8	(8)	・愛護団体：25団体	・助成交付：2団体 ・道具の貸出：26団体 ・研修の開催：12団体	3-11
			・森づくりボランティ ア：19団体	・助成交付：3団体 ・道具の貸出：20団体 ・研修の開催：7団体	
利活用促進					
7 ●森の楽しみづくり事 業	34	(34)	・景観の森・生き物の森 事業：5ha	・生態系に配慮した植樹 等：7.4ha (3箇所)	3-12 ～ 3-17
			・森の中のプレイパーク 事業：1箇所	・プレイパークイベント ：8箇所 (169人) ・プレイパーク支援 ：1箇所	
			・森の収穫物体験事業 ：4回	・森の収穫物体験イベン ト：16回 (2,651人)	
			・里山ライフ体験事業 ：4回	・里山ライフ体験イベン ト：4回 (522人)	
			・健康の森事業：18回	・ウォーキングツア ：16回 (580人)	
			・横浜の森の自然・生き 物情報発信事業：推進	・ガイドマップ作成 ：3地域	
			・間伐材活用クラフト作 成事業：推進	・間伐材活用クラフト イベント ：10回 (298人)	
			・森の恵み塾事業 ：3拠点で実施	・森林教室 ：83回 (6,528人)	
8 ●みどりの夢かなえま す事業	4	(4)	・3件	・助成交付：3件	3-18
9 ◎間伐材資源循環事業	9	(8)	・推進	・間伐材チップ化作業 支援：45回 ・間伐材マネジメント 研修：1回 (29人)	3-19
10 ◇愛護会、森づくりボラ ンティア活動拠点整 備事業	19	(-)	・設計：1箇所	・設計：1箇所	3-20
			・整備：2箇所	・整備：1箇所	
11 ◇ウェルカムセンター 整備事業	39	(-)	・1箇所	・整備：1箇所	3-20
確実な担保					
12 ◎特別緑地保全地区指 定等拡充事業	7,470	(1,187)	・指定面積：309.9ha	・新規指定等：104.6ha	3-21 ～ 3-22
			・買取対応予定面積 ：約30ha	・買取対応：34.0ha	
13 ・よこはま協働の森基金 制度の見直し	-	(-)	・制度運用 (平成22年 度制度改正)	・制度運用中	3-23
14 ・国への制度要望	-	(-)	・推進	・6月、8月に実施	3-24

イ 農地を守る



【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

※ 平成 23 年度決算見込額：平成 24 年 4 月末現在の数値

施策方針/事業・取組		平成 23 年決算 見込額※ [百万円]		平成 23 年度 事業目標	平成 23 年度 事業実績	掲実 載績 ペー ジ の 詳 細
		総額	横浜 みどり税 充当額			
継続保有の促進						
15	・生産緑地制度の活用	-	(-)	・制度運用	・追加指定 ：9 件、7,360 m ² ・うち指定基準の緩和による指定 ：1 件、1,636 m ²	3-25
16	●農園付公園整備事業	7	(7)	・用地測量 ・基本・実施設計 ・一部施設整備	・用地測量 ・基本設計：3 箇所 ・3 箇所の候補地のほか、複数の地区で土地所有者と調整中	3-26
17	◇特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	1	(-)	・制度運用	・特定農業用施設保全契約締結 ：13 件、2,406 m ² ・平成 24 年度以降の運用見直しに関する要綱等改正	3-27
農業振興						
18	◇共同直売所の設置支援事業	27	(-)	・備品等購入助成	・備品等購入助成 ：2 箇所	3-28
19	●収穫体験農園の開設支援事業	46	(46)	・収穫体験農園整備 ：4.5ha	・収穫体験農園整備 ：7.1ha (32 箇所)	3-29
20	●食と農との連携事業	4	(4)	・地産地消の連携の取組 ：5 件	・地産地消の連携の取組 ：6 件	3-30
21	◇施設の省エネルギー化推進事業	63	(-)	・温室内多層カーテン等設置助成：3.0ha	・省エネ施設整備助成 ：3.2ha (56 件)	3-31
22	◇生産用機械のリース方式による導入事業	33	(-)	・生産用機械の導入補助 ：20 件	・生産用機械の導入補助 ：22 件	3-32
農地保全						
23	◇集団的農地の維持管理奨励事業	26	(-)	・支援予定面積 ：631ha	・集団的農地保全団体支援事業 ：622.6ha (48 団体) ・公益施設維持管理奨励事業：42 団体 ・農の散歩道育成事業 ：4 団体 ・集団的農地維持管理補助事業：3 団体	3-33

3 事業・取組の実績

(1) 平成23年度の事業・取組実績一覧

施策方針/事業・取組	平成23年決算見込額※ [百万円]		平成23年度 事業目標	平成23年度 事業実績	掲載 ペー ジ 細 一 詳 細
	総額	横浜 みどり税 充当額			
24 ●水田保全契約奨励事業	33	(33)	・水田保全契約面積 : 120ha	・水田保全奨励面積 : 109.7ha (うち新規申出 : 10.0ha) ・水田保全奨励金交付 : 108.4ha	3-34
25 ◇かんがい施設整備事業	28	(-)	・かんがい施設整備 : 2地区 ・簡易かんがい施設整備 : 1地区	・かんがい施設整備 : 2地区 ・かんがい施設設計 : 1地区	3-35
26 ●不法投棄対策事業	14	(14)	・監視警報装置設置 : 2地区 ・夜間警備委託 : 39地区 ・住民パトロール・清掃 支援: 20地区	・監視警報装置設置 : 3地区 ・夜間警備委託 : 36地区 ・住民パトロール・清掃 支援: 21地区	3-36
27 ●環境配慮型施設整備事業	46	(46)	・農薬飛散防止ネット : 7.5ha ・牧草による環境対策等 : 25地区 ・その他施設整備: 4件	・農薬飛散防止ネット : 6.3ha (43件) ・牧草による環境対策等 : 16地区 ・その他施設整備: 5件	3-37
担い手育成					
28 ◇機械作業受託組織育成事業	18	(-)	・農業機械導入支援 : 1地区 ・組織設立検討: 1地区	・農業機械導入支援 : 1地区 ・組織設立検討: 1地区	3-38
29 ◇担い手コーディネーター育成・派遣事業	2	(-)	・育成研修実施回数 : 1回 ・援農コーディネーター : 2組織	・市民農園コーディネーター育成研修: 2回 ・援農コーディネーター協定締結: 2組織	3-39
30 ◇農業後継者・横浜型担い手育成事業	30	(-)	・経営改善支援: 28件 ・農業後継者育成 : 13人	・経営改善支援: 52件 ・農業後継者育成支援 : 2人	3-40
31 ●農地貸付促進事業	10	(10)	・長期貸付開始農地 : 16.1ha	・長期貸付開始農地 : 18.8ha	3-41
確実な担保					
32 ●市民農園用地取得事業	169	(24)	・用地測量 ・用地取得: 1.0ha	・用地測量 ・用地取得: 0.2ha ・複数の候補地について、農園付公園整備事業とあわせて土地所有者と調整中	3-26
33 ●農地流動化促進事業	6	(6)	・対象農地面積: 5ha	・新規の農地貸借 : 15.6ha	3-42
34 ・国への制度要望	-	(-)	・推進	・8月に実施	3-43

ウ 緑をつくる

【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

※ 平成 23 年度決算見込額：平成 24 年 4 月末現在の数値

施策方針/事業・取組	平成 23 年決算 見込額※ [百万円]		平成 23 年度 事業目標	平成 23 年度 事業実績	掲実 載績 ペ ージ の 詳 細
	総額	横浜 みどり税 充当額			
緑化推進					
35 ◎地域緑のまちづくり事業	63	(63)	・地域緑化計画策定事業 新規：6 地区 継続：10 地区	・地域緑化計画策定の 取組 新規：2 地区 継続：10 地区	3-45 ～ 3-46
			・地域緑化推進事業 ：8 地区	・計画に基づく緑化整備 ：6 地区	
36 ◎民有地緑化助成事業	24	(13)	・保育園・幼稚園芝生化 助成事業：20 園	・保育園・幼稚園の園庭 芝生化助成：5 園	3-47 ～ 3-49
			・区民花壇事業：7 箇所	・花壇整備助成：3 箇所	
			・生垣設置事業 ：100m	・生垣設置助成 ：6.7m (1 件)	
			・屋上緑化助成事業 ：20 件	・屋上・壁面緑化助成 ：9 件	
			・名木古木保存事業 ：新規指定 20 本	・名木古木新規指定 ：24 本 ・維持管理に対する助成 ：42 本	
			・記念樹等生産配布事業 ：19,000 本	・人生記念樹等配布 ：16,497 本	
			・2.0ha	・公共施設の緑化 ：1.8ha (149 箇所) (うち 公立保育園の園庭 芝生化：9 園、 公立小中学校の 校庭芝生化：13 校)	
37 ◇公共施設緑化事業	227	(-)	・191 施設、25.0ha	・公共施設の植栽地管理 ：245 施設、25.5ha	3-50
38 ◇公共施設緑化管理事業	98	(-)	・せん定本数 ：10,000 本	・街路樹せん定 ：14,623 本 (108 路線)	3-51
39 ◎いきいき街路樹事業	179	(179)	・推進	・緑化地域制度等運用中	3-52
40 ・民有地緑化の誘導等	-	(-)	・制度運用	・緑地保全契約締結 ：10 件 (8.4ha)	3-53
41 ・建築物緑化保全契約の 締結（建築物の敷地に 対する固定資産税等 の軽減）	-	(-)			3-54

3 事業・取組の実績

(1) 平成23年度の事業・取組実績一覧

施策方針/事業・取組	平成23年決算 見込額※ [百万円]		平成23年度 事業目標	平成23年度 事業実績	掲載 実績 ペー ジ の 詳 細
	総額	横浜 みどり税 充当額			
42 ◇みどりアップ広報事業	4	(-)	・推進	・計画の目的、内容及び 推進状況を実感して いただけるよう、多様 な手段で広報活動を 推進	3-55 ～ 3-58

(2) 事業・取組の実績

平成 23 年度の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。なお、関連性の強い事業については、まとめて示しています。

ア 樹林地を守る

3

事業取組の実績
(2) ア 樹林地を守る

1

緑地保全制度等の拡充

・事業費のないもの

特別緑地保全地区や源流の森の指定面積を、5,000 m²以上から 1,000 m²以上へ引き下げ、平成 21 年度より運用しています。

土地所有者ができるだけ緑地を持ち続けられるよう、新たな緑地保全制度の導入に向けた検討を進めます。

平成 23 年度の実績

<年度目標>



市民緑地、管理協定の具体策について検討・調整し、制度活用の方向性を定めた

制度案策定



緑地管理機構の指定手続きを定めた

2

篤志の奨励制度

・事業費のないもの

樹林地の公開に協力いただいた土地所有者の厚意に対し、謝意を表する看板を設置するなど、顕彰する制度の検討を進めます。

平成 23 年度の実績

<年度目標>



制度の詳細について、検討・調整

制度策定

市民の森やふれあいの樹林は、緑を保全するとともに、市民の皆さんに憩いの場としてご利用いただくため、土地所有者のご厚意により使用させていただいているものです。

こうした制度の趣旨や、ご協力いただいている土地所有者の方への謝意を表する看板等の設置に、引き続き取り組んでいきます。

【写真】看板の設置例



市民の森は、市内の樹林を守り育てるとともに、市民の皆さんのがんの場としてご利用いただきため、山林所有者の方々のご厚意により、使用させていただいているものです。

市民の森の散歩道や広場の清掃・草刈りなどは、地元の方々によりつくられた「市民の森愛護会」が行っています。利用者の皆さんもきれいな樹林になるようご協力お願いいたします。

ご利用時間は原則として日の出から日の入りまでです。

○散歩道や広場以外への立入は禁止です。
○犬は、きちんとつないで散歩させてください。
○花は、咲いたときに咲いてください。
○火遊びや煙草など、火災の原因となる行為はやめましょう。
○とていいのは写真だけ。植物は持ち帰らないでください。
○花火などのゴミは持ち帰りましょう。
○樹林の利用は、自己責任でお願いいたします。

【写真】看板の掲出文例

3 緑地再生等管理事業

:拡充事業

(横浜みどり税一部充当)

多様な動植物が生息する健全な森とするため、市民の森等について間伐や下草刈りなどの管理を行ないます。

緑地保存地区等における危険樹木撤去や支障樹木の伐採について、助成を行ないます。

市民の森等を市民が安全に活用できるよう、危険斜面の整備などの管理を行ないます。

平成 23 年度の実績

<年度目標>

 市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り	186.1 ha (99 箇所)	202ha
 緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成	83 件	
 市民の森等の斜面地での防災対策工事	6 箇所	危険斜面整備

緑地再生・管理

市民の森等における間伐や下草刈りについて、99 の樹林地 (186.1 ha) で実施しました。



【写真】再生管理を行った竹林
(緑区 / 上山ふれあいの樹林)

樹林地維持管理助成

緑地保存地区等の緑地保全制度に指定している非公開の民有樹林地に対して維持管理費用を 83 件助成しました。



助成制度を利用した方の声

- ・高額な伐採費用が負担できず、作業を行えていなかったのですが、助成を受けようやく作業を行うことができました。
- ・道が明るくなり、子供たちも安心して通学路として使用できると、近隣の方から感謝されました。

危険斜面整備

対応が必要な危険斜面について、かぶと塚ふれあいの樹林(鶴見区)、下永谷市民の森(港南区)、飯島市民の森(栄区)など 6 箇所で整備を行いました。

4

市民協働による緑地維持管理事業

:拡充事業

(横浜みどり税一部充当)

樹林地の将来像や維持管理の考え方を定めた「保全管理計画」を、市民との協働で策定します。

すでに策定した樹林地において計画の検証やモニタリングを実施し、順応的管理()を推進しました。

()順応的管理...作業の成果を検証し、計画を見直しながら進める管理のこと

平成 23 年度の実績	<年度目標>
保全管理計画を策定した市民の森等	3 箇所 推進

市民協働による緑地維持管理事業

- ・樹林地の将来設計である「保全管理計画」を、市民の森愛護会などとの協働により、策定に取り組みました。

策 定	南本宿市民の森	旭区
	瀬上市民の森	栄区
	中田ふれあいの樹林	泉区

- ・南本宿市民の森(旭区)では、市民の森愛護会の方や市民の森で調査を行っている大学の研究者らと現地見学や検討会を開催し、計画の策定を進めました。愛護会の方からは昔の管理の様子や最近見られなくなった生きものの復活への意欲が語されました。
- ・平成 21 年度に保全管理計画を策定した追分市民の森、矢指市民の森(ともに旭区)では、専門家による植物相調査を実施しました。その結果、保全管理作業を行った区域では多数(87科 277種)の植物が記録されました。



【図】保全管理計画施業計画
(保全管理計画書から抜粋、
(旭区/南本宿市民の森))

【写真】保全管理計画検討会の様子
(泉区/中田ふれあいの樹林)



5 森づくりリーダー等育成事業

:新規事業

(横浜みどり税充当)

森の維持管理を市民との協働により進めるため、森に関わる人材育成を進めます。

森づくりボランティア団体の運営を担う「森づくりリーダー」、森の手入れ等の管理を行う「森づくりボランティア」、森の生き物観察や普及啓発を行う「はまレンジャー」を育成する講座を行います。

平成 23 年度の実績

<年度目標>

 森づくりボランティア育成	46 人	50 人
 森づくりリーダー育成	6 人	5 人
 はまレンジャー育成	6 人	5 人

森づくりボランティア育成

森づくりボランティア活動についての基礎的な講義と実際に野外で森づくり活動を体験する講座を開催しました。



森づくりリーダー育成

横浜の森づくりの現状を、森づくりに関わる様々な人の立場に立って意見を出し合うワークショップを開催しました。

【写真】森づくりボランティア養成講座
(2月19日開催、緑区/新治市民の森)

はまレンジャー育成

森の情報を集めて記録する方法などについて講座を開催しました。



【写真】森づくりリーダー養成講座
(7月9日開催、中区/平沼レストハウス)



【写真】はまレンジャー養成講座
(9月25日開催、栄区/上郷・森の家)

6

樹林地管理団体活動助成事業

:新規事業
(横浜みどり税充当)

市民の森やふれあいの樹林等で森づくり活動をしている愛護団体の積極的な活動に対して支援を行います。

森づくりボランティアについても、森づくり活動を自主的、計画的に進めることができるように助成等支援を行います。

平成 23 年度の実績	< 年度目標 >	
 市民の森等の森づくり愛護団体への活動支援	助成金交付：2 団体 道具貸出：26 団体 研修の開催：12 団体	25 団体
 森づくりボランティアへの活動支援	助成金交付：3 団体 道具貸出：20 団体 研修の開催：7 団体	19 团体

支援内容

< 団体活動助成の実施 >

積極的な活動に対して、助成を行いました。



【図】団体活動助成の事例
(花と実の写真集/新治市民の森愛護会)

< 道具の貸出 >

なたやノコギリ、コーンカバー、活動広報支援として腕章や帽子の貸出を行いました。

< 研修の開催 >

安全管理として救命救急講習会を実施しました。



【写真】救命救急講習会の様子
(1月 29 日開催、中区/健康福祉総合センター)

7 森の楽しみづくり事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)
--------------	---------------------

樹林地の魅力や保全の意義を啓発・PR し、市民と森とのつながりを再生するため、より多くの市民が森の魅力に触れて森に親しみ、楽しみながら横浜の森の現状を知ることで保全に関心を持つきっかけとなるような、さまざまな体験型事業や情報発信に関する事業を実施します。

平成 23 年度の実績	<年度目標>	
● 景観の森・生き物の森事業 - 生態系に配慮した植樹等	7.4ha (3箇所)	5ha
● 森の中のプレイパーク事業 - プレイパークイベント - プレイパーク支援	8箇所 (169人) 1箇所	1箇所
● 森の収穫物体験事業 - 森の収穫物を楽しむ体験型イベント	16回 (2,651人)	4回
● 里山ライフ体験事業 - 里山の自然や文化を体験するイベント	4回 (522人)	4回
● 健康の森事業 - ウォーキングツアー	16回 (580人)	18回
● 横浜の森の自然・生き物情報発信事業 - ガイドマップ作成	3地域	推進
● 間伐材活用クラフト作成事業 - 間伐材を活用したクラフト作成イベント	10回 (298人)	推進
● 森の恵み塾事業 - 森への関心を高める講座	83回 (6,528人)	3拠点で実施

景観の森・生き物の森事業

市民の森等において、昆虫等が好む樹種等の植樹や生物多様性に配慮した重点的な管理を推進し、良好な景観や生き物の生息環境を創出に取り組みました。

実施箇所	区	面積
追分市民の森	旭	6.3ha
矢指市民の森	旭	(隣接しているため一体で管理を行っています。)
三保市民の森	緑	1.1ha

・追分市民の森(旭区)では、昆虫などの小動物の生息空間にもなる粗朶柵をつくりました。



【写真】粗朶柵づくりの様子
(旭区/追分市民の森)

森の中のプレイパーク事業

子どもたちが木とふれあい、遊びを通して自然や生き物に対する理解を深め、森林環境を考える心を育てることの出来るプレイパークを、街の中と森の中で実施しました。

<街の中のプレイパーク>

会場	区	参加人数
神奈川図書館	神奈川	17人
南図書館	南	16人
港南図書館	港南	24人
保土ヶ谷図書館	保土ヶ谷	15人
旭図書館	旭	20人
金沢図書館	金沢	16人
都筑図書館	都筑	16人
【計】 7箇所		124人

○ 参加者の声

- ・自然のことをもっともっと知りたくなりました。
- ・公園内の風の向きや、風が吹きぬける場所を発見しました。
- ・身边にある木の名前を調べることができました。



【写真】「街の中のプレイパーク」の様子
(7月28日開催、旭区/旭図書館)
・グループに分かれて木の特徴を探し、図書館で調べもの学習を行いました。

<森の中のプレイパーク>

会場	区	参加人数
環境活動支援センター	保土ヶ谷	45人



【写真】「森の中のプレイパーク」の様子
(2月12日開催、保土ヶ谷区/環境活動支援センター)
・森を使ってネイチャーゲームを行い、遊びを通じて自然の楽しさ、素晴らしさを体験しました。

○ 参加者の声

- ・よく来る場所なのに、いつもと違った場所のように感じることができました。参加してよかったです。
- ・親子での参加でしたが、子どもの興味を引き出してくれて楽しく自然とあそべました。
- ・大人も子どもも自然を楽しめる企画でとてもよかったです。

<プレイパーク支援>

- ・1箇所(旭区/鶴ヶ峰ふれあいの樹林)

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績 ア 樹林地を守る

森の収穫物体験事業

森の恵みを知り感謝の気持ちを育むことを目的に、収穫と活用を体験できる催し等を開催しました。平成23年度は、横浜美術館やボランティア団体との協働により事業を実施しました。

<横浜美術館 横浜みどりアップ・ワークショップ>

横浜の緑について考える機会となるようなワークショップを行いました。

ワークショップ名	会場
やさしい積み木づくり(2回)	横浜美術館(西区) 環境活動支援センター (保土ヶ谷区)
色の散歩(5月コース、11月コース) (各2回)	
光れ!ハマの泥団子(2回)	
横浜みどりアップワークショップ展	横浜美術館内 カフェ小倉山(西区)
【計】 9回	



【写真】

「色の散歩」森の恵みの標本づくりの様子(11月12日開催、西区/横浜美術館)

<その他のイベント等>

イベント名	会場	区
七夕であざみ野を飾ろう(2回)	アートフォーラムあざみ野	青葉
農と緑のふれあいまつり	環境活動支援センター	保土ヶ谷
栄区民まつり	本郷中学校	栄
みんなでつくるあったかクリスマス (親子編、子ども編各1回)	アートフォーラムあざみ野	青葉
お正月飾りを作りましょう	市民ギャラリー	中
【計】 7回		

・横浜の身近な木で、自分の子どものために素敵なプレゼントができたことに、とても感激しました。



参加者の声 ・様々な木々、自然から思ってもみない色がもたらされることを知り、大変楽しい体験となりました。
・もっともっと多くの人に、森のことを伝えて楽しめるといいなと思いました。

里山ライフ体験事業

里山の成り立ちや自然と文化を知ることを目的に、農村の生活体験のできる古民家等を活用した体験型の催しを開催しました。

イベント名	会場	区
谷戸の暮らしはっけん隊	新治市民の森	緑
田んぼや水路の生き物を親子で観察	舞岡公園	戸塚
落ち葉探検隊と周囲の観察会	天王森泉公園	泉
紅葉のライトアップと琵琶とお茶席	長屋門公園	瀬谷
【計】 4回		



【写真】

「田んぼや水路の生き物を親子で観察」の様子(7月18日開催、戸塚区/舞岡公園)



参加者の声 ・いろんな種類の田んぼの生き物を見ることが

できました。取り方と名前も丁寧に教えてくださったので勉強になりました。
・学校の近くでいろいろな野鳥を見ることができて楽しかったです。

健康の森事業

緑に親しむことにより、樹林地の保全に対する関心・理解を深め、あわせて市民の健康増進を図るため、市民の森等の樹林地をコースに組み込んだウォーキングツアーを、各種団体等と連携し実施しました。

＜ウォーキングツアーの実施例＞



【写真】「学んで実践 得々ウォーク」の様子
(9月17日開催、港北区/小机城址市民の森)



【写真】「自然とふれあうウォーキング」の様子
(9月24日開催、瀬谷区/東山ふれあいの樹林)



【写真】「舞岡の森で遊ぼう」の様子
(10月30日開催、戸塚区/舞岡公園)



【写真】「荒井沢の森探検隊」の様子
(11月23日開催、栄区/荒井沢市民の森)

参加者の声

- ・自然いっぱいの中でウォーキングをすることができて、とっても楽しかったです。
- ・元気で明るいガイドに感謝します。
- ・自分でもウォーキングをしていますが、歩き方の基本を教えていただき今後の参考になりました。

3 事業・取組の実績
(2) 事業・取組の実績 ア 樹林地を守る

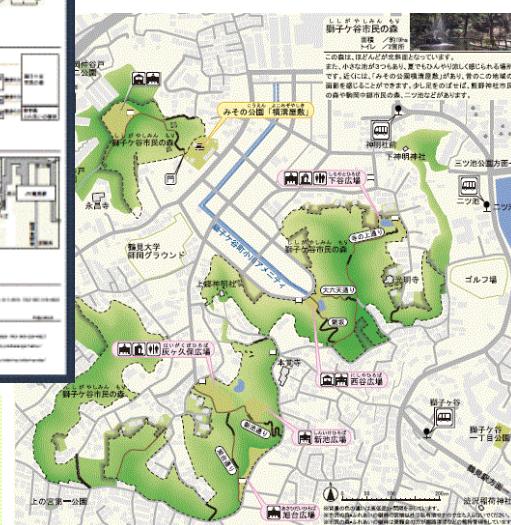
横浜の森の自然・生き物情報発信事業

ウォーキングなどの散策にも活用できるよう、近接する市民の森、ふれあいの樹林の自然・生き物情報や、距離を示したルート情報を1枚にまとめたパンフレットを、3つの地域で作成しました。

パンフレット作成地域	区
獅子ケ谷市民の森・東寺尾ふれあいの樹林	鶴見
駒岡中郷市民の森・かぶと塚ふれあいの樹林	鶴見
熊野神社市民の森・綱島市民の森	港北



【左図】
「獅子ケ谷市民の森・東寺尾ふれあいの樹林」のパンフレット
・森・生き物情報や駅からの案内を表記



【右図】
「獅子ケ谷市民の森・東寺尾ふれあいの樹林」のパンフレット
・主要な施設や高低差を表示

間伐材活用クラフト作成事業

樹林地の管理として発生する間伐材を活用することを目的に、主に子どもを対象としたクラフト作成ワークショップ等を開催しました。

イベント名	会場
竹の楽器づくり (4回)	横浜市児童遊園地(保土ヶ谷区) 山王小学校(磯子区)
リースづくり	環境活動支援センター、横浜市児童遊園地(ともに保土ヶ谷区)
ミニ門松づくり	山王小学校(磯子区)
ひょうたんアート (2回)	山王小学校(磯子区)
ひな人形づくり (2回)	山王小学校(磯子区)
【計】10回	



【写真】「竹の楽器づくり」の様子
(8月9日、8月10日開催、
保土ヶ谷区/横浜市児童遊園地)



- ・「竹の楽器づくり」では、音程を合わせるのが難しかったが、竹を切るのが楽しかった。
- ・いろいろな木の実が見られてよかったです。

森の恵み塾事業

多くの市民を対象に、森づくりの関心を高め、ボランティア活動への参加の契機となるよう、樹林地の特性を活かした多彩なメニューによる森林教室「森の恵み塾」を開催しました。

＜「森の恵み塾」の開催例＞



【写真】
「よこはま森の楽校 竹の伐採と竹細工」の様子
(7月23日開催、都筑区/東京都市大学)

【写真】
「企業担当者対象生物多様性セミナー」の様子
(10月14日開催、栄区/横浜自然観察の森)



【写真】
「間伐材でマイアイススプーンづくり」の様子
(11月3日開催、中区/馬車道商店街)

【写真】
「森の恵み研究」の様子
(11月10日開催、青葉区/荏子田小学校)

参加者の声

- ・詳しく丁寧なお話をいただきて、分かりやすかったです。
- ・こんな近くに竹林があることを知りませんでした。竹で音がいろいろ出るのが楽しかったです。
- ・みどりの大切さを感じました。

8 みどりの夢かなえます事業	:新規事業 (横浜みどり税充当)
----------------	---------------------

樹林地の保全に関する活動をしている団体から樹林地の保全と利活用に資する提案を募集し、優れた提案の実施を支援することで、市民協働による樹林地の保全を推進します。

平成 23 年度の実績

<年度目標>



森づくり団体からの提案に対する実施支援

3 件

3 件

平成 23 年度は、平成 23 年 2 月より募集を開始、3 月 25 日に提案募集を締め切り、3 件の事業提案がありました。4 月のみどりの夢かなえます事業選考委員会において審査を行い、3 件の事業を決定し各団体において実施しました。

	助成事業	団体
1	森づくり団体の製材お助け作業	NPO 法人 よこはま里山研究所
2	森づくり活動研修 DVD (道具・機材の安全な使い方編) 作成事業	NPO 法人 グリーンプログラム
3	復権里山の力 ・竹灯籠の夕べ (6 月 25 日実施)	わかぎの会



【写真】竹灯籠の夕べの様子
(6 月 25 日開催)



【写真】森づくり団体の製材お助け作業の様子
(3 月 14 日実施)



参加者の声

- ・間伐材を板材にすることで、間伐材有効な活用方法について考える機会ができた。(森づくり団体の製材お助け作業)
- ・学区外の子どもたちも来場し、大盛況だった。来年も参加したいと子ども達が言っていた。(竹灯籠の夕べ)
- ・こんな近くにもすばらしい場所(樹林地)があったことを知らなかった。(竹灯籠の夕べ)
- ・楽しみにしていたので実施できよかったです。(竹灯籠の夕べ)

9

間伐材資源循環事業

・拡充事業

(横浜みどり税一部充当)

市民の森やふれあいの樹林等で活動する森づくり団体が行う管理で生じた間伐材をチップ化して園路に敷く等の活動を支援し、森の手入れを促進します。

平成 23 年度の実績

<年度目標>



森づくり団体への間伐材チップ化作業支援

45 回

推進



間伐材マネジメント研修

1 回 (29 人)

間伐材チップ化作業支援

実施箇所	区	回数
南本宿市民の森	旭	8
川井特別緑地保全地区	旭	4
関ヶ谷市民の森	金沢	2
緑地保存地区（能見台東）	金沢	8
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	2
茅ヶ崎公園	都筑	5
谷矢部池公園	戸塚	2
瀬谷市民の森	瀬谷	14
【計】		45



間伐材チップ化作業支援を利用した森づくり団体の声

- ・間伐材が積んであることによる虫の発生を防ぎ、樹林内の環境改善に役立っています。
- ・チップを園路に敷くと、雑草が園路に生えるのを防止する効果もあるのでよかったです。



【写真】チップ化作業支援の様子
(旭区/南本宿市民の森)



【写真】チップを園路に敷きつめた様子
(旭区/南本宿市民の森)

間伐材マネジメント研修

会場	区
こども自然公園	旭



参加者の感想

- ・簡単な作業で良いものを作ることができて良かった。
- ・間伐材を活用し様々なものを作れる可能性を感じた。

【写真】間伐材マネジメント研修の様子
(8月28日旭区/こども自然公園)



10	愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	:新規事業等 (横浜みどり税非充当)
11	ウェルカムセンター整備事業	:新規事業等 (横浜みどり税非充当)

愛護会や森づくりボランティアの活動が活性化するよう、活動拠点を整備します。

市民が気軽に立ち寄り、森の散策情報やイベント情報等が得られるなど、市民が森を利用しやすい機能を備えたウェルカムセンターを整備します。

平成 23 年度の実績	<年度目標>	
【10 愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業】		
森づくり団体の活動拠点の設計	1 箇所	1 箇所
森づくり団体の活動拠点の整備	1 箇所	2 箇所
【11 ウェルカムセンター整備事業】		
ウェルカムセンターの整備	1 箇所	1 箇所

愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業

- ・設計：新治市民の森（緑区）
- ・整備：横浜自然観察の森（栄区）

ウェルカムセンター整備事業

横浜自然観察の森にある自然観察センターを一部増改築し、森の散策情報やイベント情報が得られるウェルカムセンターとして位置づけました。

- ・整備：横浜自然観察の森（栄区）



【写真】自然観察センター改修後の全景



【写真】自然観察センター増築箇所

12

特別緑地保全地区指定等拡充事業

:拡充事業

(横浜みどり税一部充当)

市内に残る貴重な緑地を保全するため、緑地保全制度による地区指定を積極的に進めます。

特別緑地保全地区の指定地等で、不測の事態による買取りの希望などに対応し、緑地を確実に担保します。

平成 23 年度の実績		<年度目標>	
	緑地保全制度による新規指定等	104.6 ha	309.9 ha
	不測の事態による買取希望等への対応	34.0 ha	約 30 ha

樹林地の新規指定【詳細】

制度	新規指定等	
	面積	地区詳細
近郊緑地特別保全地区	5.4 ha	・公田地区（栄区）5.4ha
特別緑地保全地区	20.9 ha	・馬場四丁目地区（鶴見区）0.8ha 今宿町地区（旭区）2.8ha ・下永谷地区（港南区）3.7ha 飯島町地区（栄区）6.7ha ・港南一丁目地区（港南区）0.6ha 古橋地区（泉区）1.8ha ・権太坂地区（保土ヶ谷区）2.2ha 岡津町地区（泉区）2.2ha ・上星川一丁目地区（保土ヶ谷区）0.1ha
市民の森	7.2ha	・恩田地区（青葉区）1.5ha 川和地区（都筑区）3.5ha ・【既指定地区の拡大指定】計 2.2ha
緑地保存地区	17.3ha	・54 件 17.3ha
源流の森	51.1ha	・105 件 51.1ha
寄附緑地等	2.7ha	・【寄附 緑 地】1.1ha 【建築物緑化保全】1.5ha ・【農園付公園】0.1ha
【合計】	104.6ha	



【写真】公田近郊緑地特別保全地区（栄区）



【写真】今宿町特別緑地保全地区（旭区）

樹林地の買取対応【詳細】

制度	地区	区
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区	川井地区	旭区
	朝比奈地区	金沢区
	大倉山地区	港北区
	熊野神社地区	港北区
	日吉地区	港北区
	鴨居原地区	緑区
	三保地区	緑区
	名瀬北地区	戸塚区
	舞岡地区	戸塚区
	大丸山地区	栄区
	円海山地区	栄区
	野七里地区	栄区
	古橋地区	泉区
	東寺尾地区	鶴見区
市民の森、ふれあいの樹林等	今宿地区	旭区
	綱島地区	港北区
	新治地区	緑区
	長津田地区	緑区
	恩田地区	青葉区
	寺家地区	青葉区
	新橋地区	泉区
	瀬谷地区	瀬谷区
【合計】		22 地区 34.0 ha



【写真】川井特別緑地保全地区（旭区）



【写真】大丸山近郊緑地特別保全地区（栄区）

13

よこはま協働の森基金制度の見直し

・事業費のないもの

市民に身近な小規模樹林地を、市民と行政との協働で取得し保全する「よこはま協働の森基金制度」について、より活用される制度とするため、制度を一部改正し、平成23年度より運用を開始しました。

平成23年度の実績



適用条件の緩和を中心に見直し改正した制度で、運用を開始

<年度目標>

制度運用
(平成22年度制度改正)

「よこはま協働の森基金事業」の概要

よこはま協働の森基金事業とは

市民に身近な小規模樹林地を市民と行政との協働により保全するため、「よこはま協働の森基金」を創設し、市民の皆さまが自主的に集めた資金と「基金」からの拠出金とを合わせ、樹林地を取得する制度です。一団のまとまりのある良好な樹林地が対象です。

市民の皆さまの活動

- ・身近な樹林地の保全を発意し、土地所有者の方々から売却の承諾を得ます。
- ・募金活動を行い、取得費用の1割以上（上限あり）を集めます。
- ・取得後、樹林地の日常的な管理を行います。

見直しの背景

制度の導入以来、実績が1箇所に止まってきたことから、より活用される制度とするため、制度の見直しを行い、平成23年度より運用を開始しました。



【写真】
保全された樹林地（金沢区）

改正内容の比較

項目	改正前	課題	改正後
樹林地の面積基準	1,000 m ² 以上 5,000 m ² 未満	買取制度のある特別緑地保全地区の面積基準を、平成21年度に1,000 m ² に引き下げたことで、面積基準が重複したことや、小規模樹林地の保全に対応すること	<u>300 m²以上 1,000 m²未満</u>
	一団が5,000 m ² 以上の大きな樹林地は対象外	面積基準を超える大規模な樹林地の一部は、事業の対象としない	<u>1,000 m²以上の樹林地の一部 (300 m² ~ 1,000 m²) も対象</u>
取得費用	取得費用の1割以上を住民団体が負担	取得価格が高額な場合、取得に当たり住民団体の負担感が大きい	取得費用の1割以上を住民団体が負担し、 <u>上限額を500万円とする</u>
	・住民団体の負担金 ・「よこはま協働の森基金」からの拠出金	取得財源は、住民団体の負担金と基金からの拠出金のみで、他の財源が導入できない	現行に加え、 <u>国費等の他の財源も導入を可能とする</u>
取得後の維持管理	住民団体が主体の維持管理	取得後の維持管理における住民団体の負担感がある	住民団体は、 <u>日常的な管理に限定する</u>

14 国への制度要望

・事業費のないもの

相続税の納税対象に緑地が含まれる場合は、緑地の保全を優先すること、また、緑地保全等に係る税制上の負担軽減措置の創設・拡充等を国に対し要望していきます。

平成 23 年度の実績

<年度目標>



緑地保全につながる制度の創設・拡充について、
6 月、8 月に要望を実施

推進

イ 農地を守る 

15 生産緑地制度の活用

・事業費のないもの

- 生産緑地指定基準の一部を緩和し、生産緑地面積の拡大を図ります。

平成 23 年度の実績		<年度目標>
 生産緑地の追加指定	9 件 7,360 m ²	制度運用
 うち指定基準緩和による指定	1 件 1,636 m ²	

■生産緑地指定基準緩和内容

生産緑地の指定基準を一部緩和し、平成 22 年度から運用を開始しました。

	変更前	変更後
土地区画整理事業施行区域	・既存生産緑地地区の拡大のみ	・既存生産緑地地区の拡大 ・体験型市民農園の開設 ・防災協力農地（仮設住宅が建設可能な規模形状を持つもの）
防災協力農地に関する基準	・環状 2 号線内側は全域 ・環状 2 号線外側は地域防災拠点の近隣にあり、仮設住宅用地等に利用可能なもの ・防災協力農地の登録が必要	・仮設住宅が建設可能な規模形状を持つもの（防災協力農地の登録が必要）
農地間の介在道路	・農地が道水路で分断される場合、その幅員は 6m まで	・農地が道水路で分断される場合、その幅員は 7m まで

■平成 23 年度生産緑地追加指定実績

	追加指定件数	追加指定面積
平成 23 年度合計	9 件	7,360 m ²
うち基準緩和によるもの	1 件	1,636 m ²



【写真】生産緑地のイメージ

16 農園付公園整備事業	●:新規事業 (横浜みどり税充当)
32 市民農園用地取得事業	●:新規事業 (横浜みどり税充当)

- 市民の要望の高い農体験の機会を増やし、また、横浜の農地、里山の景観を保全するために、都市公園の適地となる農地等を、分区園など農的な施設を主とした都市公園として整備します。
- 用地は借地公園制度を活用するほか、土地所有者が相続税の支払い等により手放さざるを得なくなった農地等を、事業用地として買取ります。

平成 23 年度の実績	<年度目標>
【16】農園付公園整備事業	
<ul style="list-style-type: none"> ● 用地測量 ● 基本設計 3箇所 ● 3箇所の候補地のほか、複数の地区で土地所有者と調整 	<ul style="list-style-type: none"> ● 用地測量 ● 基本・実施設計 ● 一部施設整備
【32】市民農園用地取得事業	
<ul style="list-style-type: none"> ● 用地測量 ● 用地取得 0.2ha ● 複数の候補地について、農園付公園整備事業とあわせて土地所有者と調整 	<ul style="list-style-type: none"> ● 用地測量 ● 用地取得 1.0ha



【写真】農園付公園の予定地として保全された農地（神奈川区）



【写真】農園付公園の予定地として保全された農地（港北区）



【図】農園付公園整備イメージ



17

特定農業用施設保全事業
(農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減)

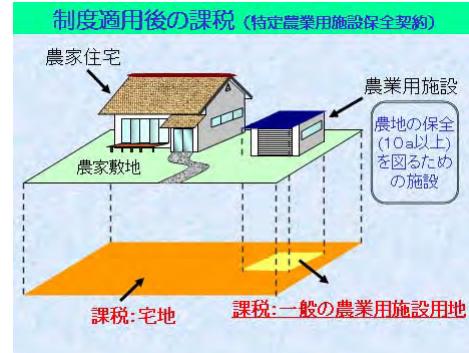
◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 市と契約を結び、農業用施設の敷地として市長に指定された「農業用施設用地」の固定資産税・都市計画税を10年間軽減します。

平成23年度の実績	<年度目標>
● 農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結	制度運用
● 平成24年度以降の運用見直しに関する要綱等改正	

■特定農業用施設保全契約を受けるには、以下の条件を満たす必要があります。

- 農業用施設が農業専用に使用されていること。
- 農業用施設を所有している農家が市内に1,000m²以上の農地を耕作していること。
※ 1,000m²以上の農地に含まれるのは市街化調整区域の農地と生産緑地です。
- 区画貸しの農園や家庭菜園、農地転用手続き済みの農地は対象となりません。
- 所有農地等を10年以上耕作すること。
- 当該農業用施設用地を10年間継続して利用すること。



■平成23年度区別指定一覧

	区名	件数	指定面積
1	神奈川区	2件	275m ²
2	港北区	1件	219m ²
3	緑区	1件	145m ²
4	戸塚区	1件	151m ²
5	泉区	5件	1,167m ²
6	瀬谷区	3件	450m ²



(※端数処理の関係により、面積の合計は2,406m²とは一致しません。)

契約農家の耕作面積（保全される面積）：19.1ha

■平成24年度以降の運用見直しに向けた要綱等改正

これまで農業用施設全体が農業専用の施設のみ対象でしたが、市内の農家住宅敷地内等にある農業用施設の利用実態を踏まえ、平成24年度からは農業用施設の一部が農業以外の用途に使用されている場合でも、次の要件すべてを満たす施設に限り対象となるよう、要綱等の見直しを行いました（※軽減対象となるのは農業専用部分のみ）。

【一部指定の要件】

- 農業専用部分と非農業専用部分が壁などで明確に分かれていること
- 農業専用部分の床面積の合計が延床面積の2分の1以上であること
(二階建て以上の場合、1階はすべて農業専用であること)



農家の声・運用見直し後は、うちの農業用施設も対象になりそうなので、制度の活用を検討したいと考えています。

18 共同直売所の設置支援事業

◇:新規事業等

(横浜みどり税非充当)

- 市民が身近で地場農産物を購入できるよう、駐車場等を備えた多機能型の共同直売所を設置する際に、その整備に対し支援します。

平成 23 年度の実績

<年度目標>

● 共同直売所の備品等に対する整備

2箇所

備品等購入補助

3

事業・取組の実績－(2)－イ 農地を守る

■新設オープンの直売所に支援しました

新設された青葉区の「田奈農協直売所」と、都筑区の「JA 横浜都筑中川農産物直売所」に、保冷庫、平型冷蔵ショーケースや POS レジなどの備品等の導入に対して支援しました。

これにより、野菜や肉の鮮度を保持できるほか、お客様のニーズに見合う品揃えができるようになりました。横浜産の新鮮な農産物を是非ご賞味ください！

田奈農協直売所



JA 横浜都筑中川農産物直売所



【写真】

平成 24 年 5 月に本格稼働する「田奈農協直売所」の様子（青葉区田奈町）

- ・田奈恵みの里直売部会を中心に、農産物加工品の研究を行うなど、消費者のニーズに見合う直売所の商品づくりにも努めています。

【写真】

平成 24 年 3 月にオープンした「JA 横浜都筑中川農産物直売所」の様子（都筑区中川中央一丁目）

- ・オープンから 20 日間で 8,000 人の集客となり人気を博しています。

19

収穫体験農園の開設支援事業

●:新規事業

(横浜みどり税充当)

- 市民の皆さまが、身近な場所で地産地消を実感できるように、果物のもぎ取りや野菜の収穫などを体験することができる農園の開設を支援し、農業に対する市民理解の推進や農地の保全を図ります。

平成 23 年度の実績

<年度目標>



収穫体験農園の整備に対する助成

7.1ha (32 箇所)

4.5ha

■収穫体験農園の開設支援

神奈川区	2 箇所	0.50ha
磯子区	1 箇所	0.04ha
港北区	2 箇所	0.13ha
緑区	1 箇所	0.19ha
青葉区	2 箇所	0.33ha
都筑区	4 箇所	0.55ha
戸塚区	8 箇所	1.13ha
泉区	11 箇所	3.00ha
瀬谷区	1 箇所	0.27ha
浜なし改植支援		0.90ha

(※端数処理の関係により、面積の合計は 7.1ha とは一致しません。)

農園の内訳	箇所数	農園の内訳	箇所数
ナシ	7	カキ	1
ブドウ	5	キウイフルーツ	2
ブルーベリー	9	野菜ほか	6
イチゴ	2	【計】	32 箇所



【写真 1】
ブドウ圃場の棚内部の様子（神奈川区菅田町）



【写真 2】
ブドウ圃場の棚の外観（都筑区池辺町）



【写真 3】
イチゴの高設栽培装置（都筑区池辺町）
・立ったまま楽に収穫できます。



【写真 4】
圃場の場所の案内看板（泉区和泉町）

20 食と農との連携事業

●:新規事業
(横浜みどり税充当)

- 企業等との連携により、地産地消の新たなニーズを開拓し、市内産農産物のPRやブランド力のアップを目指します。
- また、地産地消の取組を拡大し、地域の活性化と農のあるまちづくりを進めます。

平成 23 年度の実績

<年度目標>

● 様々な団体、企業等が連携した、新たな地産地消の取組

6 件

5 件

■食と農の祭典の開催

11月の「地産地消月間」に合わせて市民団体や企業、ホテル等と連携し地産地消イベント「食と農の祭典 2011」をみなどみらい 21 地区で開催しました。地産地消トークライブや体験イベント、旬の横浜野菜や加工品の直売コーナーを通して横浜の‘農’の魅力に触れてもらいました。



【写真】食と農の祭典 2011 の様子



【写真】直売の様子



【写真】農のある風景の写真展

■地産地消ガイドブックの発行

JA 横浜、JA 田奈、神奈川新聞社と連携して、地産地消ガイドブック制作委員会を立ち上げ、市民の皆さんに横浜の農業や地産地消に関する取組を紹介するガイドブック「食べる。横浜」を制作・発行しました。



【図】
ガイドブック「食べる。横浜」

■横浜型アグリツーリズムの促進

横浜の地産地消を観光資源として活用するため、横浜の食や農に関するガイドを育成する「地産地消ツアーガイド育成研修」を実施しました。



【写真】
地産地消ツアーガイド育成研修の様子

■飲食店等での地産地消の推進

市内産農畜産物を食材として活用している「よこはま地産地消サポート店」を対象に研修を行いました。

21

施設の省エネルギー化推進事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 保温カーテンや省エネ設備（ヒートポンプ、循環扇等）の設置に助成することにより、農業経営を安定化し環境負荷を軽減します。

平成 23 年度の実績

<年度目標>

- 温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成

3.0ha

3.2ha (56 件)



【写真】保温カーテンを設置した温室

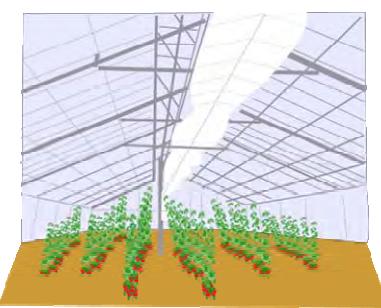


【写真】ヒートポンプを設置した温室



【写真】
保温カーテンを設置した温室で
栽培されているトマト

- ・保温カーテンの設置やヒートポンプの導入をすることで、灯油や重油式の加温機の運転時間が減り、排出 CO₂ も削減できました。
- ・今までよりも品質がよい野菜が生産できるようになり、収量があがりました。また花き生産においても、花きにとって最適な環境を作ることで優良な花きを生産することができました。
- ・多くの農家が直売により良質な野菜、花きを市民の皆さんに提供しています。



【図】保温カーテンを設置した温室
のイメージ



農家の声 使用する重油の量が減ったことにより、CO₂ の削減に貢献できたと思います。また、燃料費が削減され、経営の安定化に繋がりました。

22 生産用機械のリース方式による導入事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 経営規模が小さいことなどにより、高性能の農業機械を導入できない農家が、地域で共同利用する場合や、認定農業者が生産用機械を導入する場合などに、リース方式による導入を支援します。リース方式は、購入と比べ初期投資を低く抑え、農家が継続的に農業をおこなうことができるため、市内の農地の保全に寄与します。

平成 23 年度の実績

＜年度目標＞



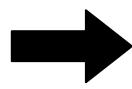
リース方式による生産用機械の導入補助

22 件

20 件

■高性能農業機械の導入により農地の保全が図られました！

- ・高性能な農業機械がリース方式により導入することができました。
- ・大型トラクターの導入による効率的な耕耘作業や、スピードスプレーヤーの導入による果樹園における効率的な農薬散布作業等が可能になり、農地の保全が図られました。



【写真】リース方式により導入したポット土詰機

【写真】良好に管理された温室



【写真】リース方式により導入したリフト付き作業台車

【表】生産用機械導入補助の実績
・これらの農業機械を導入し、農地の保全に寄与しました。

トラクター	10 件
スキッドステアローダー (堆肥切り返し用の農業機械)	4 件
スピードスプレーヤー (果樹園などで用いられる薬剤散布用の農業機械)	1 件
その他	7 件
合計	22 件



- ・導入した農業機械が、農地の保全に役立っています！

23

集団的農地の維持管理奨励事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 地域の農地の管理を行う農業者団体に対し支援を行うことで、農地の適切な管理と景観の保全を図ります。

平成 23 年度の実績

<年度目標>

● 集団的農地保全団体支援事業	622.6ha(48団体)	631ha
● 公益施設維持管理奨励事業	42 団体	
● 農の散歩道育成事業	4団体	
● 集団的農地維持管理補助事業	3団体	

■集団的農地保全団体支援事業

◇農地の環境寄与面等を評価し、
集団的農地を維持管理する団体に対して、
支援を行うことで組織の活性化を図り、
優良な景観を保全しました。(写真 1)



【写真 1】青葉区内の農地

■公益施設維持管理奨励事業

◇道水路法面の草刈や、道水路の清掃等の
公共施設を維持管理している団体に対して、
支援を行うことで組織全体での
営農環境維持を図りました。(写真 2)



【写真 2】農業者団体による水路清掃
(5月開催、金沢区)

■農の散歩道育成事業

◇関係区域内で、農地、畦、法面等を整備し、
景観植物を植栽・管理する団体に対して
支援を行うことで、市民に農的景観を
提供しました。(写真 3)



【写真 3】地区内でツツジを植栽
(6月頃、神奈川区)

■集団的農地維持管理補助事業

◇近年多発する局所的集中豪雨等により、
農地から公道等への土砂の流出が増加しています。
土砂流出の恐れのある地区で、
土砂流出防止の対策を実施することにより、
大雨による被害を未然に防止しました。

24 水田保全契約奨励事業

●:新規事業
(横浜みどり税充当)

- 収益性がよくないため年々減少の一途をたどる水田ですが、貯水機能や景観形成などの多面的機能が高く、人と自然の関わりの中で育まれてきた、市民共有の貴重な自然環境として保全する必要があります。
- そこで、10 年間の水稻作付の継続を条件に支援を行い、水田面積の減少を食い止めていきます。

平成 23 年度の実績

＜年度目標＞

● 水田保全承認面積 (うち平成 23 年度新規承認面積)	109.7ha (10.0ha)	120ha
● 稲作の継続を支援した水田	108.4ha	

■平成 23 年度水田保全承認面積の区別内訳

区	面積	区	面積	区	面積
神奈川区	0.1ha	港北区	1.1ha	戸塚区	9.1ha
港南区	0.7ha	緑区	32.9ha	栄区	2.7ha
保土ヶ谷区	0.2ha	青葉区	32.7ha	泉区	19.0ha
旭区	0.9ha	都筑区	6.9ha	瀬谷区	3.2ha

※四捨五入の関係により、面積の合計は 109.7ha と一致しません。



【写真】春の水田（青葉区）



【写真】初夏の水田（瀬谷区）



【写真】秋の水田（青葉区）



【写真】秋の水田（緑区）

25

かんがい施設整備事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 小規模集団農地を優良に維持するためにかんがい施設整備が必要と見込まれる地区について、基本設計を実施します。
- 畑地かんがいのための井戸・配管または水田のための水路等を整備し、水を安定供給することで農業生産性を向上させ、優良な農地を保全します。

平成 23 年度の実績	<年度目標>	
● かんがい施設の整備	2 地区 (3.0ha)	3 地区
● かんがい施設整備に向けた基本設計	1 地区 (1.8ha)	

■平成 23 年度の実施内容

- ・井戸及び配管整備：緑区新治町（向原地区畠地かんがい組合）
 - …畑に水を供給するための井戸と配管整備を実施しました。
 - …引き続き給水のための電気設備及び貯水槽の整備を行っていきます。
- ・水路整備：戸塚区舞岡町（熊の堂水利組合）
 - …水田用水路の堰を改修し、より安定的に水供給が行えるよう整備を行いました。
- ・基本設計：戸塚区小雀町（堤ヶ谷地区畠地かんがい施設利用組合）
 - …当該地区の地下水の状況や水の利用計画等を調査し、整備に必要な設計を行いました。



【写真】井戸及び配管整備
(緑区、向原地区畠地かんがい組合)



【写真】水田用水路の堰改修
(戸塚区、熊の堂水利組合)



必要なときに水が使えるようになって
安心して農業が続けられます。

26 不法投棄対策事業

●:新規事業
(横浜みどり税充当)

- 不法投棄が多発している農業専用地区などに、不法投棄監視警報装置を設置するとともに、夜間監視パトロールを行います。
- 市民による清掃活動等を支援します。

平成 23 年度の実績

〈年度目標〉

● 不法投棄監視警報装置設置の設置	3 地区	2 地区
● 不法投棄が多い農地での夜間パトロール	36 地区	39 地区
● 地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援	21 地区	20 地区

■不法投棄監視警報装置の設置

〈概要〉

恒常的に不法投棄の多い場所について、音声などで警告する警報装置を設置しました。

〈設置実績〉 3 地区、3 基

区名	地区数	基数
青葉区	1 地区	1 基
都筑区	2 地区	2 基



【写真】不法投棄監視警報装置の様子
(都筑区)

■不法投棄が多い農地での夜間パトロール

〈概要〉

不法投棄の多い農地とその周辺に対し、警備会社による夜間パトロールを委託により実施しました。

〈事業実績〉 夜間パトロールの実施 36 地区

区名	地区数	区名	地区数	区名	地区数	区名	地区数
神奈川	2 地区	磯子	1 地区	青葉	3 地区	泉	5 地区
港南	1 地区	金沢	1 地区	都筑	5 地区	瀬谷	3 地区
保土ヶ谷	1 地区	港北	3 地区	戸塚	7 地区	※複数の区をまたぐ地区を含むため、地区数の合計は 36 地区と一致しません。	
旭	2 地区	緑	4 地区	栄	1 地区		

■地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援

〈概要〉

農地等の不法投棄対策を行っている地域団体に清掃用具、啓発グッズ等を支給し、活動を支援しました。

〈事業実績〉 21 地区 (※複数の区をまたぐ地区を含みます)

- 住宅に近接した農地等で、農業生産活動に伴って生じる臭気、農薬飛散、野焼きなど、周辺住民とのトラブルを避けるために必要な機械等の導入を支援します。
- 牧草類の栽培を奨励して農地の土砂流出の防止、土ぼこりの発生防止など、農地周辺環境対策技術の普及をすすめ、農地周辺住民とのトラブルによる農地の減少を防ぎます。

平成 23 年度の実績

<年度目標>

● 農薬飛散防止ネットの設置	6.3ha (43 件)	7.5ha
● 牧草による環境対策等	16 地区	25 地区
● その他施設整備	5 件	4 件

■農薬飛散防止ネット設置

農薬飛散防止ネット及びシャッター設置 43 件 6.3ha

港北区	2 件	0.3ha
緑 区	11 件	1.3ha
青葉区	10 件	0.9ha
都筑区	9 件	1.0ha
戸塚区	9 件	2.1ha
泉 区	2 件	0.7ha



【写真】農薬飛散防止ネットの設置事例



【写真】農薬飛散防止シャッターの設置事例

■牧草による環境対策等

神奈川区	2 地区	0.7ha
旭 区	5 地区	0.6ha
緑 区	2 地区	0.6ha
栄 区	1 地区	0.1ha
泉 区	2 地区	0.2ha
瀬谷区	4 地区	0.6ha



【写真】牧草による環境対策の事例

■その他施設整備

チッパーシュレッダー、バケットローダー、堆肥舎等設置

保土ヶ谷区	1 件
旭 区	1 件
緑 区	2 件
戸塚区	1 件



【写真】チッパーシュレッダー、バケットローダー、堆肥舎

28 機械作業受託組織育成事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 高齢化等による労働力不足や、機械を持たない農家などの農作業を支援するため、地域に根ざした機械作業を受託する組織を育成し、農地の荒廃を防止します。

平成 23 年度の実績

<年度目標>

● 機械作業受託組織が導入する農業機械に対する助成	1 地区	1 地区
● 機械作業受託組織の設立検討	1 地区	1 地区

■機械作業受託組織とは…

機械作業受託組織とは、労働力のない農家から作業料金を受け、機械作業を請け負う組織です。

大型機械がないので、耕耘作業が大変。耕耘作業をお願いしたい。



私たち、機械作業受託組織が作業を請け負います。

■機会作業受託組織育成事業の進め方

組織設立検討

- ・機械作業受託組織設立の検討・準備を行います。

組織育成支援

- ・機械作業受託組織を設立し、作業メニューの設定、オペレーターの育成などの組織の活動を支援します。

農業用機械導入支援

- ・機械作業受託組織が新たに導入する高性能の農業機械に対して助成します。

活動の開始

- ・労働力不足の農家の作業を請け負います。

■平成 23 年度の取組内容

田奈地区では、機械作業受託組織の育成を目指して、受託作業を行うオペレーターの技術研修等を行いました。また受託作業で使用する農業機械の導入を行い、平成 24 年度以降、田奈地区的機械作業受託組織は本格的に活動を開始します。これにより労働力不足の農家の作業を請け負い、農地の荒廃化を防止していきます。

JA 横浜では、今後の営農指導事業を検討（アグリサポート事業検討プロジェクト）する中で、組織の設立に向けた検討を行いました。



【写真】作業オペレーター技術研修の様子



【写真】導入した受託用農業機械の例
(トラクター、田植え機)

29 | 担い手コーディネーター育成・派遣事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 市民農園の開設・運営を支援する人材を育成するため研修会を開催し、研修修了後に「市民農園コーディネーター」として登録された法人を、市民農園の開設を希望する農地所有者等に紹介します。
- 労働力不足等の理由による農地の減少を防ぐため、労働力不足の農家とボランティアを結ぶコーディネーター組織の活動に対する支援を行います。

平成 23 年度の実績

	<年度目標>	
● 市民農園の開設・運営を支援するコーディネーターの育成研修	2回	1回
● 労働力不足の農家とボランティアを結ぶ援農コーディネーター組織との協定締結	2組織	2組織

■市民農園コーディネーター養成研修

12月に市民農園（特区農園）を開設しようとする農地所有者を支援する法人を養成するため市民農園コーディネーター養成研修を開催し、造園会社やNPO法人など3法人が参加しました。

概要編と専門編の研修を修了し、市民農園に関する知識・考え方とノウハウを身につけた方を「横浜市市民農園コーディネーター」として登録し、市民農園の開設や運営の支援など農園を舞台に活躍されることを期待しています。

・横浜市市民農園コーディネーター登録法人数：11法人



【写真】現地研修の様子

■援農コーディネーター

援農活動を目的としている市民団体2組織と市の協働による事業実施に向けて、昨年度より協議を続け、平成23年11月に「横浜農と緑の会（通称“はま農楽”）」と、平成24年2月に「泉区農業応援隊」とそれぞれ事業実施に関する協定を締結しました。

協定締結後は、両組織ともコーディネート業務の推進に向けて、必要な資材の購入や援農の知識向上に向けた研修等を実施しました。



【写真】刈払機安全操作研修の様子

30 農業後継者・横浜型担い手育成事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者や、環境にやさしい農業を実践し、地産地消に積極的に推進する農家など、横浜が独自に育成する農家を横浜型担い手農業者として位置づけ、経営改善に必要な機械・施設の導入等に支援します。
- 市内の農業後継者の育成確保を図るため、研修受入れを対象とした支援を行います。

平成 23 年度の実績

<年度目標>

● 経営改善に必要な農業機械導入等に対する支援	52 件	28 件
● 農業後継者の育成	2 人	13 人

■農業経営の改善が行われ、農地の保全が図られました！

認定農業者や横浜型担い手農業者（※）の経営改善に必要な農業機械の導入を支援し、農業経営の改善が行われました。その結果、市内産農産物の生産供給に寄与できました。

（※）横浜型担い手農業者

- ・横浜市独自の環境保全型農業推進者
- ・直売ネットワーク参加農家
- ・よこはま・ゆめ・ファーマー認定農家

【表】農業用機械の導入実績
・これらの機械を導入して経営改善を行いました



【写真】畠の耕作に導入したバックホー



【写真】ハウス内に設置した炭酸ガス発生装置

区名	件数
神奈川区	5 件
保土ヶ谷区	2 件
磯子区	1 件
港北区	6 件
緑区	6 件
青葉区	3 件
都筑区	3 件
戸塚区	8 件
栄区	3 件
泉区	8 件
瀬谷区	7 件
合計	52 件

■農業後継者の育成確保を図りました

新規就農や、新たな経営部門、新たな作目に取組む農業後継者への研修に対して支援を行うことにより、農業後継者の育成確保を図りました。

【写真】講師の農家と共に作付けの準備をする様子



31

農地貸付促進事業

●:新規事業
(横浜みどり税充当)

- 市が仲介する農地貸借の貸借期間を長期化することで、借り手農家が長期的な経営計画の下、安定した経営ができるよう誘導します。
- 農地の貸し手に対して、奨励金を交付します。

平成 23 年度の実績



6 年以上の長期貸付を開始した農地

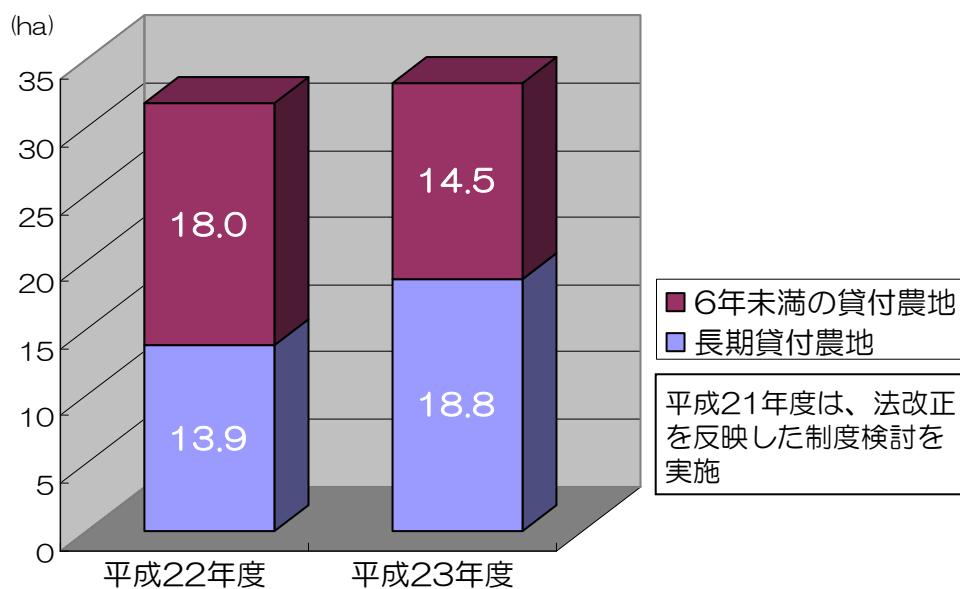
<年度目標>

18.8ha

16.1ha

■市が仲介する農地貸借について

農業経営基盤強化促進法に基づき、経営規模拡大の意欲と能力のある農家等への農地の提供が円滑に行われるようするため、農地を貸しても期間が満了すれば確実に農地が返還され、離作物もないなど、安心して農地を貸せるような法制度上のしくみにより農地の流動化を促進しています。



33 農地流動化促進事業

●:新規事業
(横浜みどり税充当)

- 優良な農地を規模拡大農家や新規参入者に利用集積するため、農地所有者から市が農地を借り入れ、貸付先を探すなど農地の流動化を促進します。
- また、農家の高齢化などで荒れてしまった農地も市が積極的に農地復元し、新規就農者等へ貸し付けます。

平成 23 年度の実績

新規の農地貸借

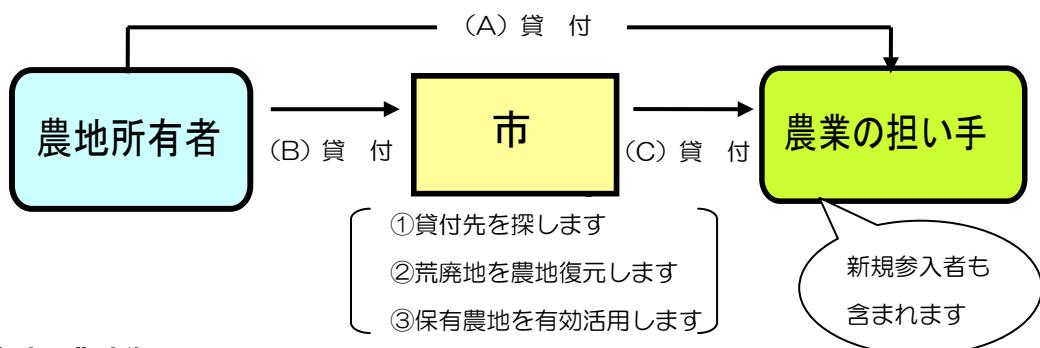
15.6ha

<年度目標>

5ha

■制度の内容

市が農地の「借りたい」、「貸したい」の総合調整を行いました。



■荒廃地の農地復元



【写真】数年間荒れた状態の農地



【写真】復元後の農地



・隣接農地の雑草繁茂が気になっていましたが、除草作業によって、
営農環境が向上しました。

■新規の農地貸借の内訳

○貸し手と借り手の相対による貸借 (A) …14.4ha

○市が保有している農地 (B)

○市が一旦保有し、貸付けした農地 (B) → (C)

	区名	面積 (ha)
1	緑区	0.2ha
2	青葉区	0.2ha
3	泉区	0.4ha
	合計	0.8ha (※)

	区名	面積 (ha)
1	港北区	0.1ha
2	泉区	0.3ha
	合計	0.4ha

(※) 0.8ha のうち農地復元した面積 0.6ha

34

国への制度要望

・:事業費のないもの

- 相続税納税猶予制度の拡充や、市民農園利用者駐車場等の設置に関する農地法等の柔軟な対応の検討など、農地の継続保有に資する制度について、国へ要望を行います。

平成 23 年度の実績



農地保全につながる制度の創設・拡充について、
8月に要望

<年度目標>

推進

ウ 緑をつくる

35 地域緑のまちづくり事業

◎:拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- 地域の皆さまと横浜市が協力して、地域にふさわしい緑を創出する事業です。
- 地域の皆さまが、地域にふさわしい緑化計画をつくり、民有地と公共施設の緑化を進める「地域オーダーメイド型」の緑化事業です。

平成 23 年度の実績		<年度目標>	
 地域緑化計画策定事業 －地域緑化計画策定の取組 (平成 23 年度から新たに取組をはじめた地区) (平成 21・22 年度から継続して取り組んでいる地区)		2 地区 10 地区	6 地区 10 地区
 地域緑化推進事業 －地域緑化計画に基づく緑化整備の実施		6 地区	8 地区

■地域緑のまちづくり事業の進め方



地域緑のまちづくり事業は、地域の皆さまと横浜市が協力して、地域にふさわしい緑を創出する事業です。この事業の進め方は、まず、地域の皆さまと市で話し合い、事業に取組むことを決めます。その後、市から派遣するコーディネーターの支援を受けて地域の皆さまが「地域緑化計画(※1)」を策定し、緑化推進団体を結成して、市と「協定(※2)」を締結します。協定締結後、地域緑化計画に基づいて、地域の皆さまは市の助成を活用して民有地緑化を、市は公共施設緑化を実施します。

(※1) 地域緑化計画：地域の緑化計画を地域の皆さまで策定したものです。まず、地域の緑化方針をつくり、そこに具体的な民有地と公共施設の緑化計画、スケジュール、概算事業費等も定めます。

(※2) 協定：「地域緑化計画」を基に、地域の緑化推進団体と市との間で緑化を実践するため、協定書としてお互いに確認することです。主な内容は、緑化推進団体と市との役割分担、地域の緑化計画などです。

3 事業・取組の実績
(2) 事業・取組の実績－ウ 緑をつくる

■平成 23 年度取組地区一覧

地区名		区	取組状況
1	山手地区	中	<ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化計画策定 ・協定の締結 ・地域緑化計画に基づく緑化整備の実施
2	馬車道地区	中	
3	白根台第九地区	旭	
4	上白根国際地区	旭	
5	名瀬たかの台地区	戸塚	
6	上飯田地区	泉	
7	生麦新子安地区	鶴見 神奈川	
8	末広地区（平成 23 年度新規）	鶴見	
9	錦が丘地区	港北	
10	みなとみらい 21 横浜駅東口 ・中央地区	西	
11	みなとみらい 21 新港地区	中	
12	平楽地区（平成 23 年度新規）	南	



【写真】地域緑化計画策定の様子（港北区/錦が丘地区）

【写真】地域緑化計画策定のためのモデル緑化
(中区/みなとみらい 21 新港地区)【写真】地域緑化計画に基づく民有地緑化の事例
(戸塚区/名瀬たかの台地区)【写真】地域緑化計画に基づく公共施設緑化の事例
(泉区/上飯田地区)

36

民有地緑化助成事業

◎:拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- 市街化区域内にある建築物の屋上・壁面緑化や民間の保育園・幼稚園における園庭の芝生化などに対する助成事業、人生の節目を迎える横浜市民を対象とした苗木の無料配布などにより、市民による緑化の取組を支援します。

平成 23 年度の実績		<年度目標>
保育園・幼稚園芝生化助成事業 一民間の保育園・幼稚園の園庭 芝生化に対する助成	5 園 (1,457 m ²)	20 園
区民花壇事業 一花壇整備等に対する助成	3 箇所 (20 m ²)	7 箇所
生垣設置事業 一生垣設置に対する助成	6.7m (1 件)	100m
屋上緑化助成事業 一屋上・壁面緑化に対する助成	9 件 (501 m ²)	20 件
名木古木保存事業 一名木古木の新規指定 一名木古木指定樹木の維持管理 に対する助成	24 本 42 本	新規指定 20 本
記念樹等生産配布事業 一人生記念樹等の配布	16,497 本	19,000 本

■保育園・幼稚園芝生化助成事業

民間の保育園や幼稚園等が行う面積 10 m²以上の園庭の芝生化に対して、整備費等の助成を行いました。

また、保育園や幼稚園の園庭の芝生の管理を行う方を対象に、芝生の維持管理研修会を実施しました。

港南区	1 園
港北区	1 園
都筑区	1 園
泉区	1 園
瀬谷区	1 園
【計】	5 園



【写真】
園庭芝生化の事例（都筑区）



事業者の声

・青々と茂った芝生の上で遊ぶ子どもたちは、とても楽しそうです。

3 事業・取組の実績
(2) 事業・取組の実績－ウ 緑をつくる

■区民花壇事業

街並みの景観に四季の彩りと潤いをもたらすために、市街地の民有地内に新設される花壇やプランターの整備に助成を行いました。

港北区	1箇所
青葉区	1箇所
戸塚区	1箇所
【計】	3箇所



【写真】
プランター設置の事例（港北区）



市民の声

・花壇ができたことで、街の華やかさが増したと思います。

■生垣設置事業

街の緑を増やし、安全で快適な生活空間を生み出すため、戸建住宅の道路に面した長さが3m以上の既存のブロック塀を撤去し、新たに生垣を設置する場合、その費用の一部を助成しました。

戸塚区	6.7m
-----	------



【写真】
生垣設置の事例（戸塚区）



事業者の声

・ブロック塀から生垣に変わったことで、緑の量がとても増えたように感じます。

■屋上緑化助成事業

市街地の良好な自然環境の創出や、ヒートアイランド現象の緩和のため、市街化区域内にある建築物の屋上又は壁面の緑化を3m²以上行う場合、緑化工事費用の一部を助成しました。ただし、法令等により緑化率の定めがある場合は、その基準を超えた部分の緑化を対象としています。

西区	1件
中区	1件
港南区	1件
保土ヶ谷区	2件
磯子区	2件
青葉区	1件
戸塚区	1件
【計】	9件



【写真】
民間ビルの屋上緑化の事例（西区）



事業者の声

・憩いの場として、屋上緑化をもっと普及してもらいたいです。

■名木古木保存事業

樹齢が概ね 100 年を超える樹木や、故事・来歴のある樹木を名木古木として指定・保存することで、都市の美観風致の維持に寄与しました。

また、名木古木に指定した樹木の診断、治療、せん定等の管理に助成金を交付し、樹木所有者の負担を軽減しました。

区名	新規指定	維持管理に対する助成	区名	新規指定	維持管理に対する助成
鶴見区	2 本	6 本	金沢区	—	4 本
神奈川区	1 本	—	港北区	1 本	2 本
中区	7 本	3 本	緑区	—	1 本
南区	—	5 本	都筑区	—	3 本
港南区	—	2 本	戸塚区	1 本	3 本
保土ヶ谷区	7 本	4 本	泉区	4 本	6 本
旭区	1 本	3 本	【計】	24 本	42 本



【写真】
名木古木指定樹木の
事例（中区）



樹木所有者
の声

■記念樹等生産配布事業

民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目の記念に希望した横浜市民等に、苗木を無料で配布しました。また、みどりのまちづくりに自主的に取り組んでいる団体等への樹木配布も行いました。

＜人生記念樹＞

・申し込み対象となる記念

(1) 出生	(7) 金婚（50 年）
(2) 保育園・幼稚園入園	(8) 銀婚（25 年）
(3) 小学校入学	(9) 賀寿（還暦や古希など 7 種類）
(4) 成人（20 歳の誕生日）	(10) 新市民 （市外からの転入）
(5) 就職	(11) 住宅の新築・購入
(6) 結婚	(12) 住宅の増改築

・配布実績

鶴見区	829 本	保土ヶ谷区	964 本	青葉区	1,184 本
神奈川区	1,292 本	旭区	1,262 本	都筑区	1,171 本
西区	201 本	磯子区	598 本	戸塚区	1,083 本
中区	231 本	金沢区	702 本	栄区	586 本
南区	299 本	港北区	1,016 本	泉区	782 本
港南区	872 本	緑区	775 本	瀬谷区	2,650 本
【計】 16,497 本					



【写真】苗木配布の様子（戸塚区）



市民の声

・記念にもらった苗木なので、大きく立派に育てます。

37 公共施設緑化事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 公立の保育園や小・中学校の園庭や校庭の芝生化、地区センターなどの市民利用施設や道路・公園・河川等の緑化の拡充を行うことで、市街地景観の向上及び良好な市街地環境の形成を図ります。

3 事業・取組の実績－
(2) 一
ウ 緑をつくる

平成 23 年度の実績

公共施設の緑化	1.8ha	2.0ha
うち、 公立保育園の園庭芝生化 公立小学校の校庭芝生化	保育園 9 園 小学校 13 校 (計 0.8ha)	

■実施状況



【写真】公立保育園の園庭芝生化の事例（保土ヶ谷区/岩井保育園）



【写真】公共施設の緑化の事例（屋上緑化、旭区/旭図書館）

38 | 公共施設緑化管理事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 建築物系公共施設の植栽地を中心に、より質の高い維持管理を行うことで、市街地景観の向上及び良好な市街地環境の形成を図るために実施します。

平成 23 年度の実績

<年度目標>



公共施設の植栽地管理

245 施設、25.5ha

191 施設、25.0ha

■実施状況



せん定前



せん定後

【写真】公共施設の植栽地管理の事例（神奈川区/神奈川区総合庁舎）



草刈前



草刈後

【写真】公共施設の植栽地管理の事例（泉区/和泉保育園）

39 いきいき街路樹事業

◎:拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- 街路樹は、快適な緑陰をつくり都市に潤いや憩いを与えるとともに、街並みの美観を向上させています。これら街路樹を良好に生育させ、市民に美しく豊かな緑を提供するとともに、歩行者や車両等の安全で円滑な通行を確保するため、せん定頻度を引き上げ、適正な維持管理を行います。

平成 23 年度の実績

<年度目標>



街路樹の計画的なせん定

14,623 本 (108 路線)

10,000 本

街路樹の管理費が年々減少したため、適正なせん定頻度が保てず、1回のせん定で枝を極端に切り詰める「ぶつ切りせん定」により、樹形の乱れ、樹勢の衰退、街並み景観の悪化などが問題となりました。

いきいき街路樹事業では、駅前や公共施設周辺の道路、幹線道路などを中心に、樹種や路線の特性を考慮しながら、目標とする樹形とせん定方法を予め定め、計画的に実施することにより、都市美観の向上と街路樹の健全な育成を図ります。



【写真】「ぶつ切りせん定」の事例（ケヤキ）



【写真】クスノキのせん定（西区／市道栄本町線第 7188 号線）（左：せん定前、右：せん定後）

40

民有地緑化の誘導等

・事業費のないもの

- 一定規模以上の敷地に建築を行う場合に緑化を義務付ける緑化地域制度をはじめ、諸制度を着実に運用し、民有地における緑化を進めます。

平成 23 年度の実績

<年度目標>



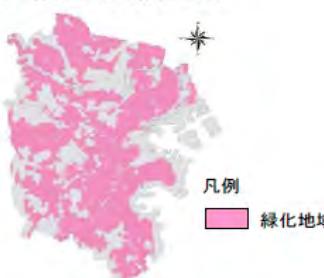
緑化地域制度等運用中

推進

<緑化地域制度>

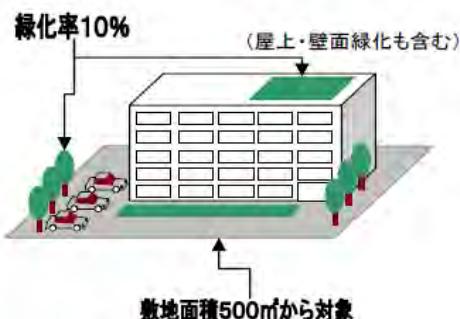
「都市緑地法」に基づき、良好な都市環境形成のために、横浜市の住居系用途地域全域を緑化地域と定め、500m²以上の敷地で建築物の新築・増築を行う場合に、敷地面積の10%以上の緑化を義務付けています。

図 緑化地域の指定地域



住居系用途地域全域※

- ・第1種低層住居専用地域
- ・第2種低層住居専用地域
- ・第1種中高層住居専用地域
- ・第2種中高層住居専用地域
- ・第1種住居地域
- ・第2種住居地域
- ・準住居地域



<緑の環境をつくり育てる条例第9条協議>

「緑の環境をつくり育てる条例」に基づき、横浜市全域において、500m²以上の敷地で建築物の新築・増築を行う場合に、敷地面積の一定割合以上の緑化を行う協議を行っています。

<横浜市開発事業の調整等に関する条例>

「横浜市開発事業の調整等に関する条例」に基づき、開発事業を行う場合、敷地面積に一定の既存の樹木の保存または、緑化を行う協議を行っています。



【写真】緑化事例



【図】建築物緑化認定ラベル

・基準以上の緑化を行っていただいた建築物に対して、横浜市の緑化認定証と認定ラベルを発行。

【参考】

- ・緑化地域制度に基づく適合証明 : 273 件 約 9.0ha
- ・緑の環境をつくり育てる条例に基づく緑化 : 137 件 約 8.7ha (工場等は除く)
- ・開発事業の調整等に関する条例に基づく緑化 : 186 件 約 7.6ha※植樹本数から求めた換算値

41

建築物緑化保全契約の締結 (建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減)

・事業費のないもの

- 面積 500 m²以上の建築物敷地で、法令や条例に基づき一定基準以上の緑化を行い、その緑化部分について横浜市と 10 年間保全する契約を締結した場合、固定資産税等の一部が軽減される制度です。民有地における緑化部分の保全と緑化誘導のため、契約の締結を進めます。

3 事業・取組の実績
(2) 事業・取組の実績－ウ 緑をつくる

平成 23 年度の実績

 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結

10 件 (8.4ha)

<年度目標>

制度運用

■平成 23 年度の実績

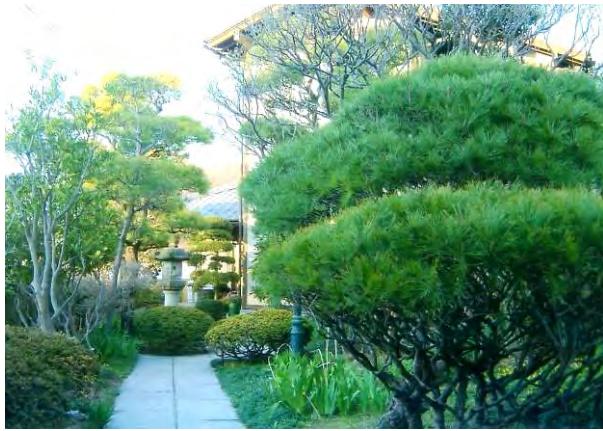
平成 23 年度は、10 件の保全契約を締結し、およそ 8.4ha の緑地が 10 年間保全されることになりました。

今年度の契約は、緑化率が 30% を超えるものが多く見られました。

固定資産税等が軽減されることだけでなく、個人の緑化が横浜市に高く評価されたと、申請者から喜びの声が届いています。

【表】平成 23 年度の契約実績

区名	件数
南区	1 件
旭区	2 件
磯子区	1 件
青葉区	2 件
都筑区	1 件
戸塚区	1 件
瀬谷区	2 件
合計	10 件



【写真】建築物緑化保全契約を締結した緑地の例
(個人宅、戸塚区)



【写真】建築物緑化保全契約を締結した緑地の例
(集合住宅、南区)

42

みどりアップ広報事業

◇:新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- 市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）を推進するため、様々な媒体を活用し、計画や取組成果の周知・PRを進めます。
- また、「みどりアップ月間」を設定し、集中的な広報を実施します。
- 緑の保全・創造の取組を自ら行動する機運を醸成するため、「『みどりアップ』しています！宣言」の登録を実施します。

平成 23 年度の実績

<23 年度目標>



計画の目的、内容及び進捗状況を実感していただけるよう、多様な手段で広報活動を推進

推進

■イベントなどによる広報

<イベント出展による PR 活動>

- ・よこはま花と緑のスプリングフェア 2011（平成 23 年 4 月 15 日～4 月 17 日）
- ・横浜 F・マリノス（日産スタジアム戦）のトリコロールランド（平成 23 年 4 月 29 日、5 月 7 日、5 月 21 日、6 月 11 日、7 月 3 日、7 月 23 日）
- ・環境科学研究所の施設公開（平成 23 年 8 月 6 日）
- ・子どもアドベンチャー 2011（平成 23 年 8 月 17 日～8 月 18 日）
- ・みどりアップ月間 2011 期間中の各種イベント（平成 23 年 10 月～11 月）
- ・瀬谷区新庁舎お披露目イベント（平成 24 年 2 月 4 日）
- ・港北工コアクションイベント（平成 24 年 2 月 26 日）

<展示による PR 活動>

- ・グランモール公園内クロスパティオの期間展示（平成 23 年 6 月 1 日～6 月 13 日、7 月 28 日～8 月 10 日）
- ・平成 23 年度開港記念式典における PR 展示（平成 23 年 6 月 2 日）
- ・市庁舎市民広間の期間展示（平成 23 年 6 月 6 日～6 月 23 日、10 月 4 日～10 月 28 日）
- ・市内全区役所に PR パネル及びのぼり旗の掲出（平成 23 年 8 月～）
- ・クロスパティオ常設展示（平成 21 年 10 月 16 日～）



【写真】子どもアドベンチャー 2011 の様子



【写真】横浜 F・マリノスのトリコロールランドでの PR の様子



【写真】市庁舎市民広間展示の様子

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績－ウ 緑をつくる

■各種媒体を活用した広報

<広報誌等への掲載>

- ・広報よこはま（市版：平成23年6月号、10月号、西・栄区版：7月号、瀬谷区版：8月号）
- ・はまふうどナビ（平成23年5月号）
- ・よこはまの森ニュースレター（平成23年7月号、10月号、12月号、平成24年3月号）
- ・季刊誌「みどり」（平成23年4月号、10月号、平成24年1月号）
- ・かんきょう横浜（平成23年5月号、7月号、9月号、11月号、平成24年1月号、3月号）
- ・タウンニュース（平成23年6月号）
- ・よこはま農委だより（平成23年10月号）
- ・月刊リサイクルデザイン（平成23年10月号、11月号）



【図】広報よこはま
(市版：10月号)

<リーフレット・チラシ・報告書>

- ・平成22年度成果報告概要リーフレット（35,000部作成）
- ・平成22年度事業報告書
- ・個人市民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載
- ・法人市民税申告書送付時にチラシ同封

【図】平成22年度成果報告
概要リーフレット



<メディアを活用した広報>

- ・電光掲示板（市庁舎ほか、平成23年4月、5月、6月）
- ・ラジオでのPR（FM横浜：平成23年6月13日、6月14日、9月23日）
- ・交通広告（京浜急行電鉄車内広告：平成23年7月22日～7月24日、10月10日～11月8日）
- ・市庁舎2階ベランダへの横断幕の掲出（平成23年10月5日～12月1日、12月19日～）
- ・広報用ビデオの製作・活用（平成23年11月～）
- ・横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行（月2回、1日と15日に発行）



【図】京浜急行電鉄車内広告
(窓上ポスター)

<事業実施場所でのPR>

- ・事業実施場所での現地表示



【写真】区民花壇事業での現地
表示の様子

■みどりアップ月間

＜主旨＞

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）と横浜みどり税に対する市民・法人へのPRを推進するとともに、緑の保全・創造に対する市民協働の輪を広げながら、活動団体、土地所有者等を含めた市民共通理解の促進を図ることを目的として、みどりアップ月間を設置しました。

＜平成23年度の概要＞

【期間】 平成23年10月～11月

【テーマ】 「知って・楽しんで・学ぶ みどりアップ」

【主な成果】・集中的な広報によるPRの強化

・みどりアップ月間のコアイベントの実施

～農と緑のふれあい祭り

ポスター掲示、各種パンフレット配布、クイズラリー、クラフト教室、

広報用ビデオの放映、「みどりアップ」しています！宣言の受付

・イベント相互間の連携による相乗効果の発揮

～よこはま食と農の祭典2011、よこはま環境行動フェスタ2011、みなと
みらい農家朝市収穫祭等

＜主なイベント実績＞

日付	イベント名	内容	開催場所
10月1日（土）	みどりのオープンフォーラム ～まちなかの緑を増やそう！～	横浜市の事業・まちなかの緑化事例紹介（参加者：約30人）	西区 tvkハウジングプラザ横浜
10月4日（火） ～10月27日（木）	横浜のみどりを堪能！	みどりアップ月間イベント情報満載	中区 横浜市庁舎1階市民広間
11月3日 (木・祝)	農と緑のふれあい祭り	知って・楽しんで・遊ぶ みどりアップ（参加者：約12,000人）	保土ヶ谷区 横浜市児童遊園地
11月5日（土）	よこはま食と農の祭典2011	五感で感じる農の力！地元よこはま農の魅力を大発見！	西区 みなとみらいクイーンズサークル
	よこはま環境行動フェスタ2011	身近な環境を楽しく学ぼう！（参加者：約4,500人）	西区 みなとみらいクイーンズパーク
11月5日（土） ～11月6日（日）	人生記念樹の配布	平成23年4月から8月までの間に申し込まれた方へ配布（配布本数：4,402本）	各区役所 (栄区のみ土木事務所)
11月19日（土）	森の楽校発表会	森を知れば未来がみえる（参加者：約1,185人）	西区 みなとみらいクイーンズサークル
11月20日（日）	健康の森ウォーク	金沢の森を歩く（参加者：49人）	金沢区内
11月27日（日）	みなとみらい農家朝市収穫祭	今年も開催！収穫祭（参加者：約500人）	西区 高島中央公園



【写真】農と緑のふれあい祭りの様子



【写真】健康の森ウォークの様子



【写真】よこはま環境行動フェスタ2011のクラフト教室の様子

3 事業・取組の実績

(2) 事業・取組の実績－ウ 緑をつくる

■「みどりアップ」しています！宣言

<主旨>

150 万本植樹行動を通じて広がった、市民や事業者の皆さまの緑に対する関心や愛着をさらに育むため、みどりアップにつながる取組を登録する制度「みどりアップ」しています！宣言の登録を平成 22 年 10 月に開始しました。

これは、一人ひとりがコツコツと取り組むことが大きなみどりアップにつながるという機運を醸成することを目的としています。

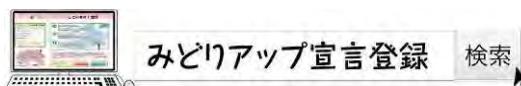
<事業概要>

- 【対象者】
- ・横浜市内在住・在学・在勤の個人
 - ・横浜市内に事業所を持つ企業・団体、及び市内で活動している団体（学校含む）
 - ・横浜市内に樹林地・農地をお持ちの方

【登録期間】平成 22 年 10 月 6 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

<登録状況>

平成 22 年 10 月から登録を開始し、平成 24 年 3 月末まで個人・団体をあわせて 4,334 件の登録をいただきました。登録者の取組状況については、ホームページでご紹介しています。



<広報媒体>



【図】ちらし（個人用）

【図】ちらし
(企業・団体用)

【図】ポスター



【図】ホームページ



【写真】横浜 F・マリノスのトリコロールランドでの PR の様子



【写真】港北エコアクションイベント会場での PR の様子

4 各区の実績



平成23年度の実績を、区ごとにまとめます。なお、制度検討や、市域全体からひろく参加者を募ったイベントや講座など、全市的に効果が及ぶものは、各区の実績には含めません。

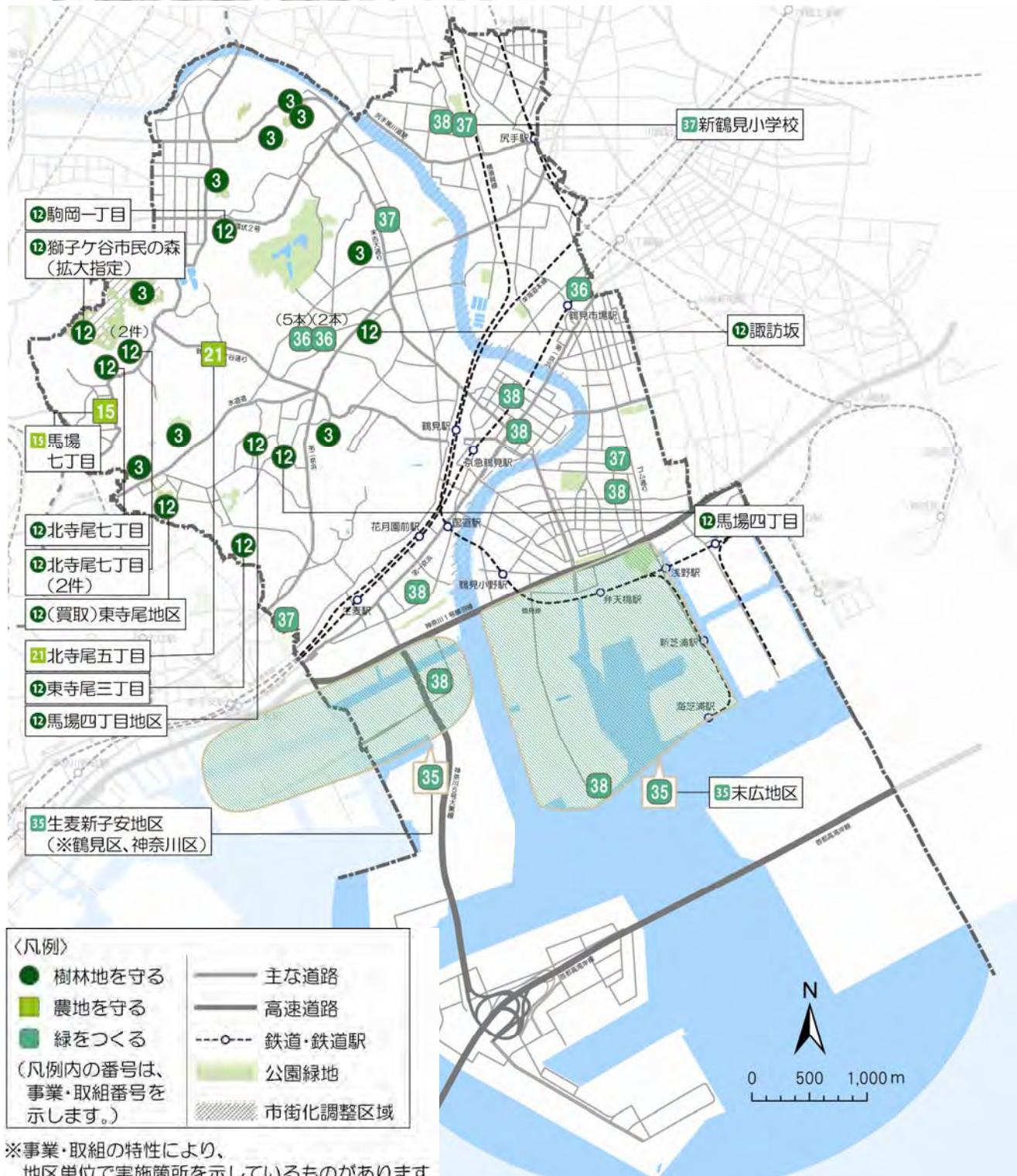
(1) 鶴見区	4- 2
(2) 神奈川区	4- 6
(3) 西区	4-10
(4) 中区	4-12
(5) 南区	4-16
(6) 港南区	4-20
(7) 保土ヶ谷区	4-24
(8) 旭区	4-28
(9) 磯子区	4-34
(10) 金沢区	4-38
(11) 港北区	4-42
(12) 緑区	4-48
(13) 青葉区	4-54
(14) 都筑区	4-60
(15) 戸塚区	4-66
(16) 柴区	4-72
(17) 泉区	4-76
(18) 瀬谷区	4-82

4 各区の実績 (1) 鶴見区

(1) 鶴見区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成23年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
 - ・凡例内の番号は、P4-3～の「平成23年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
 - ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-2 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



＜維持管理推進＞

3 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：5箇所	[実施箇所] 駒岡中郷市民の森、獅子ヶ谷市民の森、かぶと塚ふれあいの樹林、東寺尾ふれあいの樹林、駒岡・梶山緑地
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：3件	[実施箇所] 上末吉一丁目、馬場一丁目、馬場二丁目
・市民の森等の斜面地での防災対策工事：1箇所	[実施箇所] かぶと塚ふれあいの樹林

＜確実な担保＞

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・特別緑地保全地区：0.8ha	[実施箇所] 馬場四丁目地区
・市民の森：0.2ha	[実施箇所] 獅子ヶ谷市民の森（拡大指定）
・緑地保存地区：1.6ha	[実施箇所] 北寺尾七丁目（2件）、駒岡一丁目、諏訪坂、馬場四丁目、東寺尾三丁目
・寄附緑地等：0.4ha	[実施箇所] 北寺尾七丁目
■不測の事態による買取希望等への対応	
・市民の森、ふれあいの樹林等：1地区	[実施箇所] 東寺尾地区

4 各区の実績
(1) 鶴見区■農地を守る 

<継続保有の促進>

15 生産緑地制度の活用	・：事業費のないもの
・生産緑地の追加指定：1件 [実施箇所] 馬場七丁目	

<農業振興>

21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：1件 [実施箇所] 北寺尾五丁目	

■緑をつくる 

<緑化推進>

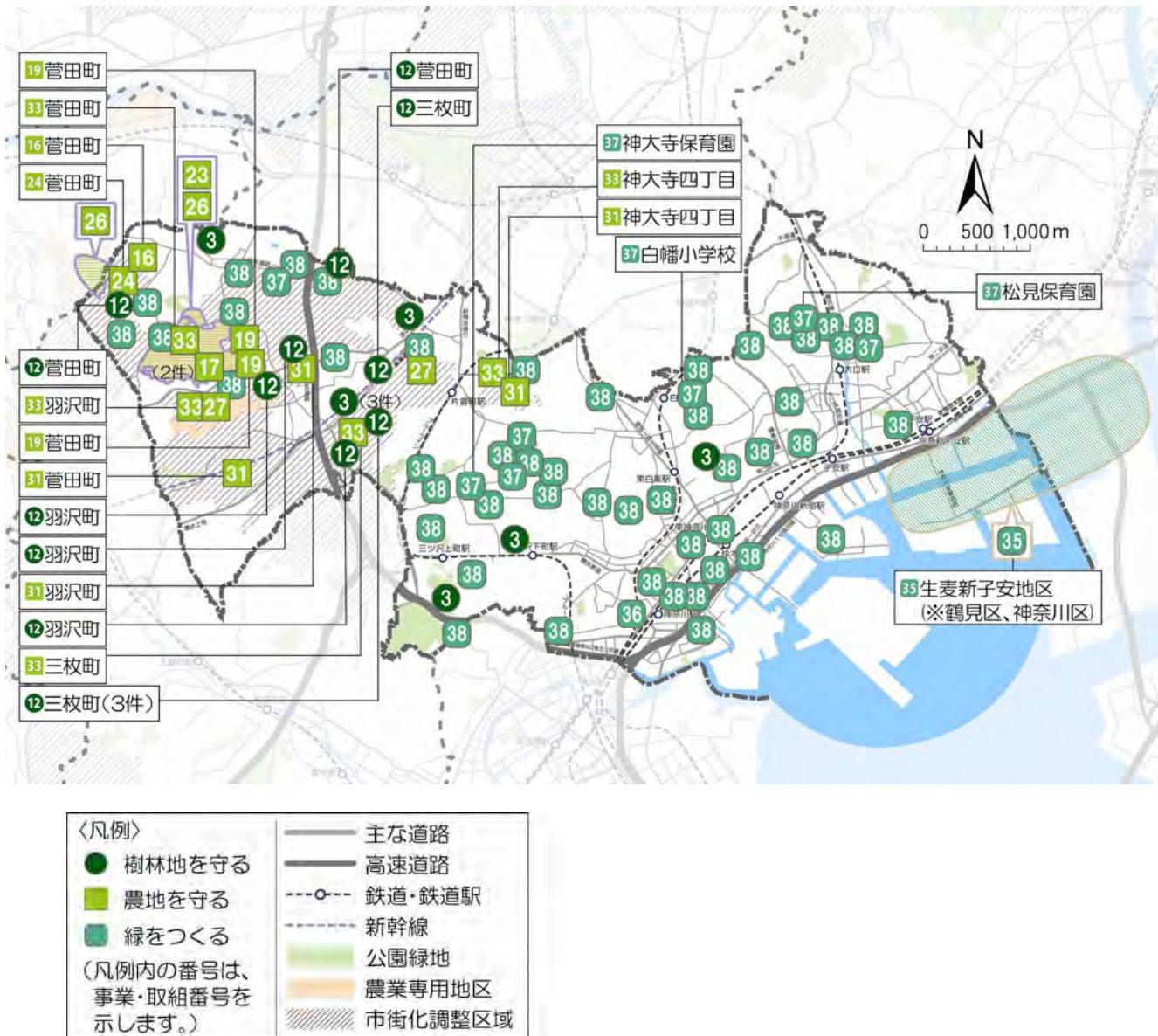
35 地域緑のまちづくり事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■地域緑化計画策定事業	
・地域緑化計画策定の取組	
一平成23年度から新たに取組をはじめた地区：1地区 [実施箇所] 末広地区	
一平成21・22年度から継続して取り組んでいる地区：1地区 [実施箇所] 生麦新子安地区（※鶴見区、神奈川区）	
36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■名木古木保存事業	
・名木古木の新規指定：2本 [実施箇所] 北寺尾二丁目（2本）	
・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：6本 [実施箇所] 市場上、北寺尾二丁目（5本）	
■記念樹等生産配布事業	
・人生記念樹等の配布：829本	

37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の緑化：4箇所	
[実施箇所] 潮田小学校、末吉小学校、生麦中学校 ほか	
一うち公立小中学校の校庭芝生化：1校	
[実施箇所] 新鶴見小学校	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の植栽地管理：7箇所	
[実施箇所] 鶴見区役所、芦穂崎保育園、潮田保育園、生麦保育園、新鶴見小学校、 中央卸売市場食肉市場、鶴見工場	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・街路樹の計画的なせん定：9路線	

(2) 神奈川区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- 平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- 凡例内の番号は、P4-7～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-6 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



＜維持管理推進＞

3 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：2箇所	
[実施箇所] 豊頤寺市民の森、白幡西緑地	
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：4件	
[実施箇所] 菅田町（2件）、三枚町、三ツ沢下町	

＜確実な担保＞

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・緑地保存地区：1.1ha	
[実施箇所] 三枚町、菅田町、羽沢町	
・源流の森：3.1ha	
[実施箇所] 三枚町（3件）、菅田町、羽沢町（2件）	

■農地を守る



＜継続保有の促進＞

16 農園付公園整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・農園付公園の基本設計：1箇所	
[実施箇所] 菅田町	
17 特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：2件	
[実施箇所] 羽沢町（2件）	

4 各区の実績

(2) 神奈川区

<農業振興>

19 収穫体験農園の開設支援事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
・ 収穫体験農園の整備に対する助成 : 2箇所	
[実施箇所] 菅田町 (2箇所)	

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇ : 新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・ 地域の農地管理を行う団体への支援 : 1団体	
[実施箇所] 神奈川農地整備組合	
24 水田保全契約奨励事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
・ 水田保全承認面積 : 0.1ha	
[実施箇所] 菅田町	
26 不法投棄対策事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
・ 不法投棄が多い農地での夜間パトロール : 2地区	
[実施箇所] 鴨居原農業専用地区 (※神奈川区、緑区)、菅田羽沢農業専用地区	
・ 地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援 : 2地区	
[実施箇所] 横浜市緑区鴨居原土地改良区 (※神奈川区、緑区)、 神奈川農地整備組合	
27 環境配慮型施設整備事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
・ 牧草による環境対策等 : 2地区	
[実施箇所] 片倉三丁目、羽沢町	

<担い手育成>

31 農地貸付促進事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
・ 6年以上の長期貸付を開始した農地 : 1.6ha	
[実施箇所] 神大寺四丁目、菅田町、羽沢町	

<確実な担保>

33 農地流動化促進事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
・ 新規の農地貸借 : 1.3ha	
[実施箇所] 神大寺四丁目、菅田町、羽沢町、三枚町	

■緑をつくる 

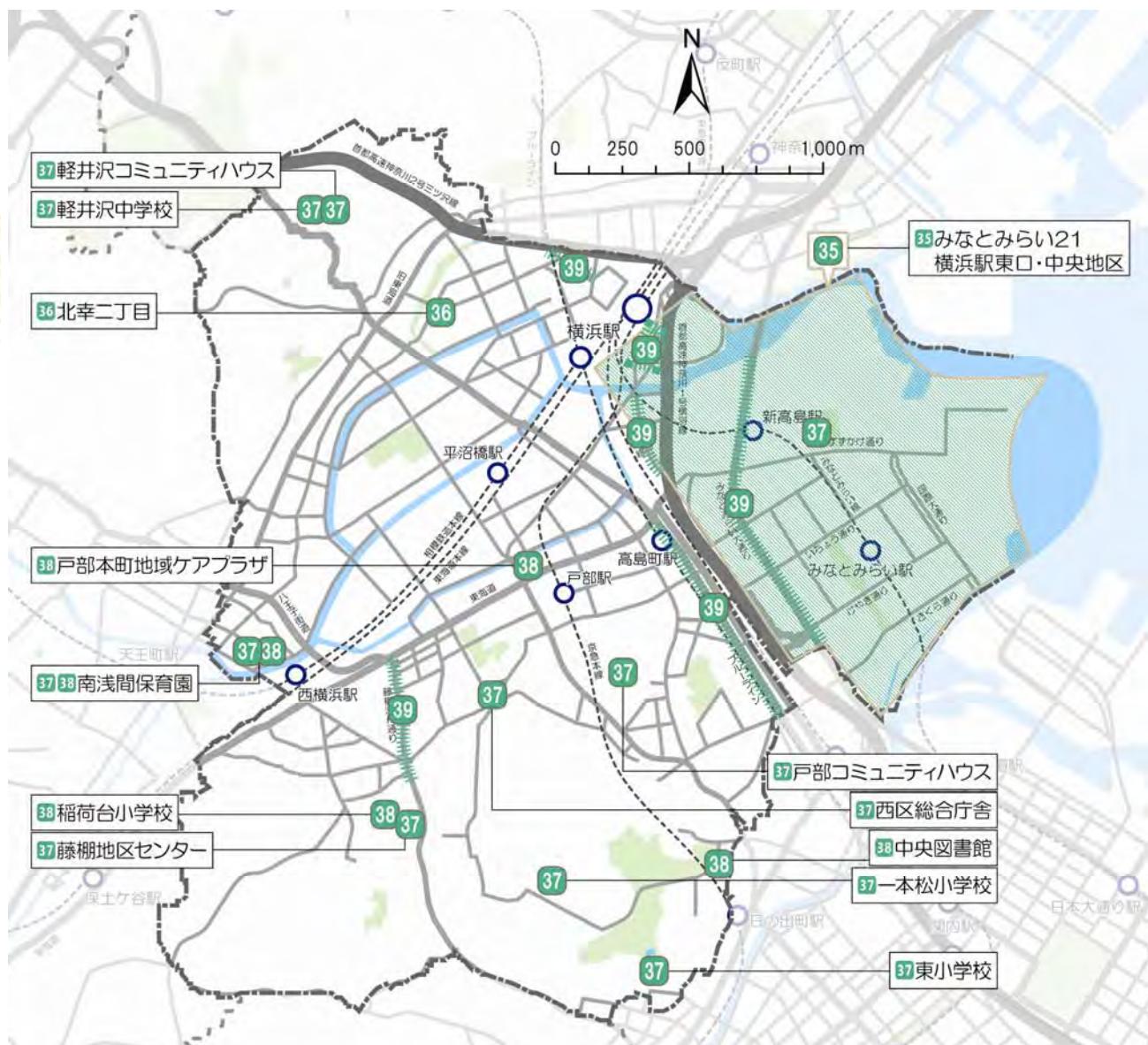
<緑化推進>

<p>35 地域緑のまちづくり事業</p>	<p>◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)</p>
<p>■地域緑化計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化計画策定の取組 <p>一平成21・22年度から継続して取り組んでいる地区：1地区</p> <p>[実施箇所] 生麦新子安地区（※鶴見区、神奈川区）</p>	
<p>36 民有地緑化助成事業</p>	<p>◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)</p>
<p>■名木古木保存事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名木古木の新規指定：1本 <p>[実施箇所] 高島台</p> <p>■記念樹等生産配布事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生記念樹等の配布：1,292本 	
<p>37 公共施設緑化事業</p>	<p>◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の緑化：7箇所 <p>[実施箇所] 西寺尾小学校、南神大寺小学校 ほか</p> <p>一うち公立保育園の園庭芝生化：2園</p> <p>[実施箇所] 神大寺保育園、松見保育園</p> <p>一うち公立小中学校の校庭芝生化：1校</p> <p>[実施箇所] 白幡小学校</p>	
<p>38 公共施設緑化管理事業</p>	<p>◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の植栽地管理：48箇所 <p>[実施箇所] 神奈川区総合庁舎、神奈川図書館、白幡小学校、松見保育園、 池上小学校、平沼記念体育館、動物愛護センター ほか</p>	
<p>39 いきいき街路樹事業</p>	<p>◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の計画的なせん定：3路線 	

(3) 西区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- 平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- 凡例内の番号は、P4-11 の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



〈凡例〉
■ 緑をつくる
 (凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)

主な道路
 高速道路
 鉄道・鉄道駅
 公園緑地

※事業・取組の特性により、
 地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-10 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■緑をつくる



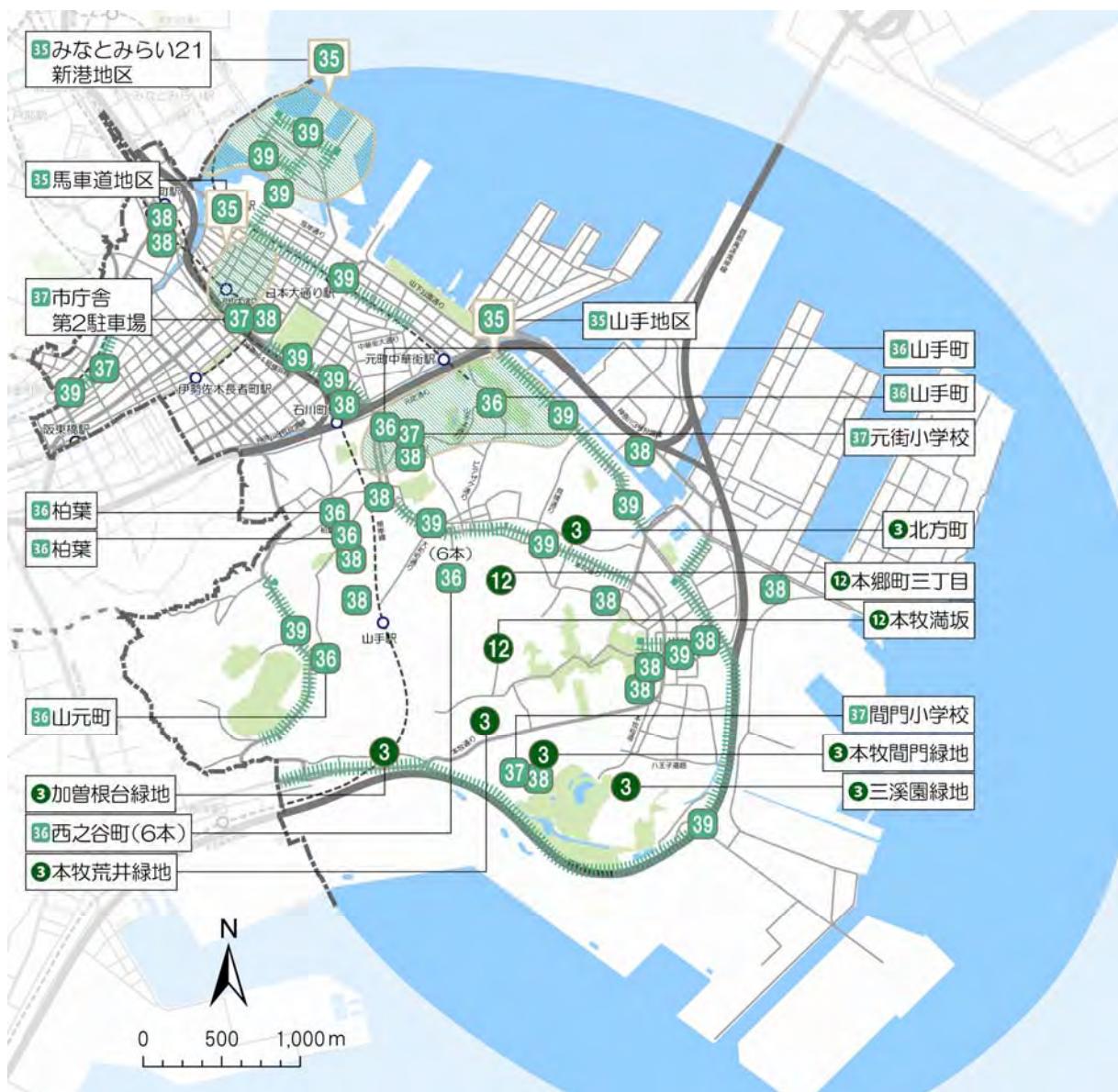
<緑化推進>

35 地域緑のまちづくり事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<p>■地域緑化計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化計画策定の取組 <p>—平成21・22年度から継続して取り組んでいる地区：1地区</p> <p>[実施箇所] みなとみらい21横浜駅東口・中央地区</p>	
36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<p>■屋上緑化助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上・壁面緑化に対する助成：1件 <p>[実施箇所] 北幸二丁目</p>	
<p>■記念樹等生産配布事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生記念樹等の配布：201本 	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の緑化：9箇所 <p>[実施箇所] 西区総合庁舎、南浅間保育園、東小学校、一本松小学校、軽井沢中学校、 軽井沢コミュニティハウス、戸部コミュニティハウス、 藤棚地区センター ほか</p>	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の植栽地管理：4箇所 <p>[実施箇所] 中央図書館、稻荷台小学校、南浅間保育園、戸部本町地域ケアプラザ</p>	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の計画的なせん定：6路線 	

(4) 中区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- 平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- 凡例内の番号は、P4-13～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



〈凡例〉	
●	樹林地を守る
■	緑をつくる
(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)	
—	主な道路
—	高速道路
---○---	鉄道・鉄道駅
■	公園緑地
▨	市街化調整区域

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-12 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

③ 緑地再生等管理事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：4箇所

[実施箇所] 加曽台緑地、三渓園緑地、本牧荒井緑地、本牧間門緑地

- ・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：1件

[実施箇所] 北方町

<確実な担保>

⑫ 特別緑地保全地区指定等拡充事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

■緑地保全制度による新規指定等

- ・緑地保存地区：0.2ha

[実施箇所] 本郷町三丁目、本牧満坂

■緑をつくる



<緑化推進>

⑯ 地域緑のまちづくり事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

■地域緑化計画策定事業

- ・地域緑化計画策定の取組

—平成21・22年度から継続して取り組んでいる地区：3地区

[実施箇所] 馬車道地区、みなとみらい21新港地区、山手地区

■地域緑化推進事業

- ・地域緑化計画に基づく緑化整備の実施：2地区

[実施箇所] 馬車道地区、山手地区

4 各区の実績

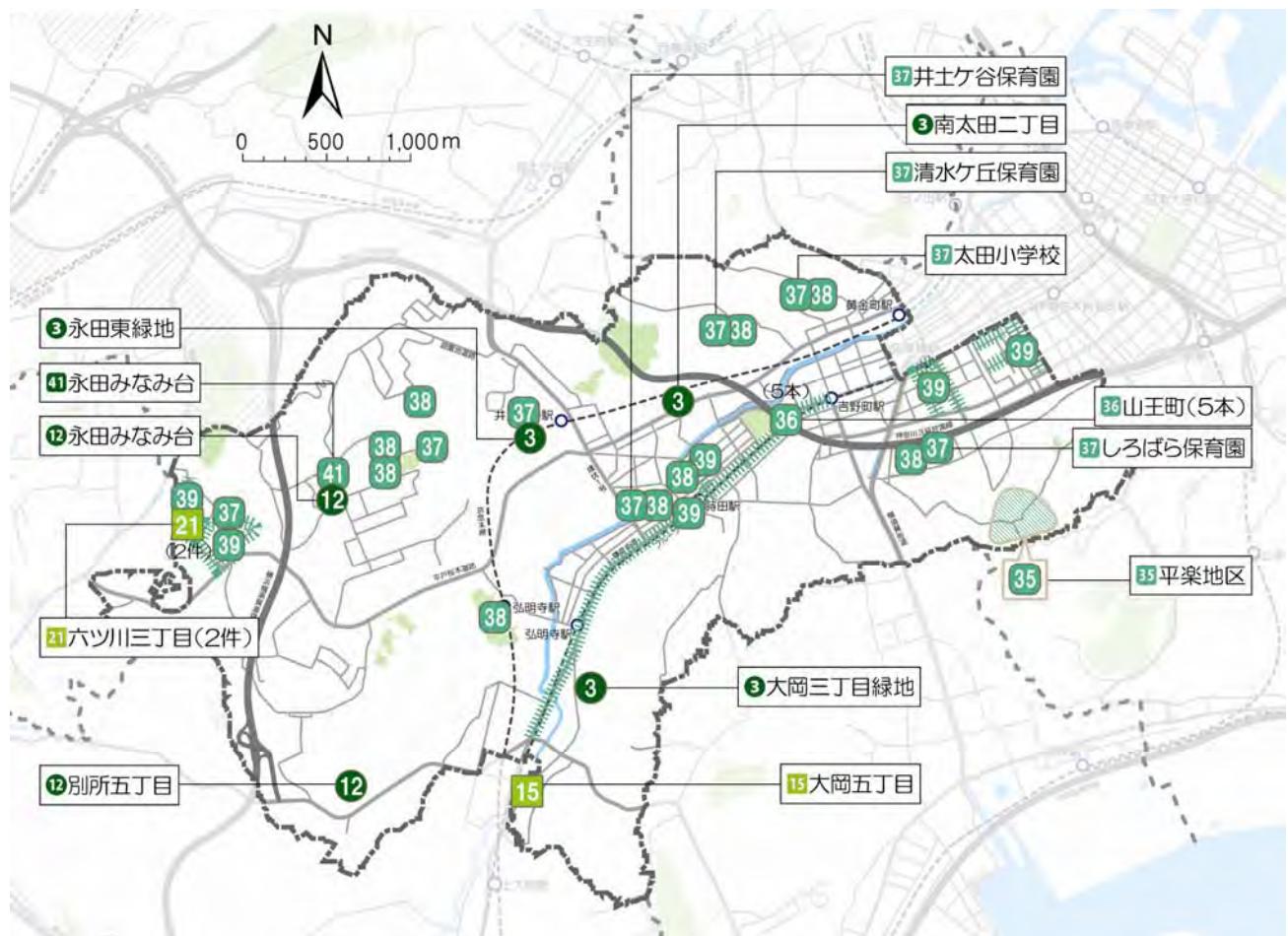
(4) 中区

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■屋上緑化助成事業	
・屋上・壁面緑化に対する助成：1件	
[実施箇所] 柏葉	
■名木古木保存事業	
・名木古木の新規指定：7本	
[実施箇所] 柏葉、西之谷町（6本）	
・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：3本	
[実施箇所] 山手町（2本）、山元町	
■記念樹等生産配布事業	
・人生記念樹等の配布：231本	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の緑化：4箇所	
[実施箇所] 市庁舎第2駐車場 ほか	
――うち公立小中学校の校庭芝生化：2校	
[実施箇所] 間門小学校、元街小学校	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の植栽地管理：15箇所	
[実施箇所] 市庁舎、中図書館、みなと赤十字病院、錦保育園、間門小学校、元街小学校、竹之丸地区センター、麦田清風荘 ほか	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・街路樹の計画的なせん定：14路線	

(5) 南区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
 - ・凡例内の番号は、P4-17～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
 - ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



樹林地を守る	主な道路
農地を守る	高速道路
緑をつくる	鉄道・鉄道駅
(凡例内の番号は、 事業・取組番号を 示します。)	公園緑地
	市街化調整区域

※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-16 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

3 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：2箇所	
[実施箇所] 大岡三丁目緑地、永田東緑地	

・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：1件	
[実施箇所] 南太田二丁目	

<確実な担保>

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・緑地保存地区：0.1ha	
[実施箇所] 別所五丁目	
・寄附緑地等：1.5ha	
[実施箇所] 永田みなみ台	

■農地を守る



<継続保有の促進>

15 生産緑地制度の活用	・：事業費のないもの
・生産緑地の追加指定：1件	
[実施箇所] 大岡五丁目	

<農業振興>

21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：2件	
[実施箇所] 六ツ川三丁目（2件）	

4 各区の実績

(5) 南区

■緑をつくる



<緑化推進>

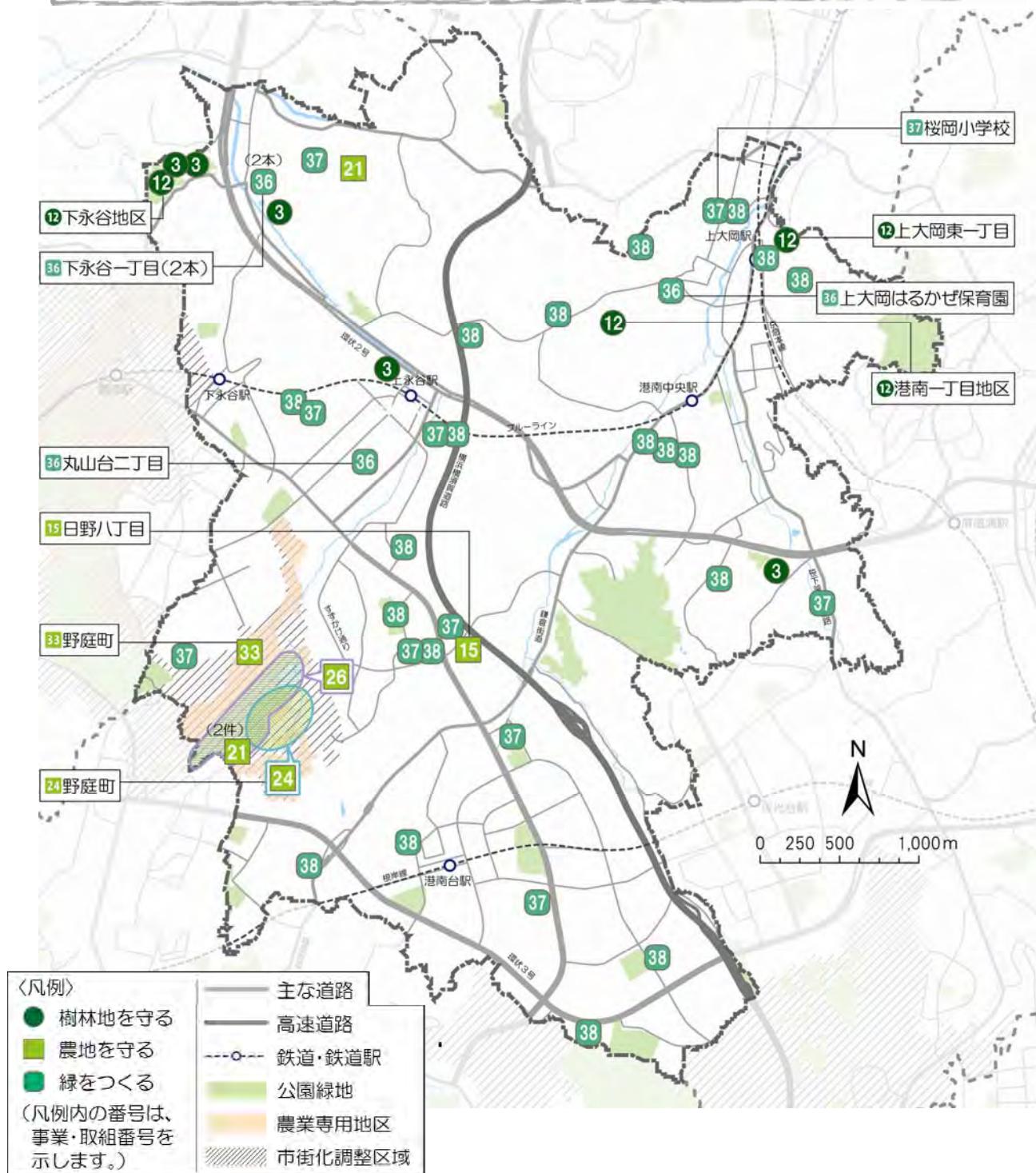
35 地域緑のまちづくり事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
	<p>■地域緑化計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化計画策定の取組 <p>一平成23年度から新たに取組をはじめた地区：1地区</p> <p>[実施箇所] 平楽地区</p>
36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
	<p>■名木古木保存事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：5本 <p>[実施箇所] 山王町（5本）</p> <p>■記念樹等生産配布事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生記念樹等の配布：299本
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の緑化：7箇所 <p>[実施箇所] 永田台小学校、六ツ川中学校 ほか</p> <p>一うち公立保育園の園庭芝生化：3園</p> <p>[実施箇所] 井土ヶ谷保育園、清水ヶ丘保育園、しろばら保育園</p> <p>一うち公立小中学校の校庭芝生化：1校</p> <p>[実施箇所] 太田小学校</p>
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の植栽地管理：9箇所 <p>[実施箇所] 南区総合庁舎、南図書館、井土ヶ谷保育園、清水ヶ丘保育園、しろばら保育園、永田保育園、太田小学校、永田小学校、永田台小学校</p>
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の計画的なせん定：6路線

41	建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）	・：事業費のないもの
・基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [実施箇所] 永田みなみ台		

(6) 港南区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- 平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- 凡例内の番号は、P4-21～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-20 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



＜維持管理推進＞

3 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：2箇所	
[実施箇所] 下永谷市民の森、下永谷長町緑地	
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：2件	
[実施箇所] 笹下五丁目、上永谷五丁目	
・市民の森等の斜面地での防災対策工事：1箇所	
[実施箇所] 下永谷市民の森	

＜確実な担保＞

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・特別緑地保全地区：4.3ha	
[実施箇所] 下永谷地区、港南一丁目地区	
・緑地保存地区：0.1ha	
[実施箇所] 上大岡東一丁目	

■農地を守る 

<継続保有の促進>

15 生産緑地制度の活用	・：事業費のないもの
・生産緑地の追加指定：1件 [実施箇所] 日野八丁目（指定基準緩和による指定）	

<農業振興>

21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：3件 [実施箇所] 芹が谷五丁目、野庭町（2件）	

<農地保全>

24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・水田保全承認面積：0.7ha [実施箇所] 野庭町	
26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：1地区 [実施箇所] 野庭農業専用地区	

<確実な担保>

33 農地流動化促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・新規の農地貸借：0.1ha [実施箇所] 野庭町	

■緑をつくる



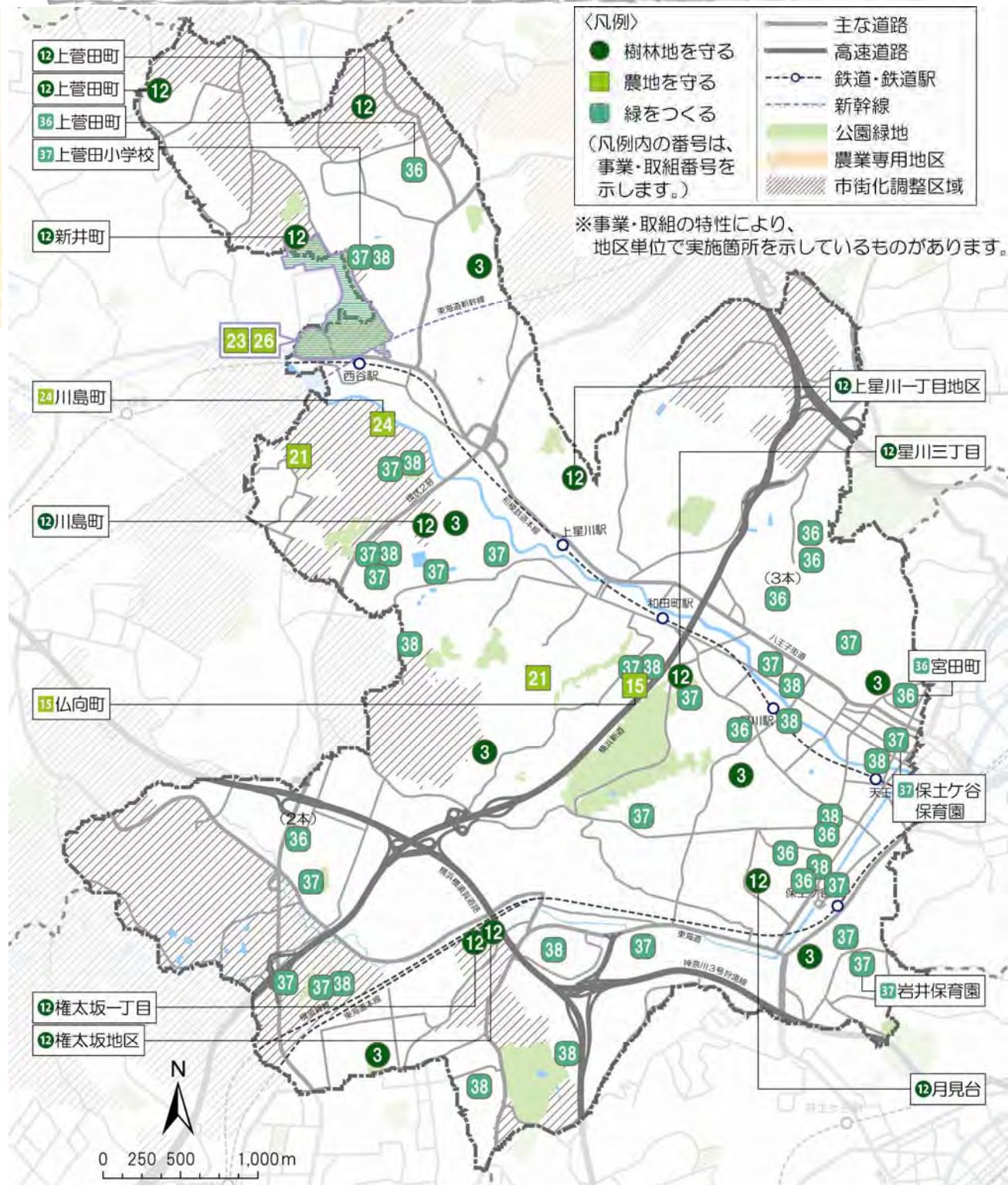
<緑化推進>

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<p>■保育園・幼稚園芝生化助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に対する助成：1園 	
<p>〔実施箇所〕 上大岡はるかぜ保育園</p>	
<p>■屋上緑化助成事業</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上・壁面緑化に対する助成：1件 	
<p>〔実施箇所〕 丸山台二丁目</p>	
<p>■名木古木保存事業</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：2本 	
<p>〔実施箇所〕 下永谷一丁目（2本）</p>	
<p>■記念樹等生産配布事業</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・人生記念樹等の配布：872本 	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の緑化：10箇所 	
<p>〔実施箇所〕 港南図書館、日限山中学校、港南台地区センター、永谷地区センター、野庭すずかけコミュニティハウス ほか</p>	
<p>—うち公立小中学校の校庭芝生化：1校</p>	
<p>〔実施箇所〕 桜岡小学校</p>	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の植栽地管理：19箇所 	
<p>〔実施箇所〕 港南図書館、上大岡東保育園、上永谷西保育園、笹下保育園、野庭第二保育園、桜岡小学校、日野南コミュニティハウス、野庭地区センター ほか</p>	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の計画的なせん定：6路線 	

(7) 保土ヶ谷区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- 平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- 凡例内の番号は、P4-25～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-24 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



＜維持管理推進＞

3 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：4箇所 [実施箇所] 境木ふれあいの樹林、川島緑地、桜ヶ丘緑地、宮田緑地	
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：3件 [実施箇所] 岩井町、上菅田町、仏向町	

＜確実な担保＞

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・特別緑地保全地区：2.3ha [実施箇所] 上星川一丁目地区、権太坂地区	
・緑地保存地区：0.2ha [実施箇所] 月見台、星川三丁目	
・源流の森：4.1ha [実施箇所] 新井町、上菅田町（2件）、川島町、権太坂一丁目	

■農地を守る



<継続保有の促進>

15 生産緑地制度の活用	・：事業費のないもの
・生産緑地の追加指定：1件	
[実施箇所] 仏向町	

<農業振興>

21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：2件	
[実施箇所] 川島町、仏向町	

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・地域の農地管理を行う団体への支援：1団体	
[実施箇所] 西谷農業専用地区協議会（※保土ヶ谷区、旭区）	
24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・水田保全承認面積：0.2ha	
[実施箇所] 川島町	
26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：1地区	
[実施箇所] 西谷農業専用地区（※保土ヶ谷区、旭区）	
・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：1地区	
[実施箇所] 西谷農業専用地区協議会（※保土ヶ谷区、旭区）	

■緑をつくる 

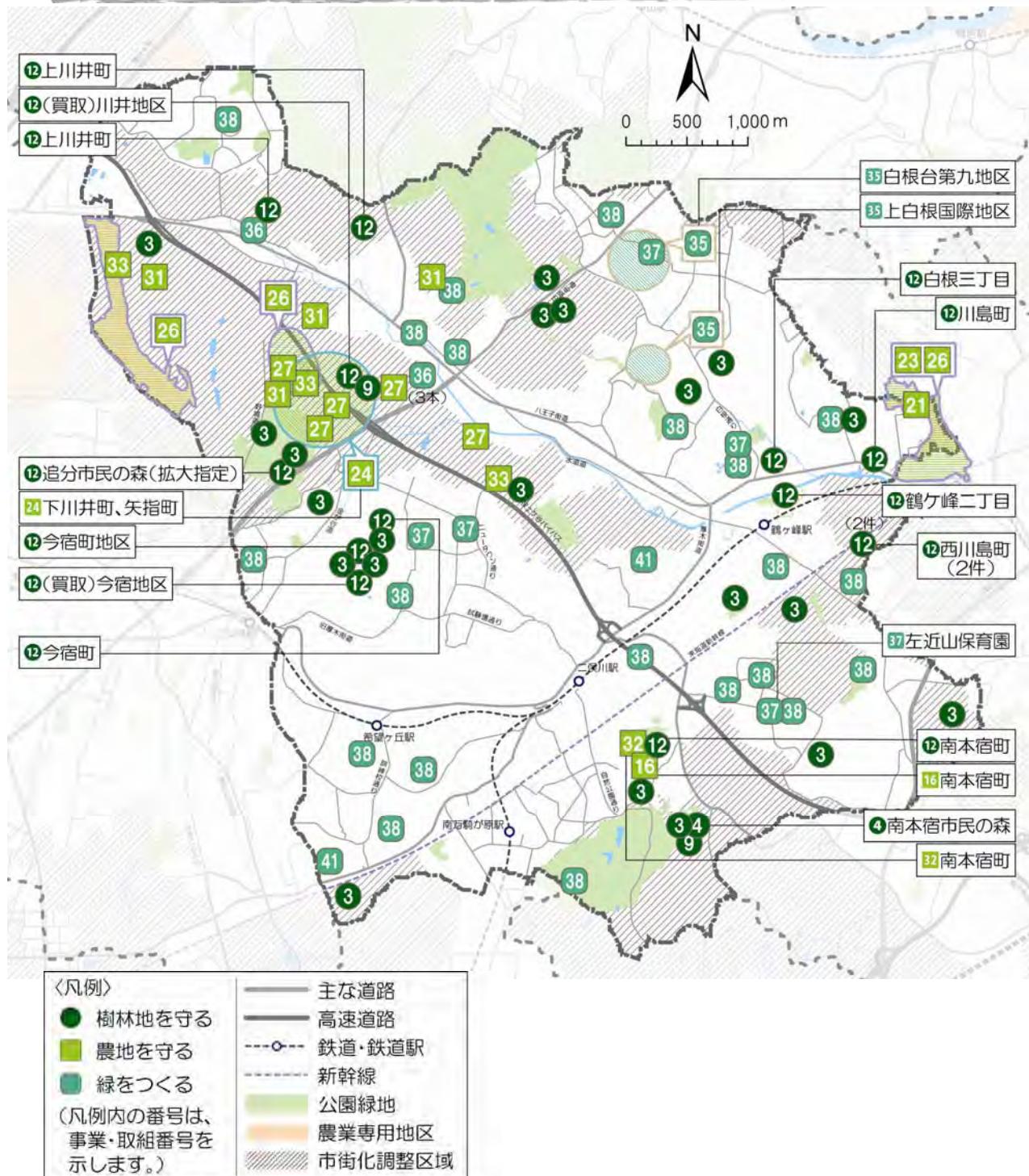
<緑化推進>

<p>36 民有地緑化助成事業</p>	<p>◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)</p>
<p>■屋上緑化助成事業</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 屋上・壁面緑化に対する助成：2件 	
<p>[実施箇所] 上菅田町、宮田町</p>	
<p>■名木古木保存事業</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木の新規指定：7本 	
<p>[実施箇所] 岡沢町、月見台（3本）、峰岡町（3本）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：4本 	
<p>[実施箇所] 今井町（2本）、岡沢町、帷子町</p>	
<p>■記念樹等生産配布事業</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹等の配布：964本 	
<p>37 公共施設緑化事業</p>	<p>◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の緑化：19箇所 	
<p>[実施箇所] 向台保育園、岩井原中学校、桜丘高等学校、特別支援教育総合センター、 西谷浄水場 ほか</p>	
<p>—うち公立保育園の園庭芝生化：2園</p>	
<p>[実施箇所] 岩井保育園、保土ヶ谷保育園</p>	
<p>—うち公立小中学校の校庭芝生化：1校</p>	
<p>[実施箇所] 上菅田小学校</p>	
<p>38 公共施設緑化管理事業</p>	<p>◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の植栽地管理：14箇所 	
<p>[実施箇所] 保土ヶ谷区総合庁舎、保土ヶ谷公会堂、特別支援教育総合センター、 川島保育園、上菅田小学校、イコット広場、仏向少年広場 ほか</p>	
<p>39 いきいき街路樹事業</p>	<p>◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 街路樹の計画的なせん定：2路線 	

(8) 旭区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
 - ・凡例内の番号は、P4-29～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
 - ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-28 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

③ 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：12箇所 [実施箇所] 追分市民の森、矢指市民の森、南本宿市民の森、市沢ふれあいの樹林、白根ふれあいの樹林、鶴ヶ峰ふれあいの樹林、猪子山緑地、今宿緑地、笹野台緑地、笹野台三丁目緑地、上白根南の森、二俣川ニュータウン緑地	
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：9件 [実施箇所] 市沢町、今宿南町、上川井町、上白根町（2件）、川島町、白根六丁目、善部町、南本宿町	
④ 市民協働による緑地維持管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・保全管理計画を策定した市民の森等：1箇所 [実施箇所] 南本宿市民の森	

<利活用促進>

⑨ 間伐材資源循環事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・森づくり団体への間伐材チップ化作業支援：12回 [実施箇所] 南本宿市民の森、川井特別緑地保全地区	

4 各区の実績

(8) 旭区

<確実な担保>

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・特別緑地保全地区：2.8ha [実施箇所] 今宿町地区	
・市民の森：0.1ha [実施箇所] 追分市民の森（拡大指定）	
・緑地保存地区：1.3ha [実施箇所] 川島町、白根三丁目、鶴ヶ峰二丁目	
・源流の森：2.9ha [実施箇所] 上川井町（2件）、西川島町（2件）	
・寄附受納等：0.8ha [実施箇所] 今宿町、南本宿町	
■不測の事態による買取希望等への対応	
・特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：1地区 [実施箇所] 川井地区	
・市民の森、ふれあいの樹林等：1地区 [実施箇所] 今宿地区	

■農地を守る 

<継続保有の促進>

16 農園付公園整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・農園付公園の基本設計：1箇所 [実施箇所] 南本宿町	

<農業振興>

21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：1件	
[実施箇所] 川島町	

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・地域の農地管理を行う団体への支援：1団体	
[実施箇所] 西谷農業専用地区協議会（※保土ヶ谷区、旭区）	
24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・水田保全承認面積：0.9ha	
[実施箇所] 下川井町、矢指町	
26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：2地区	
[実施箇所] 下川井町、西谷農業専用地区（※保土ヶ谷区、旭区）	
・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：2地区	
[実施箇所] 上川井農業専用地区協議会、 西谷農業専用地区協議会（※保土ヶ谷区、旭区）	
27 環境配慮型施設整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・牧草による環境対策等：5地区	
[実施箇所] 上川井町、下川井町（3件）、今宿南町	

<担い手育成>

31 農地貸付促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・6年以上の長期貸付を開始した農地：2.0ha	
[実施箇所] 上川井町、川井宿町、川井本町、下川井町	

4 各区の実績

(8) 旭区

<確実な担保>

32 市民農園用地取得事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
・用地の取得：1箇所	
[実施箇所] 南本宿町	
33 農地流動化促進事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
・新規の農地貸借：1.0ha	
[実施箇所] 今宿南町、上川井町、下川井町	

■緑をつくる



<緑化推進>

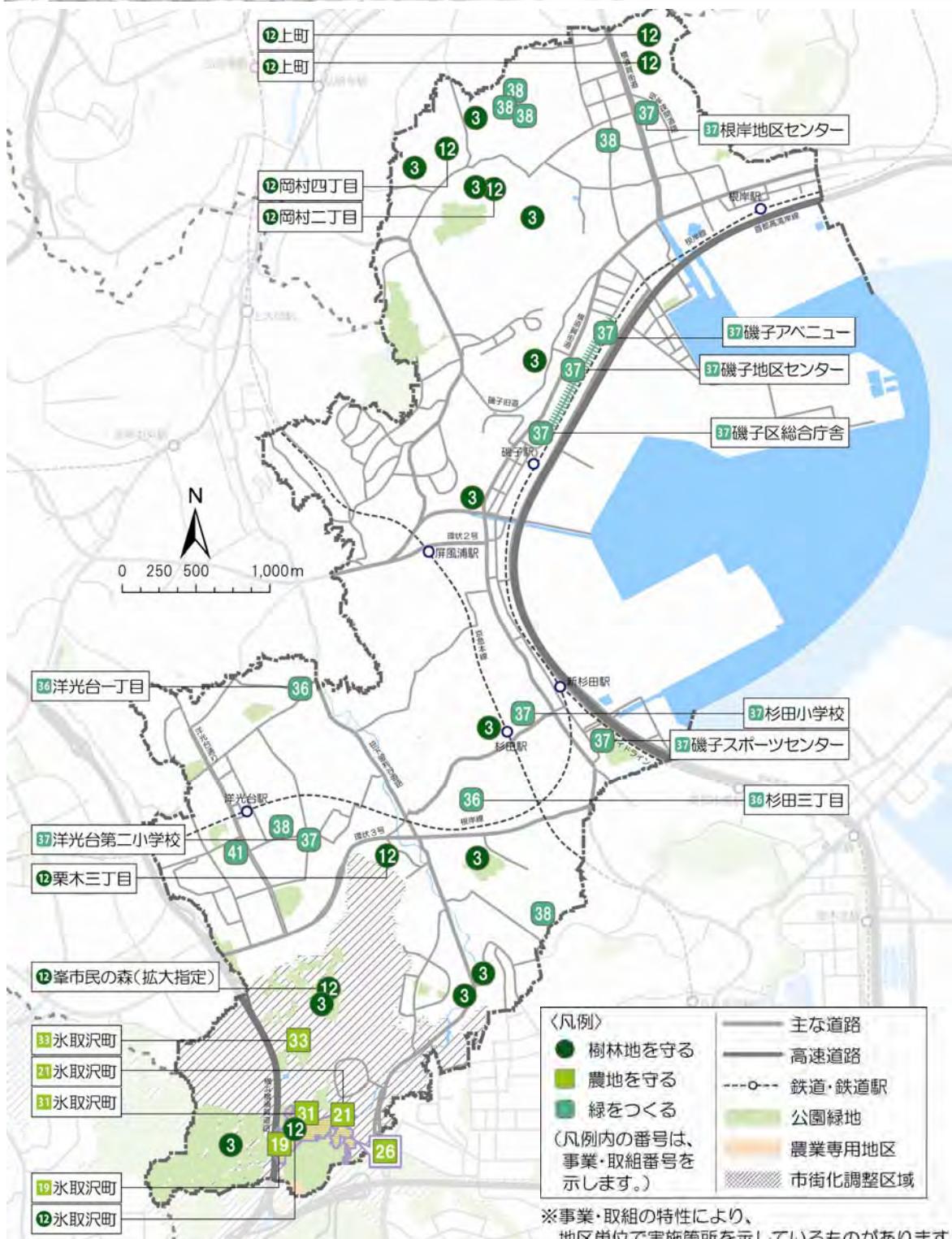
35 地域緑のまちづくり事業	◎ : 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■地域緑化計画策定事業	
・地域緑化計画策定の取組	
—平成21・22年度から継続して取り組んでいる地区：2地区	
[実施箇所] 上白根国際地区、白根台第九地区	
■地域緑化推進事業	
・地域緑化計画に基づく緑化整備の実施：2地区	
[実施箇所] 上白根国際地区、白根台第九地区	
36 民有地緑化助成事業	◎ : 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■名木古木保存事業	
・名木古木の新規指定：1本	
[実施箇所] 上川井町	
・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：3本	
[実施箇所] 下川井町（3本）	
■記念樹等生産配布事業	
・人生記念樹等の配布：1,262本	

37	公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の緑化：5箇所		
[実施箇所] 旭図書館、上白根小学校、中沢小学校、旭中学校 ほか		
一うち公立保育園の園庭芝生化：1園		
[実施箇所] 左近山保育園		
38	公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の植栽地管理：21箇所		
[実施箇所] 川井宿保育園、若葉台保育園、旭スポーツセンター、今宿地区センター、希望が丘地区センター、こども自然公園青少年野外活動センター、都岡スポーツ広場 ほか		
39	いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・街路樹の計画的なせん定：6路線		
41	建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）	・：事業費のないもの
・基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：2件		
[実施箇所] 四季美台、善部町		

(9) 磯子区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- 平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- 凡例内の番号は、P4-35～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-34 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



＜維持管理推進＞

③ 緑地再生等管理事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：9箇所

[実施箇所] 氷取沢市民の森、峯市民の森、岡村一丁目緑地、岡村四丁目緑地、
上中里町緑地、杉田九丁目緑地、杉田坪呑緑地、中原四丁目緑地、
森浅間社緑地

- ・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：3件

[実施箇所] 磯子四丁目、岡村二丁目、岡村三丁目

＜確実な担保＞

⑫ 特別緑地保全地区指定等拡充事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

■緑地保全制度による新規指定等

- ・市民の森：0.1ha

[実施箇所] 峰市民の森（拡大指定）

- ・緑地保存地区：1.3ha

[実施箇所] 岡村二丁目、岡村四丁目、上町（2件）、栗木三丁目

- ・源流の森：0.1ha

[実施箇所] 氷取沢町

■農地を守る



<農業振興>

19 収穫体験農園の開設支援事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・収穫体験農園の整備に対する助成：1箇所	
[実施箇所] 氷取沢町	
21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：1件	
[実施箇所] 氷取沢町	

<農地保全>

26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：1地区	
[実施箇所] 氷取沢農業専用地区	
・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：1地区	
[実施箇所] 氷取沢畠地かんがい施設利用組合	

<担い手育成>

31 農地貸付促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・6年以上の長期貸付を開始した農地：0.1ha	
[実施箇所] 氷取沢町	

<確実な担保>

33 農地流動化促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・新規の農地貸借：0.1ha	
[実施箇所] 氷取沢町	

■緑をつくる 

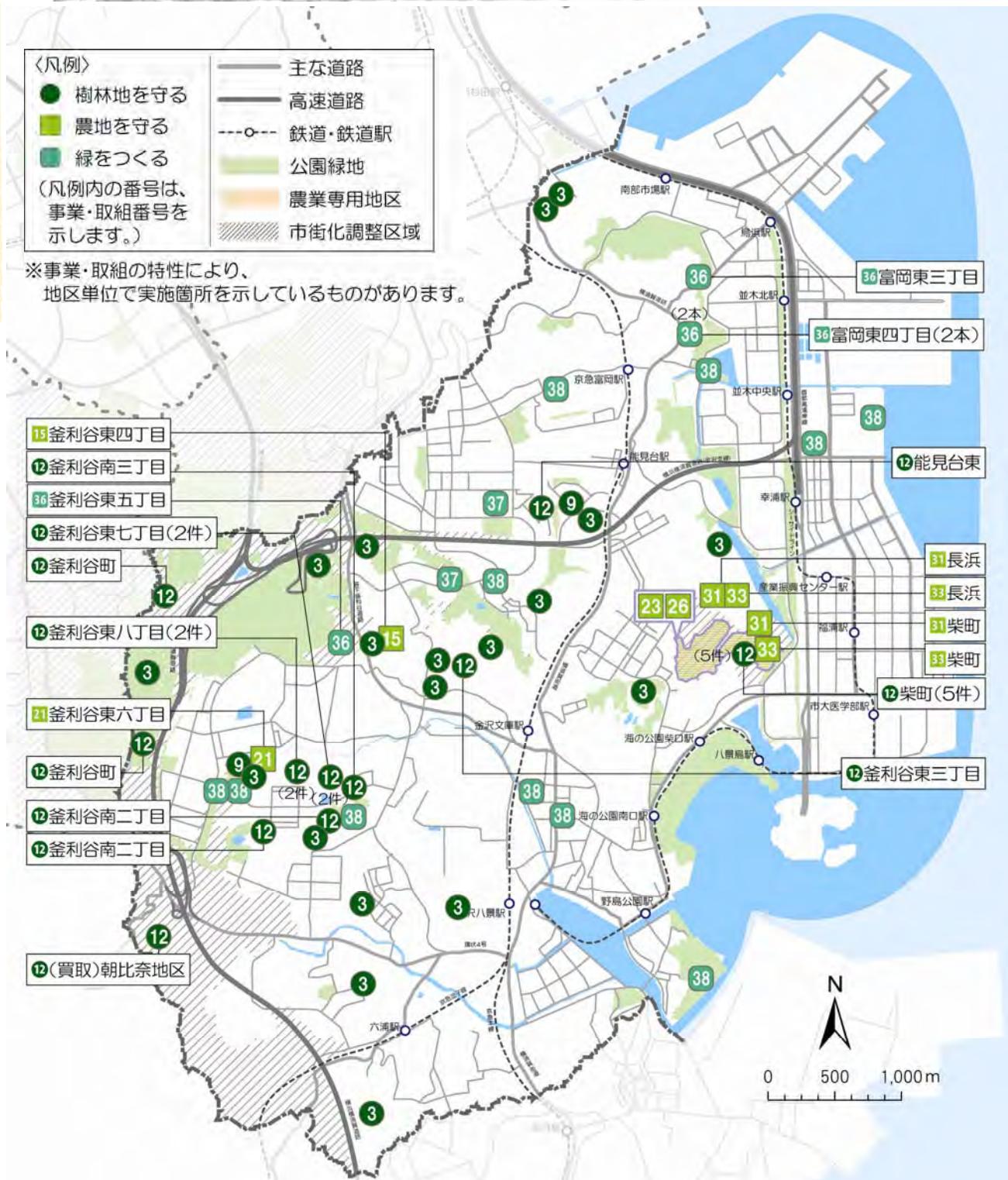
<緑化推進>

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■屋上緑化助成事業	
・屋上・壁面緑化に対する助成：2件	
[実施箇所] 杉田三丁目、洋光台一丁目	
■記念樹等生産配布事業	
・人生記念樹等の配布：598本	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の緑化：7箇所	
[実施箇所] 磯子区総合庁舎、杉田小学校、洋光台第二小学校、磯子アベニュー、磯子スポーツセンター、磯子地区センター、根岸地区センター	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の植栽地管理：6箇所	
[実施箇所] 杉田保育園、滝頭保育園、東滝頭保育園、洋光台第二保育園、衛生研究所、脳血管医療センター	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・街路樹の計画的なせん定：8路線	
41 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）	・：事業費のないもの
・基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件	
[実施箇所] 洋光台五丁目	

(10) 金沢区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
 - ・凡例内の番号は、P4-39～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
 - ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-38 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

3

緑地再生等管理事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：14箇所

[実施箇所] 関ヶ谷市民の森、金沢市民の森、釜利谷市民の森、称名寺市民の森、片吹緑地、釜利谷緑地、釜利谷東四丁目緑地、釜利谷南二丁目緑地、柴・長浜緑地、大道二丁目緑地、富岡東一丁目緑地、能見台六丁目緑地、六浦緑地、六浦二丁目緑地

- ・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：5件

[実施箇所] 釜利谷東三丁目、釜利谷東四丁目、富岡東一丁目、能見台東、六浦南四丁目

<利活用促進>

9

間伐材資源循環事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・森づくり団体への間伐材チップ化作業支援：10回

[実施箇所] 関ヶ谷市民の森、緑地保存地区（能見台東）

<確実な担保>

12

特別緑地保全地区指定等拡充事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

■緑地保全制度による新規指定等

- ・緑地保存地区：7.4ha

[実施箇所] 釜利谷東三丁目、釜利谷東七丁目（2件）、釜利谷東八丁目（2件）、釜利谷南二丁目（2件）、釜利谷南三丁目、能見台東

- ・源流の森：2.8ha

[実施箇所] 釜利谷町（2件）、柴町（5件）

■不測の事態による買取希望等への対応

- ・特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：1 地区

[実施箇所] 朝比奈地区

■農地を守る 

<継続保有の促進>

15 生産緑地制度の活用	・：事業費のないもの
・生産緑地の追加指定：1件	
[実施箇所] 釜利谷東四丁目	

<農業振興>

21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：1件	
[実施箇所] 釜利谷東六丁目	

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・地域の農地管理を行う団体への支援：1団体	
[実施箇所] 柴農業機械利用組合	
26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：1地区	
[実施箇所] 柴農業専用地区	
・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：1地区	
[実施箇所] 横浜市金沢区柴土地改良区	

<担い手育成>

31 農地貸付促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・6年以上の長期貸付を開始した農地：0.3ha	
[実施箇所] 柴町、長浜	

<確実な担保>

33 農地流動化促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・新規の農地貸借：0.2ha	
[実施箇所] 柴町、長浜	

■緑をつくる 

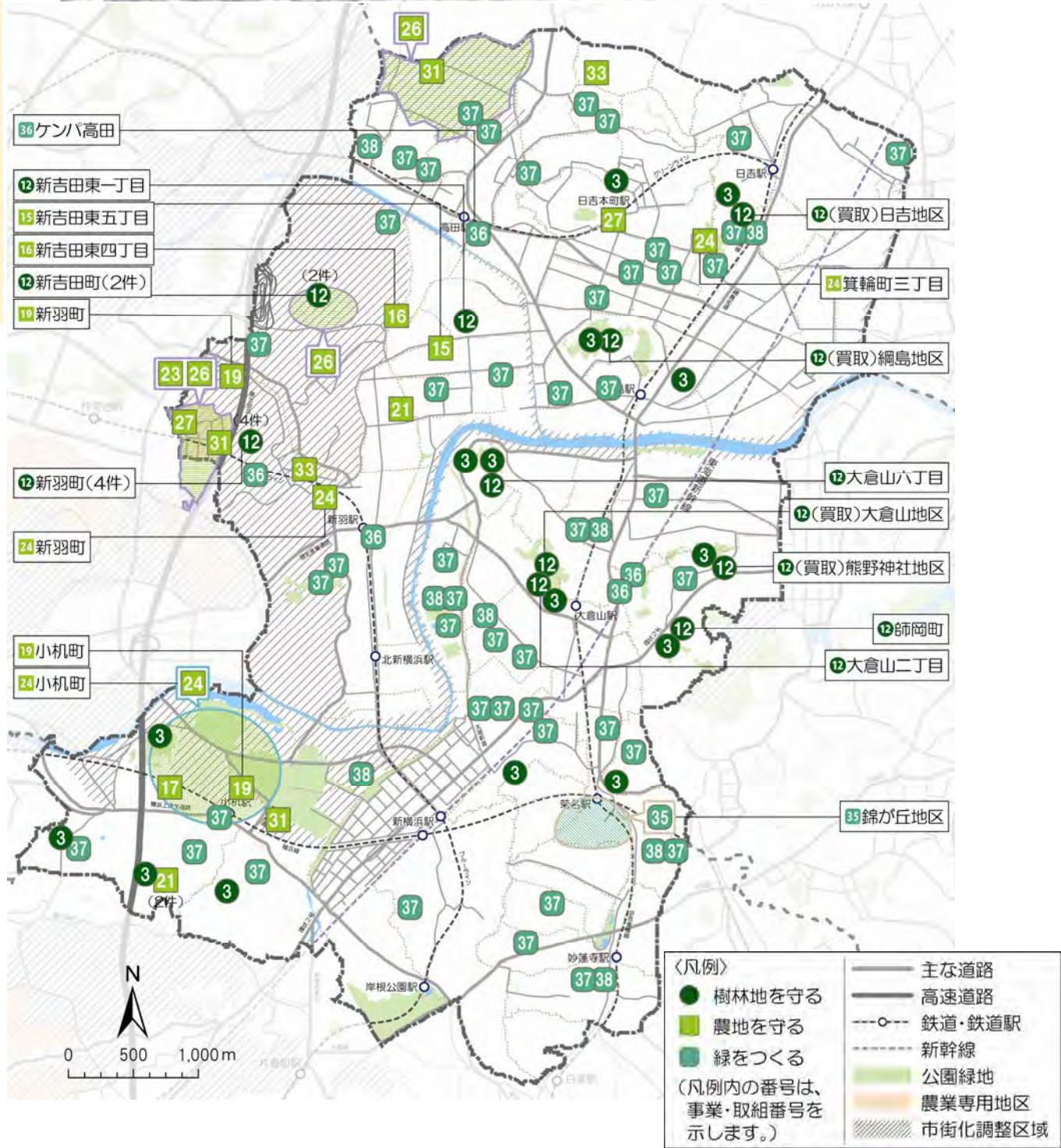
<緑化推進>

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■名木古木保存事業	
・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：4本 [実施箇所] 釜利谷東五丁目、富岡東三丁目、富岡東四丁目（2本）	
■記念樹等生産配布事業	
・人生記念樹等の配布：702本	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の緑化：2箇所 [実施箇所] 能見台南小学校 ほか	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の植栽地管理：11箇所 [実施箇所] 金沢区総合庁舎、八景小学校、釜利谷地域ケアプラザ、 富岡東地域ケアプラザ、西金沢地域ケアプラザ、 野島青少年研修センター ほか	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・街路樹の計画的なせん定：5路線	

(11) 港北区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
 - ・凡例内の番号は、P4-43～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
 - ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-42 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

3 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：8箇所 [実施箇所] 熊野神社市民の森、小机城址市民の森、綱島市民の森、大曾根台緑地、 大倉山緑地、日吉緑地、大豆戸緑地、牢尻緑地	
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：7件 [実施箇所] 鳥山町、菊名五丁目、小机町（2件）、綱島東二丁目、日吉本町六丁目、 師岡町	

<確実な担保>

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・緑地保存地区：0.4ha [実施箇所] 大倉山二丁目、大倉山六丁目、新吉田東一丁目、師岡町	
・源流の森：2.5ha [実施箇所] 新吉田町（2件）、新羽町（4件）	
■不測の事態による買取希望等への対応	
・特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：3 地区 [実施箇所] 大倉山地区、熊野神社地区、日吉地区	
・市民の森、ふれあいの樹林等：1 地区 [実施箇所] 綱島地区	

■農地を守る 

<継続保有の促進>

15 生産緑地制度の活用	・：事業費のないもの
・生産緑地の追加指定：1件	
[実施箇所] 新吉田東五丁目	
16 農園付公園整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・農園付公園の基本設計：1箇所	
[実施箇所] 新吉田東四丁目	
17 特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件	
[実施箇所] 小机町	

<農業振興>

19 収穫体験農園の開設支援事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・収穫体験農園の整備に対する助成：2箇所	
[実施箇所] 小机町、新羽町	
21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)

- ・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：3件
- [実施箇所] 小机町（2件）、新吉田東八丁目

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・地域の農地管理を行う団体への支援：1団体	
[実施箇所] 新羽大熊農業専用地区協議会（※港北区、都筑区）	
24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)

- ・水田保全承認面積：1.1ha
- [実施箇所] 小机町、新羽町、箕輪町三丁目

26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
--------------------	----------------------

- ・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：3地区

[実施箇所] 新吉田町、高田町、新羽大熊農業専用地区（※港北区、都筑区）

- ・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：1地区

[実施箇所] 新羽大熊農業専用地区協議会（※港北区、都筑区）

27 環境配慮型施設整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
-----------------------	----------------------

- ・農薬飛散防止ネットの設置：2件

[実施箇所] 新羽町、日吉本町三丁目

＜担い手育成＞

31 農地貸付促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
--------------------	----------------------

- ・6年以上の長期貸付を開始した農地：0.6ha

[実施箇所] 高田町、鳥山町、新羽町

＜確実な担保＞

33 農地流動化促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
---------------------	----------------------

- ・新規の農地貸借：0.3ha

[実施箇所] 高田町、新羽町

■緑をつくる



＜緑化推進＞

35 地域緑のまちづくり事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
-----------------------	------------------------

■地域緑化計画策定事業

- ・地域緑化計画策定の取組

一平成21・22年度から継続して取り組んでいる地区：1地区

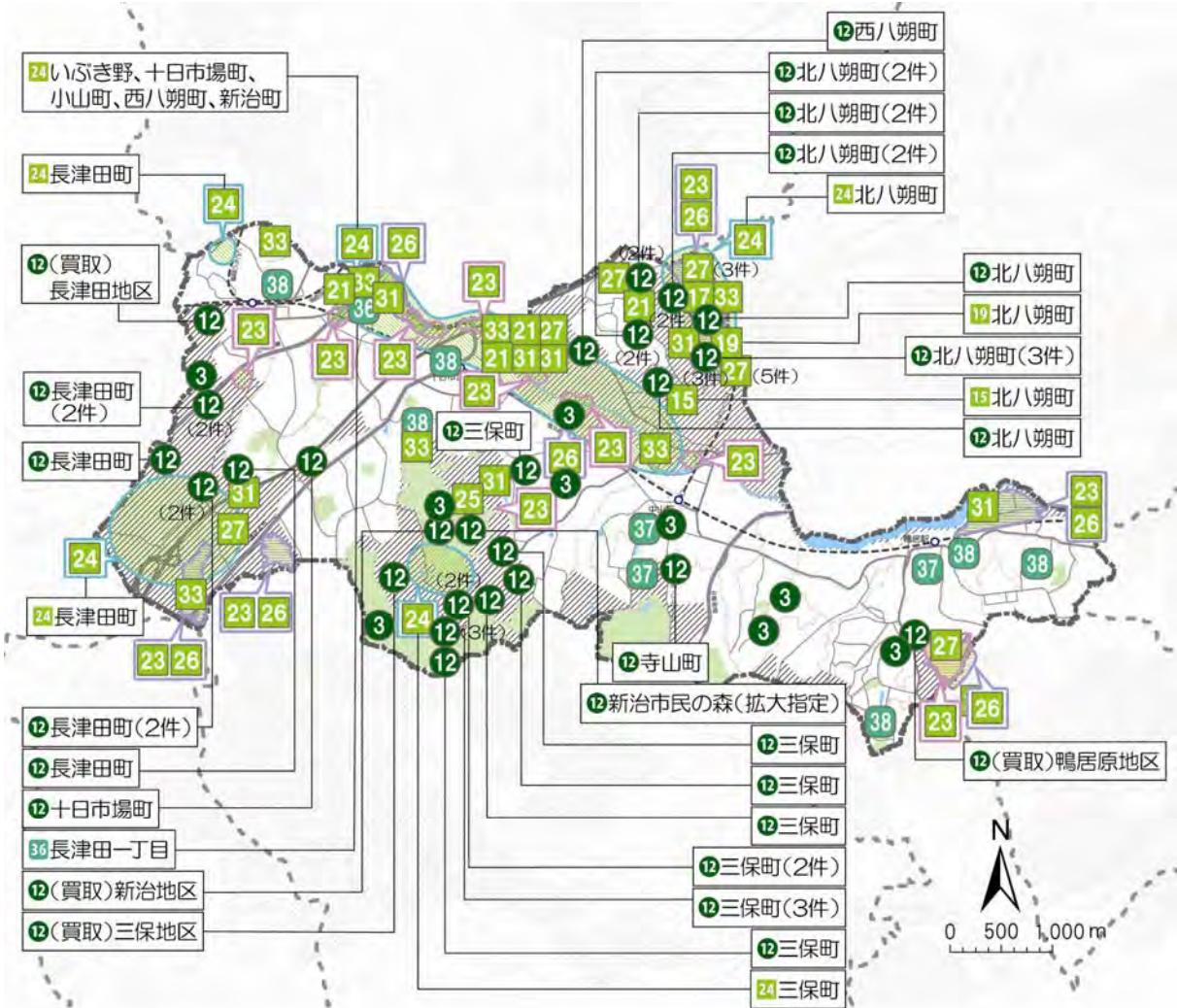
[実施箇所] 錦が丘地区

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<p>■保育園・幼稚園芝生化助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に対する助成：1園 <p>[実施箇所] ケンパ高田</p>	
<p>■区民花壇事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花壇整備等に対する助成：1箇所 <p>[実施箇所] 新羽町</p>	
<p>■名木古木保存事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名木古木の新規指定：1本 <p>[実施箇所] 師岡町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：2本 <p>[実施箇所] 新羽町、師岡町</p>	
<p>■記念樹等生産配布事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生記念樹等の配布：1,016本 	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の緑化：46箇所 <p>[実施箇所] 大曾根保育園、菊名保育園、小机小学校、篠原小学校、大豆戸小学校、 城郷中学校、高田中学校、綱島地区センター、樽町地域ケアプラザ、 港北スポーツセンター ほか</p>	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の植栽地管理：8箇所 <p>[実施箇所] 大曾根保育園、菊名保育園、港北保育園、高田保育園、太尾保育園、 箕輪保育園、港北土木事務所、横浜労災病院</p>	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の計画的なせん定：9路線 	

(12) 緑区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- 平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- 凡例内の番号は、P4-49～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



〈凡例〉	
●	樹林地を守る
■	農地を守る
■	緑をつくる
(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)	
主な道路	主な道路
高速道路	高速道路
---○---	鉄道・鉄道駅
■	公園緑地
■	農業専用地区
■	市街化調整区域

※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-48 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

③ 緑地再生等管理事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：6箇所

[実施箇所] 鴨居原市民の森、新治市民の森、三保市民の森、上山ふれあいの樹林、
上山・白山緑地、三保中道緑地

- ・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：3件

[実施箇所] 寺山町、長津田町、新治町

<確実な担保>

⑫ 特別緑地保全地区指定等拡充事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

■緑地保全制度による新規指定等

- ・市民の森：0.9ha

[実施箇所] 新治市民の森（拡大指定）

- ・緑地保存地区：0.1ha

[実施箇所] 寺山町、三保町

- ・源流の森：18.7ha

[実施箇所] 北八朔町（11件）、十日市場町、長津田町（6件）、西八朔町、
三保町（9件）

■不測の事態による買取希望等への対応

- ・特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：2 地区

[実施箇所] 鴨居原地区、三保地区

- ・市民の森、ふれあいの樹林等：2 地区

[実施箇所] 新治地区、長津田地区

■農地を守る 

<継続保有の促進>

15 生産緑地制度の活用	・：事業費のないもの
・生産緑地の追加指定：1件	
17 特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件	

<農業振興>

19 収穫体験農園の開設支援事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・収穫体験農園の整備に対する助成：1箇所	
21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：4件	

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・地域の農地管理を行う団体への支援：12団体	
24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・水田保全承認面積：32.9ha	

25 かんがい施設整備事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・かんがい施設の整備：1地区	
[実施箇所] 向原地区畠地かんがい組合	
26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：4地区	
[実施箇所] いぶき野、鴨居原農業専用地区（※神奈川区、緑区）、 鴨居東本郷農業専用地区、北八朔農業専用地区	
・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：4地区	
[実施箇所] 鴨居東本郷農業専用地区協議会、長津田台農業専用地区協議会、 新治水利組合、横浜市緑区鴨居原土地改良区（※緑区、神奈川区）	
27 環境配慮型施設整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・農薬飛散防止ネットの設置：11件	
[実施箇所] 北八朔町（10件）、小山町	
・牧草による環境対策等：2地区	
[実施箇所] 鴨居町、長津田町	

＜担い手育成＞

31 農地貸付促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・6年以上の長期貸付を開始した農地：2.7ha	
[実施箇所] いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、新治町、 東本郷町	

＜確実な担保＞

33 農地流動化促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・新規の農地貸借：3.0ha	
[実施箇所] いぶき野、北八朔町、小山町、十日市場町、長津田町、長津田三丁目、 新治町	

■緑をつくる



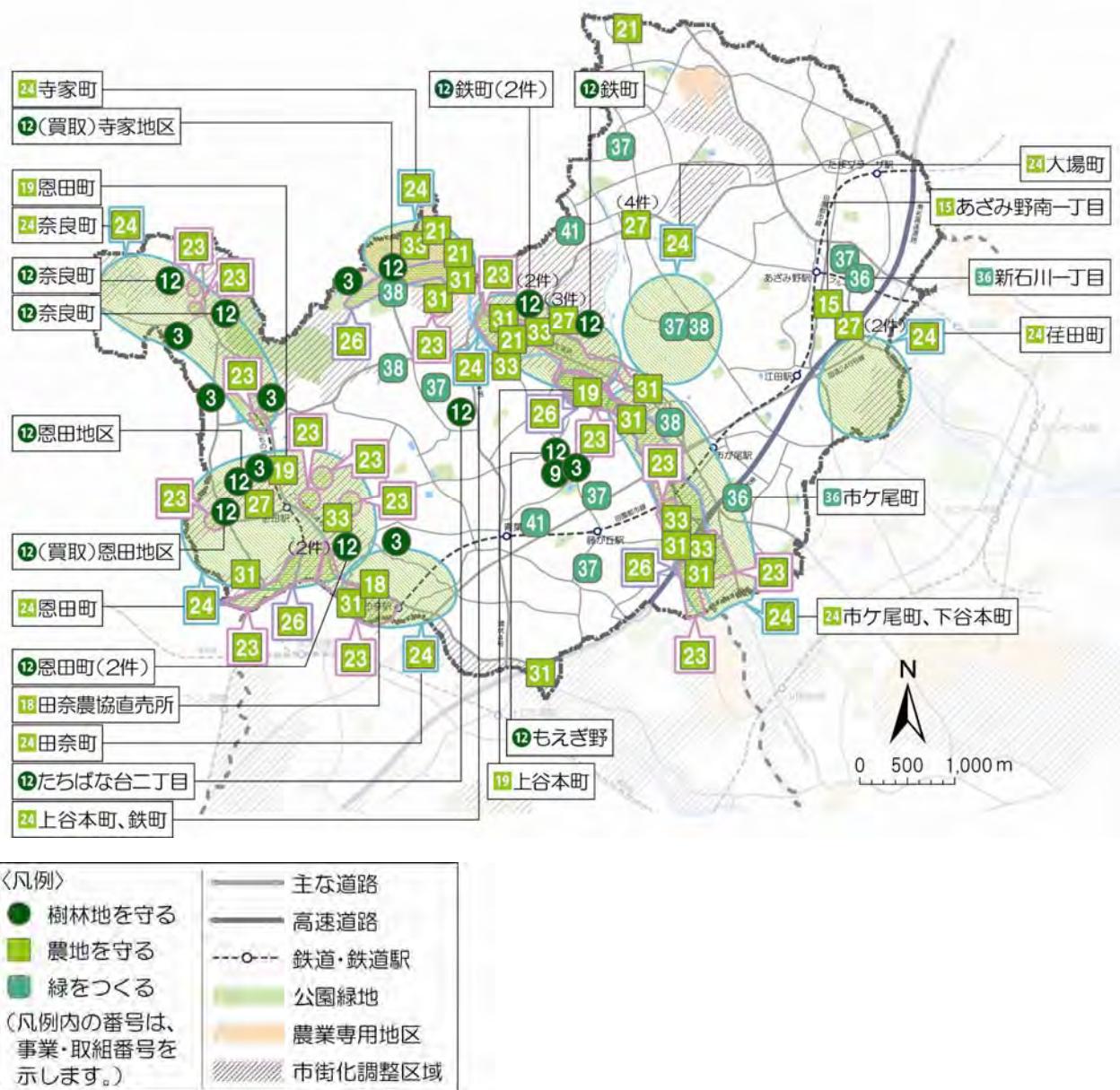
<緑化推進>

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■名木古木保存事業 <ul style="list-style-type: none">名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：1本	[実施箇所] 長津田一丁目
■記念樹等生産配布事業 <ul style="list-style-type: none">人生記念樹等の配布：775本	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none">公共施設の緑化：3箇所	[実施箇所] 緑区総合庁舎、鴨居小学校、森の台小学校
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none">公共施設の植栽地管理：6箇所	[実施箇所] 鴨居保育園、十日市場保育園、竹山保育園、長津田保育園、 緑土木事務所、みどりハイム
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<ul style="list-style-type: none">街路樹の計画的なせん定：11路線	

(13) 青葉区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
 - ・凡例内の番号は、P4-55～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
 - ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-54 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

③ 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：4箇所 [実施箇所] 寺家ふるさとの森、もえぎ野ふれあいの樹林、榎が丘緑地、恩田緑地	
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：3件 [実施箇所] 奈良町（2件）、奈良四丁目	

<利活用促進>

⑨ 間伐材資源循環事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・森づくり団体への間伐材チップ化作業支援：2回 [実施箇所] もえぎ野ふれあいの樹林	

<確実な担保>

⑫ 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・市民の森：1.5ha [実施箇所] 恩田地区	
・緑地保存地区：0.2ha [実施箇所] たちはな台二丁目、もえぎ野	
・源流の森：2.4ha [実施箇所] 恩田町（2件）、鉄町（3件）、奈良町（2件）	
■不測の事態による買取希望等への対応	
・市民の森、ふれあいの樹林等：2 地区 [実施箇所] 寺家地区、恩田地区	

■農地を守る 

<継続保有の促進>

15 生産緑地制度の活用	・：事業費のないもの
・生産緑地の追加指定：1件 [実施箇所] あざみ野南一丁目	

<農業振興>

18 共同直売所の設置支援事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・共同直売所の備品等に対する整備：1箇所 [実施箇所] 田奈農協直売所	
19 収穫体験農園の開設支援事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・収穫体験農園の整備に対する助成：2箇所 [実施箇所] 恩田町、上谷本町	
21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：4件 [実施箇所] 美しが丘西二丁目、鉄町、寺家町（2件）	

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・地域の農地管理を行う団体への支援：14団体 [実施箇所] 恩田水利組合、鍛冶谷戸耕作組合、上谷本地区農用地利用改善組合、鴨志田町上耕地水利組合、上和田堰水利組合、鉄大場市ヶ尾水利組合、じじ池水利組合、下市ヶ尾水利組合、杉山耕作組合、白山谷戸水利組合、苗万坂水利組合、仲居水利組合、奈良堰下水利組合、宮前水利組合、	
24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・水田保全承認面積：32.7ha [実施箇所] 市ヶ尾町、荏田町、大場町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町、田奈町、奈良町	

26 不法投棄対策事業

●：新規事業
(横浜みどり税充当)

- ・不法投棄監視警報装置設置の設置：1地区

[実施箇所] 上谷本町

- ・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：3地区

[実施箇所] 市ヶ尾町・上谷本町・下谷本町、寺家町、恩田町

27 環境配慮型施設整備事業

●：新規事業
(横浜みどり税充当)

- ・農薬飛散防止ネットの設置：10件

[実施箇所] あざみ野南一丁目（2件）、鉄町（3件）、黒須田（4件）、奈良二丁目

＜担い手育成＞

31 農地貸付促進事業

●：新規事業
(横浜みどり税充当)

- ・6年以上の長期貸付を開始した農地：4.3ha

[実施箇所] 市ヶ尾町、大場町、恩田町、上谷本町、鴨志田町、鉄町、さつきが丘、寺家町、下谷本町、田奈町

＜確実な担保＞

33 農地流動化促進事業

●：新規事業
(横浜みどり税充当)

- ・新規の農地貸借：1.9ha

[実施箇所] 市ヶ尾町、恩田町、上谷本町、鉄町、寺家町、下谷本町

■緑をつくる 

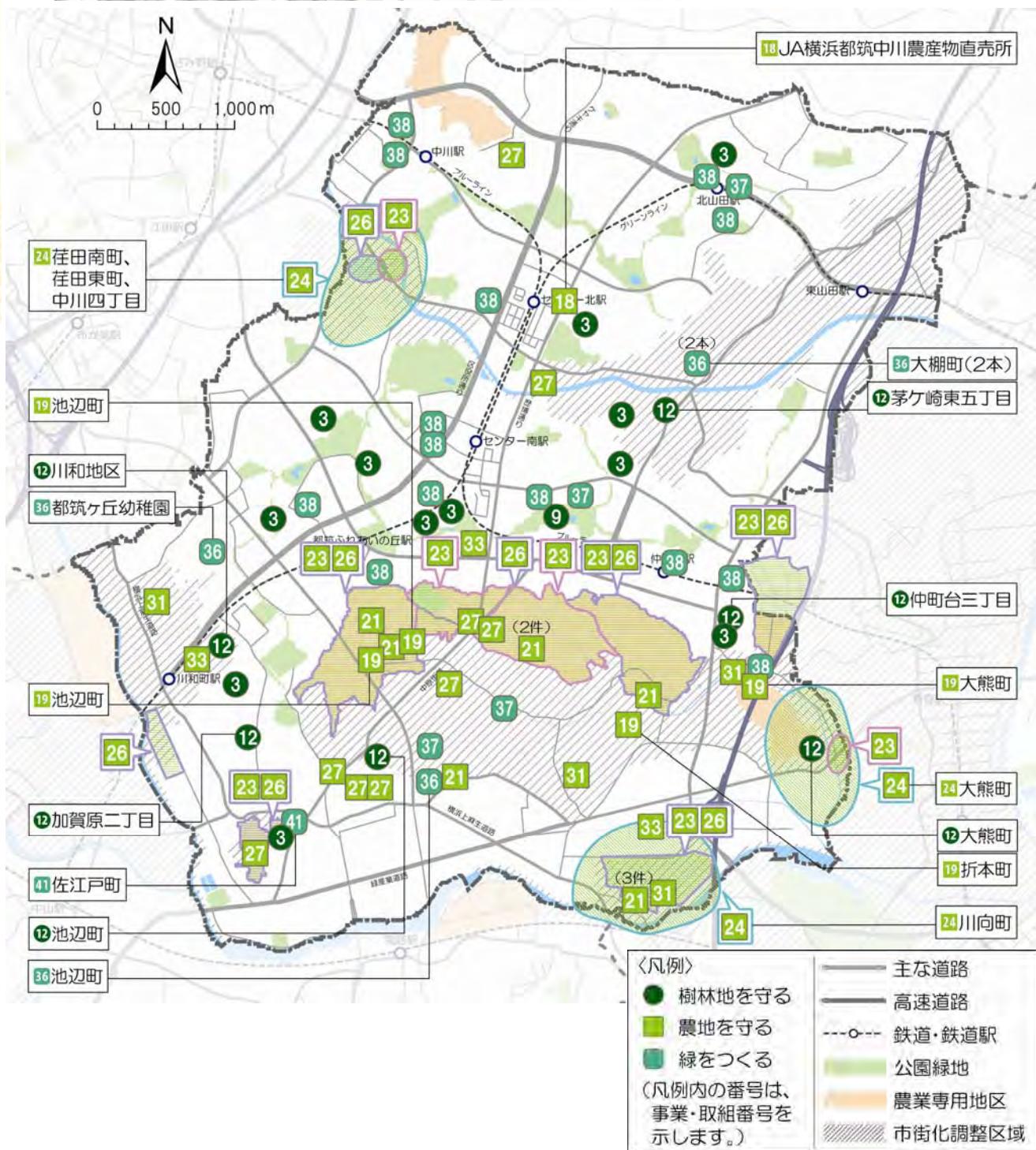
＜緑化推進＞

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■区民花壇事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・花壇整備等に対する助成：1箇所 	<p>[実施箇所] 新石川一丁目</p>
■屋上緑化助成事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上・壁面緑化に対する助成：1件 	<p>[実施箇所] 市ヶ尾町</p>
■記念樹等生産配布事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・人生記念樹等の配布：1,184本 	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の緑化：6箇所 	
<p>[実施箇所] 鴨志田第一小学校、すすき野小学校、藤が丘小学校、山内小学校、 大場みすずが丘地区センター、藤が丘地区センター</p>	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の植栽地管理：4箇所 	<p>[実施箇所] 鴨志田中学校、大場地域ケアプラザ、青葉消防署、鴨志田消防出張所</p>
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の計画的なせん定：8路線 	
41 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に 対する固定資産税等の軽減）	◇：事業費のないもの
<ul style="list-style-type: none"> ・基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：2件 	<p>[実施箇所] 青葉台一丁目、鉄町</p>

(14) 都筑区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
 - ・凡例内の番号は、P4-61～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
 - ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



※事業・取組の特性により、
地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-60 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

③ 緑地再生等管理事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：2箇所

[実施箇所] 川和緑地、茅ヶ崎緑地

- ・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：10件

[実施箇所] 荏田東二丁目、荏田東三丁目、大棚西、北山田七丁目、佐江戸町、大丸、茅ヶ崎東一丁目、茅ヶ崎南四丁目（2件）、仲町台三丁目

<利活用促進>

⑨ 間伐材資源循環事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・森づくり団体への間伐材チップ化作業支援：5回

[実施箇所] 茅ヶ崎公園

<確実な担保>

⑫ 特別緑地保全地区指定等拡充事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

■緑地保全制度による新規指定等

- ・市民の森：3.5ha

[実施箇所] 川和地区

- ・緑地保存地区：1.3ha

[実施箇所] 池辺町、加賀原二丁目、仲町台三丁目

- ・源流の森：0.6ha

[実施箇所] 大熊町、茅ヶ崎東五丁目

■農地を守る 

<農業振興>

18 共同直売所の設置支援事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・共同直売所の備品等に対する整備：1箇所	
[実施箇所] JA横浜都筑中川農産物直売所	
19 収穫体験農園の開設支援事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・収穫体験農園の整備に対する助成：4箇所	
[実施箇所] 池辺町（2件）、大熊町、折本町	
21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：9件	
[実施箇所] 池辺町（3件）、折本町、川向町（3件）、東方町（2件）	

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・地域の農地管理を行う団体への支援：9団体	
[実施箇所] 荏田中川水利組合、大熊下水利組合、折本農業専用地区協議会、 川向水利組合、佐江戸宮原農用地利用改善組合、 新羽大熊農業専用地区協議会（※港北区、都筑区）、 横浜市都筑区都田第一土地改良区、横浜市都筑区東方西部土地改良区、 横浜市都筑区東方北部土地改良区	
24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・水田保全承認面積：6.9ha	
[実施箇所] 荏田東町、荏田南町、大熊町、川向町、中川四丁目	

26 不法投棄対策事業

●：新規事業
(横浜みどり税充当)

- ・不法投棄監視警報装置設置の設置：2地区

[実施箇所] 折本町、川和町

- ・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：5地区

[実施箇所] 折本農業専用地区、川向町、佐江戸宮原農業専用地区、
東方農業専用地区、新羽大熊農業専用地区（※港北区、都筑区）

- ・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：5地区

[実施箇所] 荏田中川水利組合、折本農業専用地区協議会、
佐江戸宮原農用地利用改善組合、
新羽大熊農業専用地区協議会（※港北区、都筑区）、
横浜市都筑区都田第一土地改良区

27 環境配慮型施設整備事業

●：新規事業
(横浜みどり税充当)

- ・農薬飛散防止ネットの設置：9件

[実施箇所] 大棚町、池辺町（4件）、牛久保二丁目、佐江戸町、東方町（2件）

<担い手育成>

31 農地貸付促進事業

●：新規事業
(横浜みどり税充当)

- ・6年以上の長期貸付を開始した農地：1.7ha

[実施箇所] 折本町、川向町、川和町、東方町

<確実な担保>

33 農地流動化促進事業

●：新規事業
(横浜みどり税充当)

- ・新規の農地貸借：1.3ha

[実施箇所] 川向町、川和町、東方町

■緑をつくる



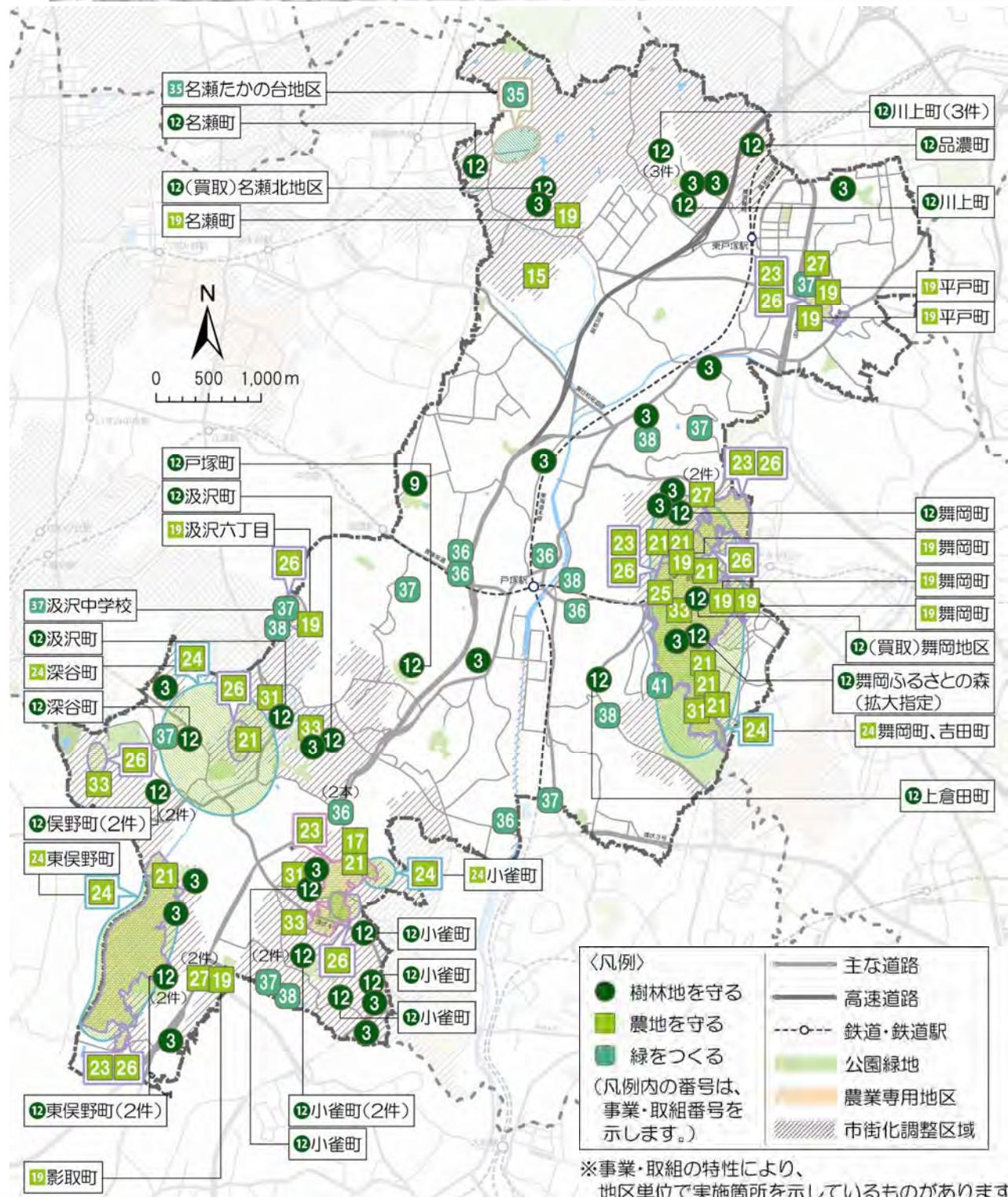
<緑化推進>

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■保育園・幼稚園芝生化助成事業 <ul style="list-style-type: none"> 民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に対する助成：1園 <p>[実施箇所] 都筑ヶ丘幼稚園</p>	
■名木古木保存事業 <ul style="list-style-type: none"> 名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：3本 <p>[実施箇所] 池辺町、大棚町（2本）</p>	
■記念樹等生産配布事業 <ul style="list-style-type: none"> 人生記念樹等の配布：1,171本 	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の緑化：4箇所 <p>[実施箇所] 茅ヶ崎中学校、都田中学校、都筑スポーツセンター ほか</p>	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の植栽地管理：14箇所 <p>[実施箇所] 都筑区総合庁舎、都筑文化芸術活動場、大熊保育園、茅ヶ崎保育園、北山田地区センター、仲町台地区センター ほか</p>	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<ul style="list-style-type: none"> 街路樹の計画的なせん定：6路線 	
41 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）	・：事業費のないもの
<ul style="list-style-type: none"> 基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 <p>[実施箇所] 佐江戸町</p>	

(15) 戸塚区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
 - ・凡例内の番号は、P4-67～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
 - ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P 4-66 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

3 緑地再生等管理事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：8箇所

[実施箇所] ウィトリッヒの森、舞岡ふるさとの森、まさかりが淵市民の森、
上矢部ふれあいの樹林、名瀬緑地、富塚八幡緑地、舞岡町緑地、
俣野緑地

- ・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：11件

[実施箇所] 影取町、柏尾町、上柏尾町、川上町（2件）、小雀町（3件）、
平戸三丁目、深谷町、舞岡町

<利活用促進>

9 間伐材資源循環事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・森づくり団体への間伐材チップ化作業支援：2回

[実施箇所] 谷矢部池公園

<確実な担保>

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・市民の森：0.3ha [実施箇所] 舞岡ふるさとの森（拡大指定）	
・緑地保存地区：0.7ha [実施箇所] 上倉田町、川上町、戸塚町、深谷町	
・源流の森：7.4ha [実施箇所] 川上町（3件）、汲沢町（2件）、小雀町（6件）、品濃町、名瀬町、東俣野町（2件）、舞岡町、俣野町（2件）	
■不測の事態による買取希望等への対応	
・特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：2地区 [実施箇所] 名瀬北地区、舞岡地区	

■農地を守る 

<継続保有の促進>

15 生産緑地制度の活用	・：事業費のないもの
・生産緑地の追加指定：1件 [実施箇所] 上矢部町	
17 特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件 [実施箇所] 小雀町	

<農業振興>

19 収穫体験農園の開設支援事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・収穫体験農園の整備に対する助成：8箇所 [実施箇所] 影取町、汲沢六丁目、名瀬町、平戸町（2箇所）、舞岡町（3箇所）	

21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
--------------------------	------------------------

- ・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：9件

[実施箇所] 小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町（6件）

＜農地保全＞

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
--------------------------	------------------------

- ・地域の農地管理を行う団体への支援：4団体

[実施箇所] 東俣野農業専用地区協議会、横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、
横浜市戸塚区平戸農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会

24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
----------------------	----------------------

- ・水田保全承認面積：9.1ha

[実施箇所] 小雀町、東俣野町、深谷町、舞岡町、吉田町

25 かんがい施設整備事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
----------------------	------------------------

- ・かんがい施設の整備：1地区

[実施箇所] 熊の堂水利組合

26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
--------------------	----------------------

- ・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：7地区

[実施箇所] 汲沢町、小雀農業専用地区、東俣野農業専用地区、
平戸農業専用地区、深谷町、舞岡農業専用地区、俣野町

- ・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：4地区

[実施箇所] 東俣野農業専用地区協議会、横浜市戸塚区小雀農業専用地区協議会、
横浜市戸塚区平戸農業専用地区協議会、横浜市舞岡農業専用地区協議会

27 環境配慮型施設整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
-----------------------	----------------------

- ・農薬飛散防止ネットの設置：9件

[実施箇所] 影取町（2件）、平戸町（5件）、舞岡町（2件）

4 各区の実績
(15) 戸塚区

<担い手育成>

31 農地貸付促進事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・6年以上の長期貸付を開始した農地 : 1.4ha <p>[実施箇所] 汲沢町、小雀町、舞岡町</p>	

<確実な担保>

33 農地流動化促進事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・新規の農地貸借 : 1.2ha <p>[実施箇所] 汲沢町、小雀町、舞岡町、俣野町</p>	

■緑をつくる



<緑化推進>

35 地域緑のまちづくり事業	◎ : 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<p>■地域緑化計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化計画策定の取組 <p>—平成21・22年度から継続して取り組んでいる地区 : 1地区</p> <p>[実施箇所] 名瀬たかの台地区</p>	
<p>■地域緑化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化計画に基づく緑化整備の実施 : 1地区 <p>[実施箇所] 名瀬たかの台地区</p>	
36 民有地緑化助成事業	◎ : 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<p>■区民花壇事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花壇整備等に対する助成 : 1箇所 <p>[実施箇所] 上倉田町</p>	
<p>■生垣設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生垣設置に対する助成 : 1箇所 <p>[実施箇所] 矢部町</p>	
<p>■屋上緑化助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上・壁面緑化に対する助成 : 1件 <p>[実施箇所] 戸塚町</p>	

■名木古木保存事業

- ・名木古木の新規指定：1本

[実施箇所] 矢部町

- ・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成：3本

[実施箇所] 影取町（2本）、平戸町

■記念樹等生産配布事業

- ・人生記念樹等の配布：1,083本

37 公共施設緑化事業

◇：新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- ・公共施設の緑化：7箇所

[実施箇所] 柏尾小学校、東汲沢小学校、平戸小学校、深谷台小学校、豊田小学校、
小雀浄水場 ほか

一うち公立小中学校の校庭芝生化：1校

[実施箇所] 汲沢中学校

38 公共施設緑化管理事業

◇：新規事業等
(横浜みどり税非充当)

- ・公共施設の植栽地管理：5箇所

[実施箇所] 東戸塚小学校、倉田小学校、汲沢中学校、舞岡柏尾地域ケアプラザ、
小雀浄水場

39 いきいき街路樹事業

◎：拡充事業
(横浜みどり税一部充当)

- ・街路樹の計画的なせん定：2路線

41 建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に
対する固定資産税等の軽減）

・：事業費のないもの

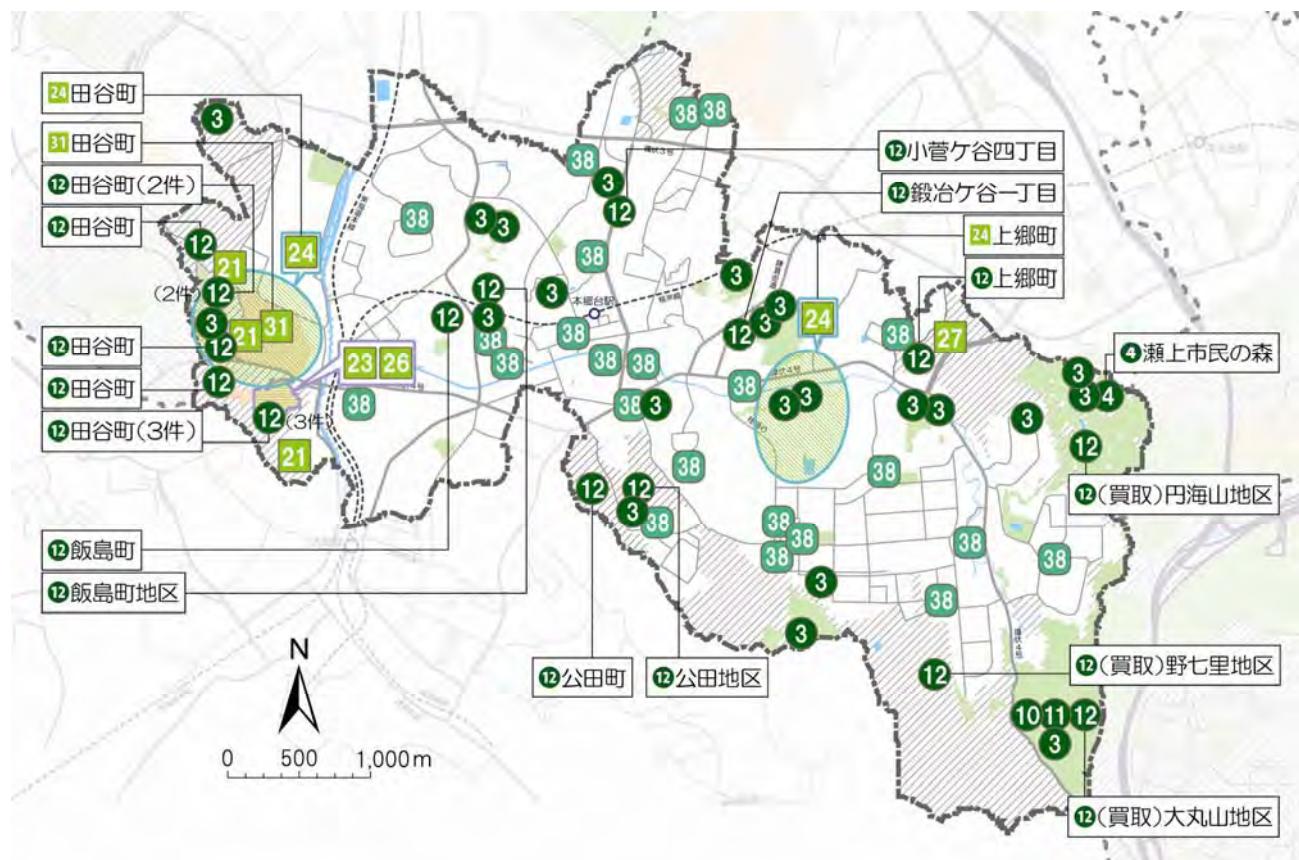
- ・基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：1件

[実施箇所] 舞岡町

(16) 栄区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- 平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- 凡例内の番号は、P4-73～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



〈凡例〉	
●	樹林地を守る
■	農地を守る
■	緑をつくる
(凡例内の番号は、事業・取組番号を示します。)	
—	主な道路
—	高速道路
---○---	鉄道・鉄道駅
■	公園緑地
■	農業専用地区
■	市街化調整区域

※事業・取組の特性により、地区単位で実施箇所を示しているものがあります。

平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-72 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



<維持管理推進>

3 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：10箇所	
[実施箇所] 横浜自然観察の森、荒井沢市民の森、飯島市民の森、 (仮称) 鍛冶ヶ谷市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森、 上郷・中野緑地、公田緑地、小菅ヶ谷四丁目緑地、庄戸二丁目緑地	
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：9件	
[実施箇所] 飯島町、鍛冶ヶ谷一丁目(2件)、金井町、亀井町、公田町(2件)、 田谷町、本郷台二丁目	
・市民の森等の斜面地での防災対策工事：3箇所	
[実施箇所] 飯島市民の森、上郷市民の森、瀬上市民の森	
4 市民協働による緑地維持管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・保全管理計画を策定した市民の森等：1箇所	
[実施箇所] 瀬上市民の森	

<利活用促進>

10 愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・森づくり団体の活動拠点の整備：1箇所	
[実施箇所] 横浜自然観察の森	
11 ウエルカムセンター整備事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・ウェルカムセンターの整備：1箇所	
[実施箇所] 横浜自然観察の森	

4 各区の実績
(16) 栄区

<確実な担保>

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・近郊緑地特別保全地区：5.4ha	
[実施箇所] 公田地区	
・特別緑地保全地区：6.7ha	
[実施箇所] 飯島町地区	
・緑地保存地区：0.8ha	
[実施箇所] 飯島町、鍛冶ヶ谷一丁目、小菅ヶ谷四丁目	
・源流の森：2.2ha	
[実施箇所] 上郷町、公田町、田谷町（8件）	
■不測の事態による買取希望等への対応	
・特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：3地区	
[実施箇所] 円海山地区、大丸山地区、野七里地区	

■農地を守る



<農業振興>

21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：3件	
[実施箇所] 田谷町（2件）、長尾台町	

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・地域の農地管理を行う団体への支援：1団体	
[実施箇所] 横浜市栄区長尾台土地改良区	
24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・水田保全承認面積：2.7ha	
[実施箇所] 上郷町、田谷町	

26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：1地区	
27 環境配慮型施設整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・牧草による環境対策等：1地区	

＜担い手育成＞

31 農地貸付促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・6年以上の長期貸付を開始した農地：0.2ha	
[実施箇所] 田谷町	

■緑をつくる



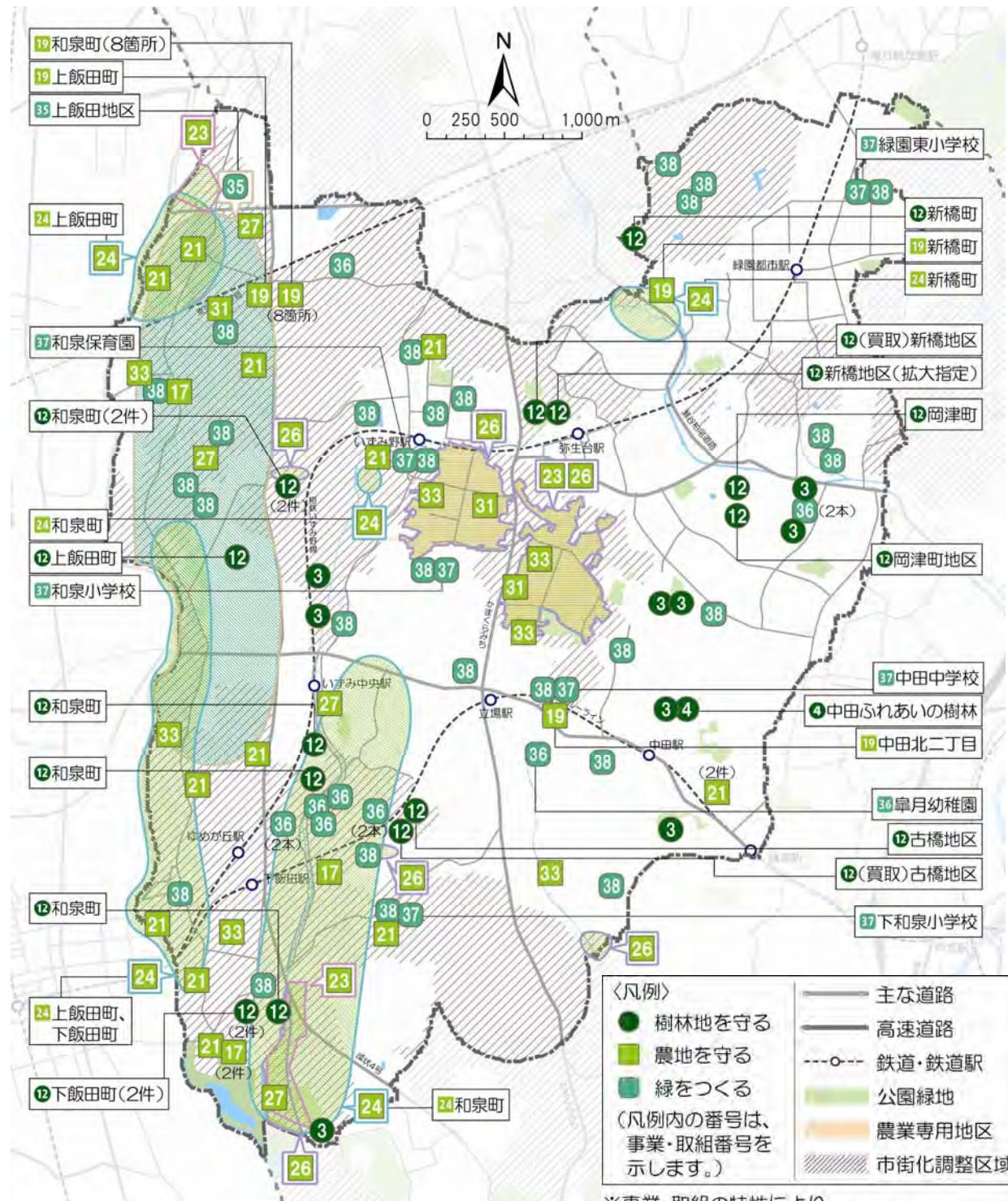
＜緑化推進＞

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■記念樹等生産配布事業	
・人生記念樹等の配布：586本	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の植栽地管理：23箇所	
[実施箇所] 栄区役所、栄図書館、上郷保育園、公田保育園、小山台小学校、 小菅ヶ谷小学校、桂台中学校、西本郷中学校、上郷地区センター ほか	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・街路樹の計画的なせん定：3路線	

(17) 泉区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- 平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
- 凡例内の番号は、P4-77～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
- なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P4-76 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



＜維持管理推進＞

3 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：3箇所	[実施箇所] 泉の森ふれあい樹林、鯉ヶ久保ふれあいの樹林、 中田ふれあいの樹林
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：5件	[実施箇所] 和泉町（3件）、岡津町（2件）
・市民の森等の斜面地での防災対策工事：1箇所	[実施箇所] 泉の森ふれあい樹林
4 市民協働による緑地維持管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・保全管理計画を策定した市民の森等：1箇所	[実施箇所] 中田ふれあいの樹林

4 各区の実績
(17) 泉区

<確実な担保>

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・特別緑地保全地区：4.0ha [実施箇所] 古橋地区、岡津町地区	
・市民の森：0.7ha [実施箇所] 新橋地区（拡大指定）	
・緑地保存地区：0.5ha [実施箇所] 和泉町、岡津町、上飯田町	
・源流の森：2.4ha [実施箇所] 和泉町（4件）、下飯田町（2件）、新橋町	
■不測の事態による買取希望等への対応	
・特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区：1地区 [実施箇所] 古橋地区	
・市民の森、ふれあいの樹林等：1地区 [実施箇所] 新橋地区	

■農地を守る



<継続保有の促進>

17 特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：5件 [実施箇所] 和泉町、上飯田町（2件）、下飯田町（2件）	

<農業振興>

19 収穫体験農園の開設支援事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・収穫体験農園の整備に対する助成：11箇所 [実施箇所] 和泉町（8箇所）、上飯田町、新橋町、中田北二丁目	

21 施設の省エネルギー化推進事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・温室の保温カーテンや、省エネ施設整備に対する助成：13件 <p>[実施箇所] 和泉町（3件）、上飯田町（3件）、下飯田町（5件）、 中田東一丁目（2件）</p>	

＜農地保全＞

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農地管理を行う団体への支援：3団体 <p>[実施箇所] 下和泉農地利用組合、柳明水利組合、横浜市泉区中田土地改良区</p>	
24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・水田保全承認面積：19.0ha <p>[実施箇所] 和泉町、上飯田町、下飯田町、新橋町</p>	
26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：5地区 <p>[実施箇所] 和泉町（2地区）、中田農業専用地区、中田南五丁目、 並木谷農業専用地区</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：2地区 <p>[実施箇所] 下和泉農地利用組合、横浜市泉区中田土地改良区</p>	
27 環境配慮型施設整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・農薬飛散防止ネットの設置：2件 <p>[実施箇所] 和泉町、上飯田町</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・牧草による環境対策等：2地区 <p>[実施箇所] 和泉町、上飯田町</p>	

＜担い手育成＞

31 農地貸付促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・6年以上の長期貸付を開始した農地：3.2ha <p>[実施箇所] 和泉町、上飯田町、中田町</p>	

<確実な担保>

33 農地流動化促進事業	● : 新規事業 (横浜みどり税充当)
<ul style="list-style-type: none"> ・新規の農地貸借 : 4.6ha <p>[実施箇所] 和泉町、上飯田町、下飯田町、中田町、中田北二丁目、中田南五丁目</p>	

■緑をつくる



<緑化推進>

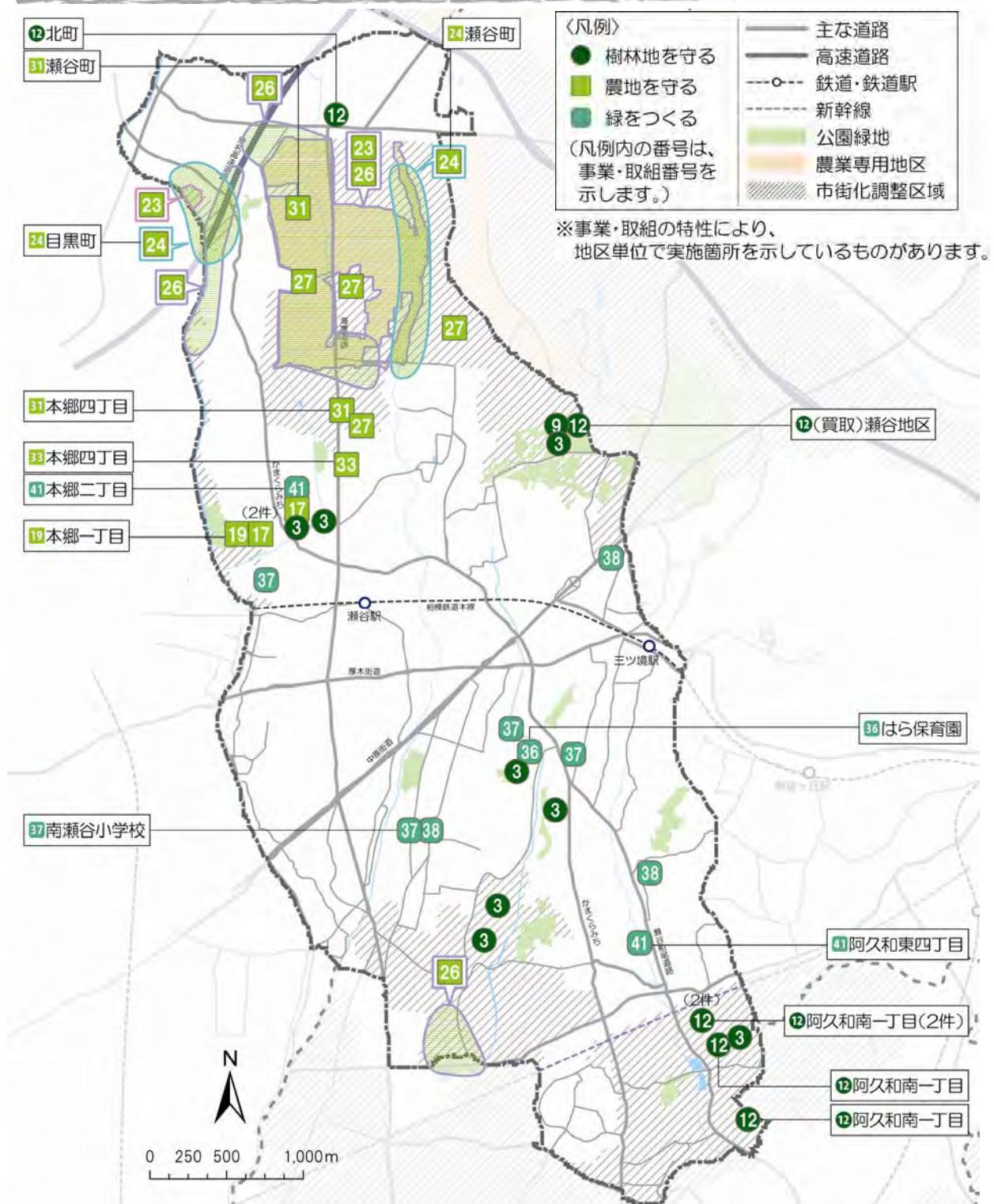
35 地域緑のまちづくり事業	◎ : 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<p>■地域緑化計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化計画策定の取組 <p>一平成21・22年度から継続して取り組んでいる地区 : 1地区</p> <p>[実施箇所] 上飯田地区</p>	
<p>■地域緑化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化計画に基づく緑化整備の実施 : 1地区 <p>[実施箇所] 上飯田地区</p>	
36 民有地緑化助成事業	◎ : 拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
<p>■保育園・幼稚園芝生化助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に対する助成 : 1園 <p>[実施箇所] 韶月幼稚園</p>	
<p>■名木古木保存事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名木古木の新規指定 : 4本 <p>[実施箇所] 和泉町(3本)、中田南一丁目</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・名木古木指定樹木の維持管理に対する助成 : 6本 <p>[実施箇所] 和泉町(4本)、岡津町(2本)</p>	
<p>■記念樹等生産配布事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生記念樹等の配布 : 782本 	

37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の緑化：5箇所	
ーうち公立保育園の園庭芝生化：1園	
[実施箇所] 和泉保育園	
ーうち公立小中学校の校庭芝生化：4校	
[実施箇所] 和泉小学校、下和泉小学校、緑園東小学校、中田中学校	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の植栽地管理：28箇所	
[実施箇所] 泉図書館、和泉保育園、飯田北小学校、いちょう小学校、松風学園、 戸塚・泉地域サービスセンター、神明台処分地 ほか	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・街路樹の計画的なせん定：1路線	

(18) 瀬谷区

平成 23 年度事業・取組実施箇所図

- ・平成 23 年度の事業・取組のおおまかな実施箇所を、区域図に示します。
 - ・凡例内の番号は、P4-83～の「平成 23 年度事業・取組実施状況」の事業・取組の番号に対応しています。
 - ・なお、主な実施箇所の町名、施設名等を、図中に掲載しています。



平成 23 年度事業・取組実施状況

- ・平成 23 年度の区内の実績を一覧にまとめます。
- ・P 4-82 の「平成 23 年度事業・取組実施箇所図」とあわせてご覧ください。

■樹林地を守る



＜維持管理推進＞

3 緑地再生等管理事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・市民の森等の樹林地の手入れや下草刈り：4箇所	
[実施箇所] 瀬谷市民の森、東山ふれあい樹林、宮沢ふれあい樹林、 宮沢・蟹沢緑地	
・緑地保全制度に指定している民有樹林地の管理助成：4件	
[実施箇所] 阿久和南一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、宮沢三丁目	

＜利活用促進＞

9 間伐材資源循環事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・森づくり団体への間伐材チップ化作業支援：14回	
[実施箇所] 瀬谷市民の森	

＜確実な担保＞

12 特別緑地保全地区指定等拡充事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■緑地保全制度による新規指定等	
・緑地保存地区：0.01ha	
[実施箇所] 北町	
・源流の森：1.9ha	
[実施箇所] 阿久和南一丁目（4件）	
■不測の事態による買取希望等への対応	
・市民の森、ふれあいの樹林等：1地区	
[実施箇所] 瀬谷地区	

■農地を守る 

<継続保有の促進>

17 特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：3件	
[実施箇所] 本郷一丁目（2件）、本郷二丁目	

<農業振興>

19 収穫体験農園の開設支援事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・収穫体験農園の整備に対する助成：1箇所	
[実施箇所] 本郷一丁目	

<農地保全>

23 集団的農地の維持管理奨励事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・地域の農地管理を行う団体への支援：2団体	
[実施箇所] 上瀬谷農業専用地区協議会、八幡耕地整理組合	
24 水田保全契約奨励事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・水田保全承認面積：3.2ha	
[実施箇所] 瀬谷町、目黒町	
26 不法投棄対策事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・不法投棄が多い農地での夜間パトロール：3地区	
[実施箇所] 上瀬谷農業専用地区、竹村町・上瀬谷町・目黒町、 宮沢四丁目・南瀬谷二丁目	
・地域団体によるパトロールや清掃活動等に対する支援：1地区	
[実施箇所] 上瀬谷農業専用地区協議会	
27 環境配慮型施設整備事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・牧草による環境対策等：4地区	
[実施箇所] 上瀬谷町、瀬谷町（2件）、本郷四丁目	

<担い手育成>

31 農地貸付促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・6年以上の長期貸付を開始した農地：0.9ha [実施箇所] 瀬谷町、本郷四丁目	

<確実な担保>

33 農地流動化促進事業	●：新規事業 (横浜みどり税充当)
・新規の農地貸借：0.7ha [実施箇所] 本郷四丁目	

■縁をつくる



<緑化推進>

36 民有地緑化助成事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
■保育園・幼稚園芝生化助成事業	
・民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に対する助成：1園 [実施箇所] はら保育園	
■記念樹等生産配布事業	
・人生記念樹等の配布：2,650本	
37 公共施設緑化事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の緑化：4箇所 [実施箇所] 大門小学校、瀬谷土木事務所 うち公立小中学校の校庭芝生化：1校 [実施箇所] 南瀬谷小学校	
38 公共施設緑化管理事業	◇：新規事業等 (横浜みどり税非充当)
・公共施設の植栽地管理：3箇所 [実施箇所] 南瀬谷小学校、阿久和消防出張所、資源循環局瀬谷事務所	
39 いきいき街路樹事業	◎：拡充事業 (横浜みどり税一部充当)
・街路樹の計画的なせん定：3路線	

41	建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）	・：事業費のないもの
・基準以上の緑化に対する固定資産税等の軽減を図る契約の締結：2件 [実施箇所] 阿久和東四丁目、本郷二丁目		

5 横浜みどりアップ計画市民推進会議

(1) 横浜みどりアップ計画市民推進会議の概要

横浜市では、横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の推進に向け、施策・事業の市民の皆さまへの情報提供、評価及び意見・提案等を市民参加により行うため、平成21年5月から横浜みどりアップ計画市民推進会議を設置しています。

【表】委員名簿（50音順・敬称略、平成24年3月31日時点）

氏名	役職等	備考
飯島章	横浜農業協同組合 常務理事	・「農地を守る」施策を検討する部会委員
池邊このみ	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授	・「緑をつくる」施策を検討する部会部会長 ・運営部会委員
伊藤博隆	公募市民	・広報部会部会長 ・「農地を守る」施策を検討する部会委員 ・見える化部会委員 ・運営部会委員
内田洋幸	元横浜農業経営士会 会長	・「農地を守る」施策を検討する部会委員
落合和夫	横浜商工会議所 事業推進部長	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員 （～平成23年6月1日）
川井啓介	市民の森愛護会連絡会 会長	・「樹林地を守る」施策を検討する部会委員
佐々木明男	横浜市町内会連合会 副会長	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員
清水靖枝	長屋門公園管理運営委員会 事務局長	・広報部会委員 ・「樹林地を守る」施策を検討する部会委員
進士五十八	東京農業大学 名誉教授	・座長 ・運営部会部会長
田中佳世子	公募市民	・「農地を守る」施策を検討する部会委員 ・見える化部会委員
鳴谷栄一	(株)農林中金総合研究所 特別理事	・副座長 ・「農地を守る」施策を検討する部会部会長 ・運営部会委員
中塚隆雄	公募市民	・「樹林地を守る」施策を検討する部会委員 ・見える化部会委員
望月正光	関東学院大学 経済学部長	・「樹林地を守る」施策を検討する部会委員 ・見える化部会部会長 ・運営部会委員
糸山民雄	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長	・「樹林地を守る」施策を検討する部会 部会長 ・運営部会委員
山口洋一	横浜商工会議所 事業推進部長	・「緑をつくる」施策を検討する部会委員
吉田洋子	公募市民	・広報部会委員 ・「緑をつくる」施策を検討する部会委員 ・見える化部会委員

(2) 取組内容

ア 市民推進会議

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の評価、提案等を「横浜みどりアップ計画市民推進会議平成22年度報告書」にまとめ、5月に公表しました。

また、みどりのオープンフォーラムや、広報誌「濱 RYOKU」などにより、市民の皆さんへ横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の情報提供を行いました。

イ 部会

・運営部会

平成23年度の報告書の内容について検討しました。

・「樹林地を守る」施策を検討する部会、「農地を守る」施策を検討する部会、「緑をつくる」施策を検討する部会

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の各事業分野ごとに、評価・提案について協議しました。

・見える化部会

横浜みどり税と横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）を市民の皆さんへわかりやすく伝える方法について協議しました。

・広報部会

市民推進会議の広報誌「濱 RYOKU」の編集を行いました。

ウ みどりのオープンフォーラム

「まちなかの緑を増やそう！！」をテーマに、横浜のまちなかの緑化事例紹介などを行い、グループディスカッションでは、まちなかの緑を増やすために必要なことについて、参加者の皆さんから様々なご意見をいただきました。



【写真】みどりのオープンフォーラムの様子（10月1日開催）

工 現地調査

横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の現場で活動する方々や、市民の皆さまの声を直接聞くため、現地調査を実施しました。

□第6回現地調査

「農地を守る」施策の実施箇所

- ・戸塚区名瀬、平戸の農地（平成24年1月18日）
- ・収穫体験農園の開設支援事業や、環境配慮型施設整備事業の現地を調査し、現場の方と意見交換を行いました。

□第7回現地調査

「樹林地を守る」施策の実施箇所

- ・都筑区北山田、茅ヶ崎南の樹林地（平成24年1月21日）
- ・樹林地維持管理助成制度の現地を調査し、現場の方と意見交換を行いました。



【写真】現地調査の様子（農地）
(戸塚区名瀬町)



【写真】現地調査の様子（農地）
(戸塚区平戸町)



【写真】現地調査の様子（樹林地）
(都筑区茅ヶ崎南)

才 広報誌の発行

「濱RYOKU」を4回発行しました。（5月、7月、9月、12月発行）



【図】「濱RYOKU」のイメージ

＜資料＞ 3か年の進捗状況(平成21年度～平成23年度)



横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の、平成21年度から平成23年度までの実績を一覧表にまとめます。

(1) 樹林地を守る



【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）

◇：新規事業等（横浜みどり税非充当）

・：事業費のないもの

※ 3か年事業費（見込）：平成21年度・22年度の決算額と、平成23年度の決算見込額（平成24年4月末現在）の合計値

施策方針/事業・取組	3か年事業費 (見込) ※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
	総額	横浜 みどり税 充当額		
継続保有の促進				
1	・緑地保全制度等の拡充	-	(-)	・制度運用 ・源流の森の指定要件を見直し、制度運用中 ・市民緑地、管理協定の制度活用の方向性を定めた ・緑地管理機構の指定基準を定めた
2	・篤志の奨励制度	-	(-)	・制度運用 ・制度の詳細について検討・調整
維持管理推進				
3	◎緑地再生等管理事業	1,030	(629)	・対象面積：1,299ha ・危険斜面整備：5箇所 ・市民の森・ふれあいの樹林等の維持管理作業 ：421.4ha（192箇所） ・樹林地維持管理助成：176件
4	◎市民協働による緑地維持管理事業	33	(30)	・推進 ・保全管理計画策定：9箇所
5	●森づくりリーダー等育成事業	8	(8)	・森づくりボランティア育成：250人 ・森づくりリーダー：25人 ・はまレンジャー：25人 ・森づくりボランティア育成：16人 ・森づくりリーダー：16人 ・はまレンジャー：16人
6	●樹林地管理団体活動助成事業	14	(14)	・愛護団体活動支援 ：延べ250団体 ・森づくりボランティア活動支援 ：延べ195団体 ・愛護団体活動支援 ：延べ72団体 ・森づくりボランティア活動支援 ：延べ67団体

<資料> 3か年の進捗状況(平成21年度～平成23年度)

施策方針/事業・取組	3か年事業費 (見込)※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
	総額	横浜 みどり税 充当額		
利活用促進				
7 ●森の楽しみづくり事業	80	(80)	・景観の森・生き物の森事業：25ha	・生態系に配慮した植樹等：14.3ha
			・森の中のプレイパーク事業：5箇所	・プレイパークイベント等：22箇所
			・森の収穫物体験事業：延べ20回	・森の収穫物体験イベント：延べ21回
			・里山ライフ体験事業：延べ20回	・里山ライフ体験イベント：延べ11回
			・健康の森事業：90回	・ウォーキングツアー等：38回
			・横浜の森の自然・生き物情報発信事業：推進	・ガイドマップ作成：10地域
			・間伐材活用クラフト作成事業：推進	・間伐材活用クラフトイベント：31回
			・森の恵み塾事業：3拠点で実施	・森林教室：149回
8 ●みどりの夢かなえます事業	10	(10)	・15件	・助成交付：10件
9 ◎間伐材資源循環事業	23	(20)	・推進	・間伐材チップ化作業支援：106回
				・間伐材マネジメント研修：6回(94人)
10 ◇愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	33	(-)	・5箇所	・整備：2箇所
11 ◇ウェルカムセンター整備事業	46	(-)	・5箇所	・整備：1箇所
確実な担保				
12 ◎特別緑地保全地区指定等拡充事業	17,918	(1,961)	・指定面積：1,119ha (買取計画面積：151ha)	・新規指定等：309.9ha ・買取対応：60.8ha
13 ・よこはま協働の森基金制度の見直し	-	(-)	・制度運用	・要綱改正をし、制度運用中
14 ・国への制度要望	-	(-)	・推進	・推進

(2) 農地を守る



【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
 ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

※ 3か年事業費（見込）：平成21年度・22年度の決算額と、平成23年度の決算見込額（平成24年4月末現在）の合計値

施策方針/事業・取組	3か年事業費 (見込)※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
	総額	横浜 みどり税 充当額		
継続保有の促進				
15	・生産緑地制度の活用	-	(-)	・制度運用 ・追加指定 ：18件、14,717m ² ・うち指定基準緩和による指定 ：2件、3,105m ²
16	●農園付公園整備事業	15	(15)	・35箇所、7.5ha ・事業推進：7箇所(3.4ha) ・うち基本設計：3箇所(1.6ha)
17	◇特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	1	(-)	・制度運用 ・特定農業用施設保全契約締結 ：71件
農業振興				
18	◇共同直売所の設置支援事業	37	(-)	・2箇所 ・備品等購入助成：14箇所
19	●収穫体験農園の開設支援事業	78	(78)	・23ha ・収穫体験農園整備 ：10.4ha(63箇所)
20	●食と農との連携事業	4	(4)	(15件) ・地産地消の連携の取組：6件
21	◇施設の省エネルギー化推進事業	128	(-)	・省エネ施設整備助成 ：107棟、7.2ha
22	◇生産用機械のリース方式による導入事業	74	(-)	・生産用機械の導入補助 ：45件
農地保全				
23	◇集団的農地の維持管理奨励事業	66	(-)	・集団的農地保全団体支援事業 ：622.6ha(48団体)
24	●水田保全契約奨励事業	90	(90)	・水田保全奨励面積：109.7ha
25	◇かんがい施設整備事業	36	(-)	・整備：4地区
26	●不法投棄対策事業	45	(45)	・不法投棄監視警報装置 ：10地区 等 ・監視警報装置設置：13地区 ・夜間警備委託：85地区 ・住民パトロール・清掃支援 ：45地区
27	●環境配慮型施設整備事業	93	93	・農薬飛散防止ネット設置 ：32ha ・農薬飛散防止ネット：16.9ha ・牧草による環境対策等 ：36地区 ・その他施設整備：7件

<資料> 3か年の進捗状況(平成21年度～平成23年度)

▲資料▼ 3か年の進捗状況(平成21年度～平成23年度)

施策方針/事業・取組		3か年事業費 (見込)※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
		総額	横浜 みどり税 充当額		
担い手育成					
28	◇機械作業受託組織育成事業	19	(-)	・3地区	・農業機械導入支援：1地区
29	◇担い手コーディネーター育成・派遣事業	3	(-)	・延べ10組織	・市民農園コーディネーター登録：11法人 ・援農コーディネーター協定締結：2組織
30	◇農業後継者・横浜型担い手育成事業	91	(-)	・担い手支援：100件等	・経営改善支援：161件 ・農業後継者育成支援：4人
31	●農地貸付促進事業	15	(15)	・70ha	・長期貸付農地：32.7ha
確実な担保					
32	●市民農園用地取得事業	503	(51)	・8ha	・事業推進：3.4ha ・うち用地取得：0.4ha
33	●農地流動化促進事業	6	(6)	・20ha	・新規の農地貸借：15.6ha
34	・国への制度要望	-	(-)	・推進	・推進

(3) 緑をつくる

【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
 ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

※ 3か年事業費（見込）：平成21年度・22年度の決算額と、平成23年度の決算見込額（平成24年4月末現在）の合計値

施策方針/事業・取組	3か年事業費 (見込)※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
	総額	横浜 みどり税 充当額		
緑化推進				
35 ◎地域緑のまちづくり事業	128	(128)	・地域緑化計画策定事業 ：30地区	・地域緑化計画策定の取組 ：12地区
			・地域緑化推進事業：18地区	・計画に基づく緑化整備 ：6地区
36 ◎民有地緑化助成事業	73	(36)	・園庭芝生化：100園 等	・保育園・幼稚園芝生化助成事業：32園
				・区民花壇事業：14箇所 ・生垣設置事業：49m ・屋上緑化助成事業：40件 ・名木古木保存事業 新規指定：155本 助成交付：78本 ・人生記念樹等配布 ：48,723本
37 ◇公共施設緑化事業	649	(-)	・10ha	・公共施設の緑化：6.4ha (うち 公立保育園の園庭芝生化 ：延べ35園 公立小中学校の校庭芝生化 ：延べ31校)
38 ◇公共施設緑化管理事業	213	(-)	・延べ615ha	・公共施設の植栽地管理 ：延べ65.2ha
39 ◎いきいき街路樹事業	495	(495)	・3年に1回程度	・街路樹せん定 ：37,264本（286路線）
40 ・民有地緑化の誘導等	-	(-)	・推進	・緑化地域制度等運用中
41 ・建築物緑化保全契約の 締結（建築物の敷地に 対する固定資産税等 の軽減）	-	(-)	・制度運用	・緑化保全契約締結 ：95件（50.1ha）
42 ◇みどりアップ広報事業	4	(-)	(推進)	・計画の目的、内容及び推進状況を実感していただけるよう、多様な手段で広報活動を推進



平成 24 年 6 月発行

横浜市環境創造局みどりアップ推進課

横浜市中区港町 1-1 電話 045-671-2712 ／ FAX 045-224-6627

＜資料＞ 3か年の進捗状況(平成21年度～平成23年度)



横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の、平成21年度から平成23年度までの実績を一覧表にまとめます。

(1) 樹林地を守る



【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）

◇：新規事業等（横浜みどり税非充当）

・：事業費のないもの

※ 3か年事業費（見込）：平成21年度・22年度の決算額と、平成23年度の決算見込額（平成24年4月末現在）の合計値

施策方針/事業・取組	3か年事業費 (見込)※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
	総額	横浜 みどり税 充当額		
継続保有の促進				
1	・緑地保全制度等の拡充	-	(-)	・制度運用 ・源流の森の指定要件を見直し、制度運用中 ・市民緑地、管理協定の制度活用の方向性を定めた ・緑地管理機構の指定基準を定めた
2	・篤志の奨励制度	-	(-)	・制度運用 ・制度の詳細について検討・調整
維持管理推進				
3	◎緑地再生等管理事業	1,030	(629)	・対象面積：1,299ha ・危険斜面整備：5箇所 ・市民の森・ふれあいの樹林等の維持管理作業 ：421.4ha（192箇所） ・樹林地維持管理助成：176件
4	◎市民協働による緑地維持管理事業	33	(30)	・推進 ・保全管理計画策定：9箇所
5	●森づくりリーダー等育成事業	8	(8)	・森づくりボランティア育成：250人 ・森づくりリーダー：25人 ・はまレンジャー：25人 ・森づくりボランティア育成：123人 ・森づくりリーダー育成：16人 ・はまレンジャー育成：16人
6	●樹林地管理団体活動助成事業	14	(14)	・愛護団体活動支援 ：延べ250団体 ・森づくりボランティア活動支援 ：延べ195団体 ・愛護団体活動支援 ：延べ72団体 ・森づくりボランティア活動支援 ：延べ67団体

<資料> 3か年の進捗状況(平成21年度～平成23年度)

施策方針/事業・取組	3か年事業費 (見込)※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
	総額	横浜 みどり税 充当額		
利活用促進				
7 ●森の楽しみづくり事業	80	(80)	・景観の森・生き物の森事業：25ha	・生態系に配慮した植樹等：14.3ha
			・森の中のプレイパーク事業：5箇所	・プレイパークイベント等：22箇所
			・森の収穫物体験事業：延べ20回	・森の収穫物体験イベント：延べ21回
			・里山ライフ体験事業：延べ20回	・里山ライフ体験イベント：延べ11回
			・健康の森事業：90回	・ウォーキングツアー等：38回
			・横浜の森の自然・生き物情報発信事業：推進	・ガイドマップ作成：10地域
			・間伐材活用クラフト作成事業：推進	・間伐材活用クラフトイベント：31回
			・森の恵み塾事業：3拠点で実施	・森林教室：149回
8 ●みどりの夢かなえます事業	10	(10)	・15件	・助成交付：10件
9 ◎間伐材資源循環事業	23	(20)	・推進	・間伐材チップ化作業支援：106回
				・間伐材マネジメント研修：6回(94人)
10 ◇愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	33	(-)	・5箇所	・整備：2箇所
11 ◇ウェルカムセンター整備事業	46	(-)	・5箇所	・整備：1箇所
確実な担保				
12 ◎特別緑地保全地区指定等拡充事業	17,918	(1,961)	・指定面積：1,119ha (買取計画面積：151ha)	・新規指定等：309.9ha ・買取対応：60.8ha
13 ・よこはま協働の森基金制度の見直し	-	(-)	・制度運用	・要綱改正をし、制度運用中
14 ・国への制度要望	-	(-)	・推進	・推進

(2) 農地を守る



【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
 ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

※ 3か年事業費（見込）：平成21年度・22年度の決算額と、平成23年度の決算見込額（平成24年4月末現在）の合計値

施策方針/事業・取組	3か年事業費 (見込)※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
	総額	横浜 みどり税 充当額		
継続保有の促進				
15	・生産緑地制度の活用	-	(-)	・制度運用 ・追加指定 ：18件、14,717m ² ・うち指定基準緩和による指定 ：2件、3,105m ²
16	●農園付公園整備事業	15	(15)	・35箇所、7.5ha ・事業推進：7箇所(3.4ha) ・うち基本設計：3箇所(1.6ha)
17	◇特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	1	(-)	・制度運用 ・特定農業用施設保全契約締結 ：71件
農業振興				
18	◇共同直売所の設置支援事業	37	(-)	・2箇所 ・備品等購入助成：14箇所
19	●収穫体験農園の開設支援事業	78	(78)	・23ha ・収穫体験農園整備 ：10.4ha(63箇所)
20	●食と農との連携事業	4	(4)	(15件) ・地産地消の連携の取組：6件
21	◇施設の省エネルギー化推進事業	128	(-)	・120棟 ・省エネ施設整備助成 ：107棟、7.2ha
22	◇生産用機械のリース方式による導入事業	74	(-)	・100件 ・生産用機械の導入補助 ：45件
農地保全				
23	◇集団的農地の維持管理奨励事業	66	(-)	・500ha ・集団的農地保全団体支援事業 ：622.6ha(48団体)
24	●水田保全契約奨励事業	90	(90)	・50ha ・水田保全奨励面積：109.7ha
25	◇かんがい施設整備事業	36	(-)	・7地区 ・整備：4地区
26	●不法投棄対策事業	45	(45)	・不法投棄監視警報装置 ：10地区 等 ・監視警報装置設置：13地区 ・夜間警備委託：85地区 ・住民パトロール・清掃支援 ：45地区
27	●環境配慮型施設整備事業	93	93	・農薬飛散防止ネット設置 ：32ha ・農薬飛散防止ネット：16.9ha ・牧草による環境対策等 ：36地区 ・その他施設整備：7件

<資料> 3か年の進捗状況(平成21年度～平成23年度)

施策方針/事業・取組	3か年事業費 (見込)※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
	総額	横浜 みどり税 充当額		
担い手育成				
28 ◇機械作業受託組織育成事業	19	(-)	・3地区	・農業機械導入支援：1地区
29 ◇担い手コーディネーター育成・派遣事業	3	(-)	・延べ10組織	・市民農園コーディネーター登録：11法人
				・援農コーディネーター協定締結：2組織
30 ◇農業後継者・横浜型担い手育成事業	91	(-)	・担い手支援：100件等	・経営改善支援：161件
				・農業後継者育成支援：4人
31 ●農地貸付促進事業	15	(15)	・70ha	・長期貸付農地：32.7ha
確実な担保				
32 ●市民農園用地取得事業	503	(51)	・8ha	・事業推進：3.4ha ・うち用地取得：0.4ha
33 ●農地流動化促進事業	6	(6)	・20ha	・新規の農地貸借：15.6ha
34 ・国への制度要望	-	(-)	・推進	・推進

(3) 緑をつくる

【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）
 ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

※ 3か年事業費（見込）：平成21年度・22年度の決算額と、平成23年度の決算見込額（平成24年4月末現在）の合計値

施策方針/事業・取組	3か年事業費（見込）※ [百万円]		5か年目標	3か年の進捗状況 (平成21年度～平成23年度)
	総額	横浜 みどり税 充当額		
緑化推進				
35 ◎地域緑のまちづくり事業	128	(128)	・地域緑化計画策定事業 ：30地区	・地域緑化計画策定の取組 ：12地区
			・地域緑化推進事業：18地区	・計画に基づく緑化整備 ：6地区
36 ◎民有地緑化助成事業	73	(36)	・園庭芝生化：100園 等	・保育園・幼稚園芝生化助成事業：32園
				・区民花壇事業：14箇所 ・生垣設置事業：49m ・屋上緑化助成事業：40件 ・名木古木保存事業 新規指定：155本 助成交付：78本 ・人生記念樹等配布 ：48,723本
37 ◇公共施設緑化事業	649	(-)	・10ha	・公共施設の緑化：6.4ha (うち 公立保育園の園庭芝生化 ：延べ35園 公立小中学校の校庭芝生化 ：延べ31校)
38 ◇公共施設緑化管理事業	213	(-)	・延べ615ha	・公共施設の植栽地管理 ：延べ65.2ha
39 ◎いきいき街路樹事業	495	(495)	・3年に1回程度	・街路樹せん定 ：37,264本（286路線）
40 ・民有地緑化の誘導等	-	(-)	・推進	・緑化地域制度等運用中
41 ・建築物緑化保全契約の 締結（建築物の敷地に 対する固定資産税等 の軽減）	-	(-)	・制度運用	・緑化保全契約締結 ：95件（50.1ha）
42 ◇みどりアップ広報事業	4	(-)	(推進)	・計画の目的、内容及び推進状況を実感していただけるよう、多様な手段で広報活動を推進



平成 24 年 6 月発行

横浜市環境創造局みどりアップ推進課

横浜市中区港町 1-1 電話 045-671-2712 ／ FAX 045-224-6627